

## 総合講義(Ⅱ)

コーディネーター： 予防歯科学分野 岸 光男教授  
 う蝕治療学分野 工藤義之准教授

担当：歯学部専門教育担当教員

第6学年 通年(2019年3月25日～2020年1月14日)

講義	
前期	449.0時間
後期	419.0時間
計	868.0時間

### 教育成果(アウトカム)

歯科医学・歯科医療についての知識力の統合を図るとともに、歯科医師としての十分な思考力を涵養するために、これまで縦割的に学んできた基礎および臨床的知識に加えて、横割的学習を行なうことによって医療人としての基盤形成に不可欠な知識や技能を総合的に修得する。(ディプロマポリシー：1、2、3、4、5)

### 事前学修内容及び事前学修時間(30分)

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書等を用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### 講義日程

【歯科医師に必要な必修領域、一般領域、臨床実地領域の知識確認ならびに勉強の仕方(4月1日～4月11日)】

1限：8：40～9：40、2限：9：50～10：50、3限：11：00～12：00、4限：13：00～14：00、  
 5限：14：10～15：10、6限 15：20～16：20

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月1日(月) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>生化学領域の知識の整理</b> 生化学領域の重要項目ならびに習得すべき知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学・分子生物学・細胞生物学の知識を列挙できる。 2. 理解が不十分な領域を確認するとともに、重要領域の概要を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4) ] 事前学習：総合試験や過去の国家試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
4月1日(月) 2,3限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	<b>歯科麻酔学の重要領域のまとめ</b> 歯科麻酔学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができる。	1. 今春の国家試験で問われた歯科麻酔領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科麻酔学の自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-1-4-(1)～(4)] 事前学習：国家試験問題に出題された領域について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
4月1日(月) 4, 5, 6限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>予防歯科必修試験1解説</b> 必修問題に必要な社会歯科学、公衆衛生学、口腔衛生学の知識を理解できる。	1. 必修問題の特異的な出題基準を列挙できるようになる。 2. 必修問題を通して一般、臨床問題に共通する基礎的知識を把握できるようになる。 [A-1、A-2、A-5、A-6]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月2日(火) 1限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>今春の国家試験の必修問題解説-病理学の必修領域の出題内容とその傾向-</b> 病理学の重要事項を理解し、勉強法をみつけることができる。	1. 今春の国家試験で問われた病理学領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な病理学の知識を習得するための年間計画が立案できる。 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：本年度の歯科医師国家試験の口腔病理学関連問題を抜粋し、その問題を解説できるようにしておくこと(60分を要する)
4月2日(火) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>歯科補綴学領域の国家試験の傾向と勉強法</b> 歯科補綴学領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つめることができる。	1. 今春の歯科補綴学領域の国家試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つめることができる。 [E-3-4)-(1)、3-4)-(2)-①~⑩] 事前学習：国家試験の過去問と出題基準に目を通して、出題傾向について予習を行うこと。
4月2日(火) 3限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>インプラント領域の国家試験解説と近年の傾向</b> 国家試験の解説と傾向を理解する。	1. 今春の国家試験で問われたインプラント領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 [E-3-4)-(3)]
4月3日(水) 4,5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>修復領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な修復、歯内領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた修復領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)] 事前学習：今春の修復領域の国家試験問題を解いておくこと。
4月3日(水) 6限	下山佑講師 (分子微生物学)	<b>微生物学領域の歯科医師として必要な知識</b> 歯科医師として習得すべき微生物学の基本的知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な微生物学の知識を習得するための、効率的な勉強法を確立することができる。 [A-5-3)-①, ②, C-3-1)-①~③, ⑥, C-3-2)-①~⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①~⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
4月4日(木) 1限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>肉眼解剖学・歯の解剖学の重要領域のまとめ</b> 肉眼解剖学と歯の解剖学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができる。	1. 肉眼解剖学領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯の解剖学に求められる学力の水準を説明できる。 3. 自分に合った勉強法を見つめることができる。 [E-2-1)-②③⑥⑩, E-2-2)-⑥, E-3-1)-②] 事前学習：第112回歯科医師国家試験の解剖学領域および DESS の類似問題を元にまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月4日(木) 2, 3限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>歯科補綴学領域の国家試験の傾向と勉強法</b> 歯科補綴学領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の歯科補綴学領域の国家試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-3-4)-(1)、E-3-4)-(2)-①~⑭] 事前学習：国家試験過去問題に目を通して講義に臨むこと。
4月5日(金) 4、5限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	<b>歯周領域の勉強法</b> 歯周領域に求められる演習問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 歯周領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 歯周領域の演習問題の理解ができる。自分にあった勉強法を修得できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①~⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月5日(金) 6限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科理工学領域に必要な知識と勉強法</b> 歯科理工学の重要項目を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 歯科理工学の知識を再確認し、これからの総合講義に役立てることができる。 [D-1、D-2] 事前学習：112回国家試験を解いておく。2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートの関連する項目に目を通して講義に臨むこと。
4月6日(土) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>生理学領域の基本的内容のまとめ1</b> 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 生理学領域の基本的な内容について整理して確認できる。 [C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4)-(5)-②~④、⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月6日(土) 2,3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科領域の試験の傾向と勉強法</b> 口腔外科領域の試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の口腔外科領域の試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [A-3-①~⑥]
4月8日(月) 4,5限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>歯科矯正学の重要領域の傾向と勉強法</b> 歯科矯正学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができる。	1. 歯科矯正学の重要領域について説明できる。 2. 歯科矯正学領域における自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：本年度の国家試験と出題基準に目を通し出題傾向について予習を行うこと。
4月8日(月) 6限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>総合歯科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な総合歯科領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた総合歯科領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [A-4、A-5] 事前学習：今春の総合歯科領域の国家試験問題を解いておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月9日(火) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>薬理学領域の重要事項のまとめ</b> 歯科医師として習得すべき薬理学の基本的知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な薬理学の知識の整理と効率的な勉強法を確立することができる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
4月9日(火) 2,3限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>放射線領域の勉強法</b> 歯科医師として必要な放射線領域の勉強法を見つけることができる。	1. 今春の国家試験で問われた放射線領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [E-1-2)-①～⑨] 事前学習：今までの勉強法をWebClassにアップロードしておくこと。匿名でもよい。
4月10日(水) 4,5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>歯内領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な修復、歯内領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた歯内領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)] 事前学習：今春の歯内領域の国家試験問題を解いておくこと。
4月10日(火) 6限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	<b>組織学の国家試験傾向と対策</b> 組織学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 国家試験問題の解説と傾向を理解する。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと
4月11日(木) 1限	千葉俊美教授 (内科学)	<b>内科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な内科領域の知識を修得することができる。	1. 今春の国家試験で問われた内科領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 事前学習：内科学に関する国家試験問題を確認し講義に臨むこと。
4月11日 (木) 2,3限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児歯科学領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な小児歯科学領域の知識を修得する。	1. 今春の国家試験で問われた小児歯科学領域の歯科医師に必要な知識を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：今春の小児歯科学領域の国家試験問題を確認しておく。

講義日程【必修試験①解説&必修講義(3月25日~3月29日)】

【必修試験②、③解説&必修講義(4月16日~5月8日)】

1限：8：40~9：40、2限：9：50~10：50、3限：11：00~12：00、4限：13：00~14：00、

5限：14：10~15：10、6限 15：20~16：20

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月25日(月) 8:50~12:00		<b>必修試験①</b>	
3月26日(火)  1限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>肉眼解剖学・歯の解剖学の 基本的内容のまとめ1</b> 必修問題に必要な肉眼解剖学と歯の解剖学について体系的に生理・理解する。	1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列挙し、説明できる。 [E-2-1)-②③⑥⑩, E-2-2)-⑥, E-3-1)-②] 事前学習：必修試験の該当領域および DESS の類似問題を元にまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項ついてフィードバックする。
3月26日(火)  2限	大津圭史准教授 (発生生物・再生医学)	<b>組織・発生学の重要領域の まとめ</b> 組織・発生学の重要領域を確認し、適切な対策を立てることができるようになる。	1. 組織・発生学の重要領域について説明できる。 2. 組織・発生学領域における自分自身の弱点を認識し、自分にあった勉強法を見つけることができる。 [E-2-2)-①、E-2-3)-①] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
3月26日(火)  3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>生理学領域の歯科医師として必要な知識</b> 歯科医師として習得すべき生理学の基本的知識を理解する。	1. 歯科医師として必要な生理学の知識を習得するための、効率的な勉強法を確立することができる。 [C-3-4)-(4)-①~③、 C-3-4)-(5)-②~④⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月26日(火)  4限	岸光男教授 (予防歯科学)	<b>予防歯科領域の勉強法</b> 予防歯科領域学習目標とそれに対する、勉強法を見つけることができる。	1. 予防歯科領域に求められる学力の水準を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [A-2-1)-①~⑤]
3月26日(火)  5限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>歯科矯正学領域必修問題 1</b> 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：歯科矯正学の必修問題についてまとめ、各自の弱点ならびに疑問点を抽出すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月26日(火) 6限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>障害者歯科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な障害者歯科領域の知識を修得することができる。	1. 障害者歯科学の重要領域を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①～④] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
3月27日(水) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>生化学領域の必修知識</b> 生化学の重要項目ならびに唾液の成分について理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. 唾液成分の由来や機能について説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、E-2-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：唾液成分について、5年次の総合講義 I で使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。
3月27日(水) 2限	入江太郎教授 (病態解析学)	<b>必修試験 1 解説講義</b> 病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。 2. 循環障害、増殖と修復について説明できる。 [C-5-1)～3)] 事前学習：スタンダード病理学 p74-109, p42-60 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
3月27日(水) 3限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>内科学領域必修問題 1</b> 内科学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-6-①、E-6-②、E-6-③] 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
3月27日(水) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	<b>歯周領域必修問題</b> 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
3月27日(水) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>クラウンブリッジ補綴学領域必修問題</b> クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
3月27日(水) 6限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	<b>歯科麻酔領域必修問題 1</b> 歯科麻酔学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：必修試験問題領域について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月28日(木) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>薬理学必修知識 1</b> 歯科医師として習得すべき薬理学の基本的な事項について理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する必修問題について学習しておくこと。
3月28日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科理工学必修試験解説講義 1</b> 歯科理工学領域の基本的な事項について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートの必修試験1で出題された問題に関連する項目に目を通して講義に臨むこと。
3月28日(木) 3限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>微生物学・免疫学必修 1 (必修講義)</b> 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。	1. 微生物学・免疫学の歴史と発展について説明できる。 2. 院内感染対策について説明できる。 3. 生体の免疫機構について説明できる。 4. 口腔の生態系について説明できる。 [A-5-3]-①, ②, C-3-1)-①～③, ⑥, C-3-2)-①～⑦, E-2-4)-(9)-②, ③, E-1-4)-⑥, ⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①～⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する必修問題について学習しておくこと。
3月28日(木) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>歯内領域必修問題</b> 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：国家試験出題基準の歯内領域必修部分を読んでくること。
3月28日(木) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>修復領域必修問題</b> 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：国家試験出題基準の修復領域必修部分を読んでくること。
3月28日(木) 6限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>放射線領域の基本 1</b> 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2)-①～⑨]
3月29日(金) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科領域必修問題 1</b> 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 必修試験①の試験解説を通して口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-3-①～⑥]
3月29日(金) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>補綴領域必修解説①</b> 有床義歯学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(2)] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
3月29日(金) 3限	氏家隼人助教 (小児歯科学)	<b>小児歯科学領域必修問題</b> 小児歯科学領域の基本的 事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科領域の必修問 題を解くことができる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習:過去5年分の小児歯科領域の必修 問題を確認しておく。
3月29日(金) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラ ント学)	<b>口腔インプラント領域必 修問題</b> 口腔インプラントの基本 的事項について理解する。	1. オッセオインテグレーションの概念およ び初期固定、二次固定を説明できる。 2. 口腔インプラントの利点を説明できる。 [E-3-4)-(3)-①~③] 事前学習:4・5年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。
3月29日(金) 5限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	<b>総合領域必修問題</b> 総合歯科の必修領域につ いて理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を 解くことができるようになる。 [A-4、A-5] 事前学習:国家試験出題基準の修復領域必修 部分を読んでくること。
3月29日(金) 6限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>一般教養問題</b> 一般教養領域の必修領域 について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問 題を解くことができるようになる。 [A-9] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:国家試験出題基準の一般教養領域 必修部分を読んでくること。
4月12日(金) 8:50~12:00		<b>必修試験②</b>	
4月16日(火) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>薬理学必修知識2</b> 薬理学の基本的事項につ いて理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題 を解くことができるようになる。 [C-6-1)-①~③、C-6-2)-①~⑤、 C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習:過去5年間の国家試験の薬理学に関 連する必修問題について学習しておくこと。
4月16日(火) 2限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>肉眼解剖学・歯の解剖学の 基本的内容のまとめ2</b> 必修問題に必要な肉眼解 剖学と歯の解剖学につい て体系的に生理・理解す る。	1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列 挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列 挙し、説明できる。 [E-2-1)-②③⑥⑩, E-2-2)-⑥, E-3-1)-②] 事前学習:必修試験の該当領域および DESS の類似問題を元にまとめノートを作成して おくこと。講義でその問題及び関連事項つ いてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月16日(火) 3限	原田英光教授 (発生物学・再生医学)	<b>細胞・組織の基本的内容のまとめ1</b> 組織学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 細胞・組織・器官の基本的な内容について整理して確認できる。 2. 細胞・組織・器官の基本的な内容について周辺組織との関連も考えながら体系的に説明できる。 [C-3-4)-(5)-⑦、C-3-4)-(6)-②、C-3-4)-(7)-①~③] ICT 端末を持参すること。 事前学習: 事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
4月16日(火) 4、5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>社会歯科領域・予防歯科領域の学力の現状把握</b> 社会歯科・予防歯科領域の求められる学力を確認し、学習計画を立案できる。	1. 社会歯科・予防歯科領域に必要な学習範囲を概説する。 2. 社会歯科・予防歯科領域に関する学習計画を立案できる。 [A-2-1)-①③]
4月16日(火) 6限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>障害者歯科領域の試験の傾向と勉強法</b> 障害者歯科領域の試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の障害者歯科領域の試験問題を通して傾向を説明できる。 2. 自分にあった勉強法を見つけることができる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習: 教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
4月17日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>内科学領域必修問題2</b> 内科学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-6-①、E-6-②、E-6-③] 事前学習: 内科学に関する国家試験問題を確認し講義に臨むこと。
4月17日(水) 2、3限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	<b>歯科麻酔領域必修問題2</b> 歯科麻酔学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 必修試験問題出題領域について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
4月17日(水) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラント領域必修問題</b> 口腔インプラントの基本的事項について理解する。	1. 口腔インプラント解剖を説明できる。 2. 天然歯との違いを説明できる。 [E-3-4)-(3)-①~③] 事前学習: 4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
4月17日(水) 5、6限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>補綴領域必修解説②</b> 有床義歯学の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(2)] 事前学習: 講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月18日(木) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>生化学領域の必修知識</b> 生化学の重要項目ならびにホルモンの機能について理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. ホルモンの性状や受容体について説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:到達目標の内容に関し教科書で調べて講義に臨むこと。
4月18日(木) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>必修試験 2 解説講義</b> 病理学総論の重要項目について体系的に整理・理解する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修知識を説明できる。 2. 腫瘍、免疫異常、感染症の概念について説明できる。 [C-5-4)~5)] 事前学習:スタンダード病理学 p142-186, p244-282 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
4月18日(木) 3限	石河太知助教 (分子微生物学)	<b>微生物学・免疫学必修2 (必修講義)</b> 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の基本的な知識や特に重要な必修項目を理解する。	1. 微生物学・免疫学に関わる全身疾患による口腔症状について説明できる。 2. 微生物学検査および免疫血清学検査について説明できる。 3. 感染症の概念・病因・病態について説明できる。 4. 免疫異常の概念・病因・病態について説明できる。 [A-5-3)-①②, C-3-1)-①~③⑥, C-3-2)-①~⑦, E-2-4)-(9)-②③, E-1-4)-⑥⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①~⑤] 事前学習:過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する必修問題について学習しておくこと。
4月18日(木) 4、5限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	<b>歯周領域必修問題</b> 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。 [E-3-2)-③④, E-3-3)-(3)-①~⑤] 事前学習:歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月18日(木) 6限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>放射線領域の基本 2</b> 放射線領域の基本的な項目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説明できる。 [E-1-2)-①~⑨]
4月19日(金) 1、2限	飯島 伸 非常勤講師 (口腔外科学)	<b>口腔外科領域必修問題 4,5</b> 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-3-①~⑥]
4月19日(金) 4、5限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児歯科学領域必修問題</b> 小児歯科学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して小児歯科学領域の必修問題を解くことができる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習:過去5年分の小児歯科学領域の必修問題を確認しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月19日(金) 6限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	<b>総合領域必修問題</b> 総合歯科の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-4、A-5] 事前学習: 国家試験出題基準の総合領域必修部分を読んでくること。
4月22日(月) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>生理学領域の基本的内容のまとめ2</b> 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 生理学領域の基本的な内容について整理して確認できる。 [C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4)-(5)-②~④、⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習: 生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月22日(月) 2、3限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>歯内領域必修問題</b> 歯内の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習: 国家試験出題基準の歯内領域必修部分を読んでくること。
4月23日(火) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科理工学必修試験解説講義2</b> 歯科理工学領域の基本的事項について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習: 2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートの必修試験2で出題された問題に関連する項目に目を通して講義に臨むこと。
4月23日(火) 2、3限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>歯科矯正学領域必修問題2</b> 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習: 必修試験で出題された問題に関する内容を講義ノート、教科書で確認する。
4月23日(火) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>一般教養問題</b> 一般教養領域の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-9] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 国家試験出題基準の一般教養領域必修部分を読んでくること。
4月23日(火) 5、6限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>クラウンブリッジ学領域必修問題</b> クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習: 4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
4月24日(水) 1、2限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>修復領域必修問題</b> 修復の必修領域について理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習: 国家試験出題基準の修復領域必修部分を読んでくること。
4月24日(水) 13:00~16:10		<b>必修試験③</b>	

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月25日(木) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>生理学領域の基本的内容 のまとめ3</b> 生理学領域の基本的な内容について、統合的かつ体系的に整理、理解できるようになる。	1. 生理学領域の基本的な内容について整理して確認できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月25日(木) 2、3限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>歯科矯正学領域必修問題 3</b> 歯科矯正学領域の基本的事項について理解する。	1. 試験解説を通して矯正領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：必修試験で出題された問題に関する内容を講義ノート、教科書で確認する。
4月25日(木) 4、5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>予防歯学関連必修問題演習</b> 過去に出題された必修問題を演習することで出題傾向を把握できる。	1. 過去に国家試験で出題された必修問題を演習し、自己の学習課題の順位付けをできる。 [A-2-1)②、A-2-2)①]
4月25日(木) 6限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>障害者歯科領域の歯科医師として必要な知識修得とその勉強法</b> 歯科医師として必要な障害者歯科領域の知識を修得することができる。	1. 障害者歯科学の重要領域を説明できる。 2. 歯科医師として必要な知識を修得するために自分にあった勉強法での年間計画を立案できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①～④] 事前学習：教科書、ノート、レジメですでに学んだことを確認して講義に臨むこと。
4月26日(金) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>生化学領域の必修知識</b> 生化学の重要項目ならびに生体成分について理解する。	1. 歯科医師として必要な生化学領域の必修知識を理解する。 2. 生体成分の構造や機能について説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3) ] DESS 演習の準備をしておくこと。
4月26日(金) 2、3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科領域必修問題 7</b> 口腔外科領域の必修問題について理解する。	1. 口腔外科領域の必修問題を解くことができるようになる。 [A-3-①～⑥]
4月26日(金) 4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	<b>歯周領域必修問題</b> 歯周領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通して歯周領域の必修問題を解くことができる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
4月26日(金) 5限	畠山航助教 (補綴・インプラント学)	<b>クラウンブリッジ学領域必修問題</b> クラウンブリッジ補綴学領域の必修問題について理解する。	1. 試験解説を通してクラウンブリッジ補綴学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月26日(金) 6限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	<b>歯科麻酔領域必修問題3</b> 歯科麻酔学領域の基本的 事項について理解する。	1. 試験解説を通して歯科麻酔領域の必修問 題を解くことができるようになる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:必修試験問題出題領域について永 末書店第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使 用したレジュメ、講義ノートに目を通して講 義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は 講義開始までに回答すること。
4月27日(土) 1限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	<b>細胞・組織の基本的内容の まとめ2</b> 組織学領域の基本的な内 容について、統合的かつ体 系的に整理、理解できるよ うになる。	1. 細胞・組織・器官の基本的な内容につい て整理して確認できる。 2. 細胞・組織・器官の基本的な内容につい て周辺組織との関連も考えながら体系的 に説明できる。 [C-3-4)-(8)-①~②、C-3-4)-(9)-①、 C-3-4)-(10)-①、C-3-4)-(11)-①] 事前学習:事前に配布したテキストの必要な 項目に目を通しておくこと。また問題集につ いては各自で解答して理解不足の点を抽出 しておくこと。
4月27日(土) 2限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>肉眼解剖学・歯の解剖学の 基本的内容のまとめ3</b> 必修問題に必要な肉眼解 剖学と歯の解剖学につい て体系的に生理・理解す る。	1. 肉眼解剖学領域に必要な基本的項目を列 挙し、説明できる。 2. 歯の解剖学領域に必要な基本的項目を列 挙し、説明できる。 [E-2-1)-②③⑥⑩、E-2-2)-⑥、E-3-1)-②] 事前学習:必修試験の該当領域および DESS の類似問題を元にまとめノートを作成して おくこと。講義でその問題及び関連事項つ いてフィードバックする。
4月27日(土) 3限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>微生物学・免疫学必修3 (必修講義)</b> 歯科医師として習得すべ き微生物学・免疫学の基本 的な知識や特に重要な必 修項目を理解する。	1. ウイルス感染症について説明できる。 2. ミュータンスレンサ球菌の病原因子につ いて説明できる。 3. 歯周病原性細菌の性状とその病原因子に ついて説明できる。 [A-5-3)-①②、C-3-1)-①~③⑥、 C-3-2)-①~⑦、E-2-4)-(9)-②③、 E-1-4)-⑥⑧、E-2-4)-(3)-①、 E-3-2)-①~⑤] 事前学習:過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する必修問題について学習 しておくこと。
5月7日(火) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>薬理学必修知識3</b> 薬理学の基本的事項につ いて理解する。	1. 試験解説を通して薬理学領域の必修問題 を解くことができるようになる。 [C-6-1)-①~③、C-6-2)-①~⑤、 C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習:過去5年間の国家試験の薬理学に関 連する必修問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月7日(火) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科理工学必修試験解説 講義3</b> 歯科理工学領域の基本的 事項について理解する。	1. 歯科理工学領域の基本的知識を説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートの必修試験3で出題された問題に関連する項目に目を通して講義に臨むこと。
5月7日(火) 3限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	<b>必修試験3解説講義</b> 病理学総論の重要項目に ついて体系的に整理・理解 する。	1. 歯科医師として必要な病理学領域の必修 知識を説明できる。 2. 炎症、染色体・遺伝子および発生の以上 異常の概念について説明できる。 [C-5-6)~7)] 事前学習：スタンダード病理学 p110-130, p216-241 を読み、疑問点を抽出しておくこ と。(60分を要する)
5月7日(火) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>歯内領域必修問題</b> 歯内の必修領域について 理解する。	1. 試験解説を通して歯内領域の必修問題を 解くことができるようになる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：国家試験出題基準の歯内領域必修 部分を読んでくること。
5月7日(火) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>修復領域必修問題</b> 修復の必修領域について 理解する。	1. 試験解説を通して修復領域の必修問題を 解くことができるようになる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：国家試験出題基準の修復領域必修 部分を読んでくること。
5月7日(火) 6限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>放射線領域の基本3</b> 放射線領域の基本的な項 目について修得する。	1. 放射線領域の基本的な項目を列挙し、説 明できる。 [E-1-2)-(①~⑨)]
5月8日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>内科学領域必修問題3</b> 内科学の必修領域につい て理解する。	1. 試験解説を通して内科領域の必修問題を 解くことができるようになる。 [E-6-①~③] 事後学習：講義に関する国家試験問題を解き まとめること。
5月8日(水) 2限	米澤 悠助教 (補綴・インプラ ント学)	<b>補綴領域必修解説③</b> 有床義歯学の必修領域に ついて理解する。	1. 試験解説を通して有床義歯学領域の必修 問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(2)] 事前学習：講義内容について教科書と4年次 に使用したレジメ、講義ノートに目を通して 講義に臨むこと。
5月8日 (水) 3限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児歯科学領域必修問題</b> 小児歯科学領域の基本的 事項について理解する。	2. 試験解説を通して小児歯科学領域の必修問 題を解くことができる。 [E-4-2)-(①~⑫)] 事前学習：過去5年分の小児歯科学領域の必修 問題を確認しておく。
5月8日(水) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラ ント学)	<b>口腔インプラント領域必 修問題</b> 口腔インプラントの基本 的事項について理解する。	1. インプラントの成功基準を説明できる 2. インプラント体、アバットメント、上部 構造に使用する材料を説明できる。 [E-3-4)-(3)-(①⑥)] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月8日(月) 5限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>一般教養問題</b> 一般教養領域の必修領域 について理解する。  <b>総合領域必修問題</b> 総合歯科の必修領域につ いて理解する。	1. 試験解説を通して一般教養領域の必修問 題を解くことができるようになる。 [A-9]  1. 試験解説を通して総合領域の必修問題を 解くことができるようになる。 [A-4、 A-5] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 国家試験出題基準の一般教養領域 必修部分を読んでくること。

講義日程【A 講義(5月9日～7月29日)】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、

3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月9日(木) 8:50～	工藤義之准教授 (歯科医学教育学)	<b>ガイダンス</b>	
5月9日(木) 1、2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>接着歯科医学 1、2</b> 接着について理解する。	1. エッチングについて説明できる。 2. プライミングについて説明できる。 3. ボンディングについて説明できる。 4. 各種材料に対する処理を説明できる。 5. 接着の欠点について説明できる。 [D-2-②] 事前学習：接着について3年次のノート、教 科書に目を通して講義に臨むこと。
5月9日(木) 3限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>コンポジットレジン修復</b> <b>1(形成法、充填法、研磨)</b> コンポジットレジン修復 窩洞形成法、充填、研磨 について理解する。	1. コンポジットレジン窩洞についてメタル インレー窩洞との違いを説明できる。 2. コンポジットレジンの充填法を説明でき る。 3. コンポジットレジンの研磨方法を説明で きる。 [D-2-①、E-3-3)-(1)] 事前学習：コンポジットレジンについて3年 次のノート、教科書に目を通して講義に臨む こと。
5月9日(木) 4限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>歯の解剖学</b> 歯の形態に関する基本的 知識を再確認し、すべて の歯種を鑑別できる。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態を説明でき る。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：第112回歯科医師国家試験問題と 第108～111回歯科医師国家試験の該当領域 について DESS を利用してまとめノートを作 成しておくこと。講義でその問題及び関連事 項についてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月9日(木) 5限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>頭頸部の骨学のまとめ</b> 頭頸部を構成する骨の連結、管・孔による空間交通を理解する。	1. 骨同士の縫合から頭蓋骨全体の発育方向を説明できる。 2. 頭蓋腔と外頭蓋底、翼口蓋窩、口腔、鼻腔との交通を説明できる。 [E-2-1)-②] 事前学習：第112回歯科医師国家試験問題と第108～111回歯科医師国家試験の該当領域についてDESSを利用してまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
5月10日 (金) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>小児患者への対応</b> 小児患者への正しい対応法を理解する。	1. 小児の恐れや不安の対象を列挙できる。 2. 小児の情動に配慮した対応法を説明できる。 3. 行動変容法を説明できる。 [E-1-1)-⑤、E-4-2)-⑩] 事前学習：小児患者への対応について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月10日 (金) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>小児の治療方針</b> 小児の診査法、診断法、診療計画法を多角的に理解する。	1. 小児歯科診療における問診内容を説明できる。 2. 全身的診査、口腔内診査の項目を列挙できる。 3. 治療方針の立案法を説明できる。 [E-1-1)-④] 事前学習：小児の治療方針について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月10日(金) 3、4、5限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 歯周外科治療・再生療法を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 再生療法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月13日(月) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科材料の科学①歯科材料の化学(材料の分類)</b> 歯科材料の物理的・化学的・生物学的性質(化学構造、物質の状態、基本的な化学反応)を学ぶ。	1. 歯科臨床における歯科材料の分類を説明できる。 2. 物理的性質を説明できる。 3. 歯科臨床における歯科材料の化学的性質を説明できる。 4. 口腔内環境と化学反応性(金属の腐食、高分子の加水分解など)を説明できる。 [D-1-①～③] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月13日(月) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科材料の科学②応力ひずみ曲線と機械的性質</b> 歯科材料の機械的性質について学ぶ。	1. 各種材料の応力-ひずみ特性（弾性係数、レジリエンス、降伏強さなど）を説明できる。 2. 歯科臨床における歯科材料の機械的性質を説明できる。 [D-1-①②] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。
5月13日(月) 3限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで①</b> 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 診査・検査を理解する。 2. 無菌的処置法について理解する。 3. 齶蝕の処置法について理解する。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯の検査法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月13日(月) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで②</b> 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 歯髄疾患の臨床的分類を理解できる。 2. 歯髄疾患の診査・診断が理解できる。 3. 歯髄疾患の治療方針が理解できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄疾患について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月13日(月) 5限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで③</b> 歯内疾患の診断から治療まで理解する。	1. 根尖性歯周炎の臨床的分類を理解できる。 2. 根尖性歯周炎の診査・診断が理解できる。 3. 根尖性歯周炎の治療方針が理解できる [E-3-3)-(2)] 事前学習：根尖性歯周疾患について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月14日(火) 1限	原田英光教授 大津圭史准教授 (発生生物・再生医学)	<b>一般組織・上皮系のまとめ</b> 人体を構成する組織・器官系とこれらの構成要素である細胞に関する組織学的特徴や機能について説明できるようになる。	1. 人体を構成する器官系を列挙できる。 2. 上皮組織の組織学的分類とそれぞれの存在部位について説明できる。 3. 重層扁平上皮の各層の特徴と構成細胞について説明できる。 4. 天疱瘡・類天疱瘡などの疾患を組織学的視点から説明できる。 5. 細胞間接着装置について理解できる。 [C-3-4)-(1)-①～③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月14日(火) 2限	原田英光教授 大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	<b>一般組織（結合組織系） のまとめ</b> 間葉系幹細胞に由来する 細胞、造血系幹細胞に由 来する細胞とそれらの機 能について説明できるよ うになる。	1. 間葉系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 結合組織について理解できる。 3. 造血系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 4. 血球について組織学的特徴について説明 できる。 5. 結合組織に存在する炎症系細胞について 組織学的特徴や機能を説明できる。 [C-3-4)-(2)-②、C-3-4)-(4)-③~⑥、 C-4-2)-③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な 項目に目を通しておくこと。また問題集につ いては各自で解答して理解不足の点を抽出 しておくこと。
5月14日(火) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>歯の硬組織疾患と知覚過 敏</b> 歯の硬組織疾患と知覚過 敏について理解する。	1. 歯の硬組織疾患について説明できる。 2. 知覚過敏について説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯の硬組織疾患と知覚過敏につ いて3年次のノート、教科書に目を通して講義 に臨むこと。
5月14日(火) 4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>歯内療法におけるエック ス線読影</b> 歯内療法に必要なエック ス線読影について理解す る。	1. 歯内療法に必要なエックス線撮影法を列 挙できる。 2. それぞれのエックス線撮影法の特徴を説 明できる。 3. エックス線写真臨床例から正しく読影す ることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯内療法におけるエックス線読影 について3年次のノート、教科書に目を通し て講義に臨むこと。
5月14日(火) 5限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>歯髄保存療法</b> 歯髄温存療法について理 解する。	1. 歯髄温存療法について説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄保存療法について3年次のノ ート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月15日(水) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯冠修復材料①とその科 学</b> 歯冠修復材に用いられる 金属、セラミックスおよ び複合レジン进行分类し、 その特性を学ぶ。	1. 歯冠修復材料の分類を説明できる。 2. 歯冠修復材料に要求される機械的・物理 的・化学的性質を説明できる。 3. 口腔内環境と化学反応性（金属の腐食、高 分子の加水分解など）を説明できる。 4. 歯科臨床における歯科材料の安全性につ いて説明できる。 [D-1-①②、D-2-②] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義 開始までに補充する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月15日(水) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯冠修復材料②金属材料</b> 歯科用金属の種類、組成と工学的性質を学ぶ。	1. 歯科臨床における歯科用金属の使用例を挙げられる。 2. 歯冠修復に使用される歯科用金属の性質、特徴を説明できる。 [D-1-②、D-2-⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
5月15日(水) 3限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>支台歯形成</b> クラウンの種類と支台歯形成に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの種類とその支台歯形成法に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
5月15日(水) 4限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>支台築造</b> 支台築造に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して支台築造に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
5月15日(水) 5限	横田潤助教 (補綴・インプラント学)	<b>クラウンブリッジの前処置</b> 前処置に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジによる補綴に必要な前処置に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
5月16日(木) 1限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 歯科用セメント(ガラスアイオノマーセメント)</b> ガラスアイオノマーセメントについて理解する。	1. グラスアイオノマーセメントの組成、効果機序、特徴、適応症、禁忌症について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：ガラスアイオノマーセメントについて3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月16日(木) 2限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 歯科用セメント(セメント総論、その他のセメント)</b> 歯科用セメント(セメント総論、その他のセメント)について理解する。	1. 歯科用セメント(セメント総論、その他のセメント)の組成、効果機序、特徴、適応症、禁忌症について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：「歯科用セメント」について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月16日(木) 3限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>不正咬合の病因病態 1</b> 不正咬合の先天的原因に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の先天的な病因・病態に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-(1)-①、E-2-4)-(10)-⑤、E-2-3)-③、E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月16日(木) 4限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>不正咬合の病因病態 2</b> 不正咬合の後天的原因に関する知識を強化できる。	1. 不正咬合の後天的な病因・病態に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-3-1)-③、E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月16日(木) 5限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>成長発育・不正咬合の特徴</b> 成長発育全般に関する知識と不正咬合の特徴に関する知識を強化できる。	1. 全身成長、頭蓋顔面、歯列の成長発育に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 不正咬合に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-3)-①～③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月17日(金) 1、2限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 総論、診査・診断、治療計画を理解する。	1. 総論、診査・診断、治療計画を説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月17日(金) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>必修の基本的事項Ⅰ 医の倫理</b>  保健医療と医学研究の倫理の変遷を学ぶことで医療倫理の包括的意義を理解する。	1. 医師の職業倫理を概説できる。 2. 医学研究の倫理を概説できる。 3. 患者の権利を列挙できる。 [A-1-1)-①～④、A-1-2)-①～④、A-3-④、A-7-2)-③、B-2-2)-①] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月17日(金) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>必修の基本的事項Ⅱ 歯科医療の社会的背景</b> 歯科医療の社会的背景を学ぶことで現代の歯科医師への社会的要請を理解する。	1. 疾病構造の変化と医療の社会的ニーズの関連を概説できる。 2. 疾病予防の原則を概説できる。 3. ICF と ICIDH の違いを説明できる。 4. ヒトを対象とした医学研究の倫理について概説できる。 [A-1-1)-④⑥、A-7-1)-①③、B-1-①、B-2-2)-①③⑤、B-3-2)-①] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
5月17日(金) 5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>必修の基本的事項Ⅲ 医療の質と安全性の確保</b> 医療現場におけるリスクを学ぶことで医療行為のリスクマネジメントを理解する。	1. 医療事故防止の原則を概説できる。 2. 医療廃棄物の取り扱いを概説できる。 3. 医事紛争の流れを概説できる。 [A-6-1)-①～⑧、A-6-2)-①～⑥、A-6-3)-①～⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月20日(月) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯の切削に用いる材料</b> 歯の切削の基本原理と、 用いる切削・研削工具と 回転駆動装置を学ぶ。	1. 歯科用回転駆動装置の名称、構造と性能を説明できる。 2. 切削工具と研削工具の種類と特徴を説明できる。 3. 歯の切削時の注意点を説明できる。 [D-1-④、D-2-①] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
5月20日(月) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>印象用材料と模型材</b> 印象採得に用いられる材料の種類、成分、特徴を学ぶ。石膏の性質、特に硬化の機構、硬化膨張について学ぶ。	1. 印象材の成分・組成と硬化機構および性質を説明できる。 2. 歯科臨床における石膏の所要性質を説明できる。 3. 石膏の硬化機構を説明できる。 4. 石膏の硬化時間に影響を与える因子（混水比、温度、添加剤）を説明できる。 5. 石膏の硬化膨張に影響を与える因子を説明できる。 [D-2-③④] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
5月20日(月) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>精密印象採得</b> 印象採得方法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジの印象採得に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
5月20日(月) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>顎間関係記録</b> 咬合採得に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジの咬合採得に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
5月20日(月) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>作業模型製作と咬合器装着</b> 作業模型製作と咬合器装着に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して作業模型の製作法、咬合器装着に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月21日(火) 1限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	<b>一般組織（骨・筋・内分泌・ホルモン）のまとめ</b> 骨・筋組織の細胞とそれらの機能について説明できるようになる。 内分泌・ホルモンに関わる器官の構造や細胞について説明でき、さらに生体恒常性的視点から理解できるようになる。	1. 骨と筋の細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 骨と筋の組織について理解できる。 3. 軟骨について組織学的特徴について説明できる。 4. 内分泌・ホルモンを構成する細胞について説明できる。 5. 内分泌・ホルモンの組織学的特徴について説明できる。 6. 血糖・血中カルシウム・血圧の恒常性維持について説明できる。 [C-3-4)-(2)-③～⑤、C-3-4)-(3)-①～②、C-3-4)-(4)-③～⑥、C-4-2)-③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
5月21日(火) 2限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	<b>一般組織（神経組織）と顎顔面の発生のまとめ</b> 中枢神経・末梢神経に関わる組織の構造や細胞について説明でき、さらに神経のネットワークの視点から生体恒常性を理解できる。 顎顔面の発生過程を成体の構造と関連づけて説明できるようになる。	1. 中枢神経・末梢神経を構成する細胞について説明できる。 2. 脳・脊髄の組織学的特徴について説明できる。 3. 感覚器官について説明できる。 4. 鰓弓(咽頭弓)、鰓囊(咽頭囊)、鰓溝(咽頭溝)について説明できる。 5. 鰓弓・鰓囊・鰓溝由来の構造について説明できる。 6. 神経堤について説明できる。 7. 神経堤に由来する組織について説明できる。 8. 口蓋の発生過程について説明できる。 9. 頭蓋の発生過程について説明できる。 10. 前頭鼻突起、内側鼻突起、外側鼻突起、上顎突起、下顎突起と顎顔面形成の関係について説明できる。 [C-3-2)-①～③、E-2-3)-①] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
5月21日(火) 3限	石崎明教授 (細胞情報科学)	<b>生体成分</b> 生体成分の基本構造と役割を理解する。	1. 糖質・脂質・タンパク質の構造と性質を説明できる。 2. 各生体成分の役割を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)] DESS 演習の準備をしておくこと。
5月21日(火) 4限	石崎明教授 (細胞情報科学)	<b>代謝</b> 三大栄養素の代謝経路を理解する。	1. 生体における糖質・脂質・タンパク質の代謝とエネルギー産生を説明できる。 2. 血糖調節機構を説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月21日(火) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>血清カルシウム</b> 血清カルシウムの調節機構を理解する。	1. 血清カルシウム調節ホルモンの構造と機能を説明できる。 2. ホルモンによる血清カルシウムの調節機構を説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
5月22日(水) 1限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 コンポジットレジン修復 2(適応症、光照射器、不快事項)</b> コンポジットレジン修復の適応症、光照射器、不快事項を理解する。	1. コンポジットレジン修復の適応症、光照射器、不快事項を説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：コンポジットレジン修復について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月22日(水) 2限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 コンポジットレジン修復 3(組成、重合機序)</b> コンポジットレジンの組成、重合機序について理解する。	1. コンポジットレジンの重合機序を説明できる。 2. コンポジットレジンの組成を説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：「コンポジットレジン修復」について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月22日(水) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>抜髄の基本術式</b> 抜髄の基本術式について理解する。	1. 抜髄の術式を説明できる。 2. 抜髄に使用する器具を説明できる。 3. 根管拡大基準について説明できる。 4. アクセスキャビティについて説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：抜髄の基本術式について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月22日(水) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>根管拡大法</b> 種々の根管拡大法・根管洗浄が説明できるようになる。	1. 根管拡大を説明することができる。 2. 彎曲根管の拡大法について説明することができる。 3. 根管洗浄・消毒について説明することができる。 4. 内容物検査が説明することができる。 5. Ni-Ti ロータリーファイルが説明することができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：根管拡大法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月22日(水) 5限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>根管充填、治癒機転</b> 種々の根管充填法が説明できるようになる。	1. 目的・時期が説明できる。 2. 各種加圧充填法が説明できる。 3. 治癒経過が説明できる。 [E-3-3)-(2) ②、④] 事前学習：根管充填、治癒機転について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
5月23日(木) 1限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>微生物学・細菌学総論</b> 病原微生物の生物分類学上の位置づけおよびその性状を理解する。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 [C-3-1)-(①②), E-2-4)-(3)-(①), E-2-4)-(9)-(②)] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月23日(木) 2限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>微生物学・細菌学各論</b>  病原微生物による感染症 およびその病原因子につ いて理解する。	1. 感染の概念と感染症について説明できる。 2. 病原微生物による感染症・病原因子につ いて説明できる。 [C-3-1)-①②, E-2-4)-(3)-①, E-2-4)-(9)-②] 事前学習：過去 5 年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習して おくこと。
5月23日(木) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>不正咬合の診断 1</b> 不正咬合の診察・検査に 関する知識を強化でき る。	1. 不正咬合の診断に必要な診察・検査に関し て理解を深め、同領域の問題を解くことが できるようになる。 [E-3-1)-②] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科 矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月23日(木) 4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>不正咬合の診断 2</b> 不正咬合の診断・治療計 画に関する知識を強化で きる。	1. 不正咬合の診断・治療計画の立案に関し て理解を深め、同領域の問題を解くことが できるようになる。 [E-4-1)-③⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科 矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月23日(木) 5限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>矯正力と固定</b> 矯正力と固定に関する知 識を強化できる。	1. 矯正力と固定に関して理解を深め、同領域 の問題を解くことができるようになる。 2. アンカースクリューの目的が理解でき るようになる。 [E-4-1)-⑥] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科 矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月24日(金) 1、2限	石河太知助教 (分子微生物学)	<b>免疫学</b> 免疫応答による生体防御 の仕組みを理解する。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について 説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性につ いて説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾 患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患につ いて説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表 的な自己免疫疾患について説明できる。 [C-3-2)-①～⑦, E-2-4)-(9)-③] 事前学習：過去 5 年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習して おくこと。
5月24日(金) 3限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>静的咬合誘導</b> 静的咬合誘導を多角的に 理解する。	1. 歯の早期喪失の影響を説明できる。 2. 保隙のための分析法について説明できる。 3. 保隙装置の種類と適応症を説明できる。 [E-4-2)-⑧⑨] 事前学習：静的咬合誘導について教科書、4 年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月24日(金) 4限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>歯周疾患</b> 小児の歯周疾患について多角的に理解する。	1. 小児の健全な歯周組織の特徴を列挙できる。 2. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 3. 小児と成人の歯周疾患の違いを説明できる。 [E-4-2)-⑥] 事前学習：小児の歯周疾患について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月24日(金) 5限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>口腔粘膜疾患</b> 小児の口腔粘膜疾患について多角的に理解する。	1. 小児の口唇の疾患を列挙できる。 2. 小児の舌の疾患を列挙できる。 3. 小児の歯肉の疾患を列挙できる。 [E-2-4)-(1)-④] 事前学習：小児の口腔粘膜疾患について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月25日(土) 1限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>薬理学総論のまとめと復習</b> 薬物の基本的性質、体内動態、副作用について理解する。	1. 薬理作用の機序の基本について説明できる。 2. 薬物相互作用、薬効に影響する因子について説明できる。 3. 薬物療法の種類について説明できる。 4. 薬理作用の定量的扱いを説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
5月25日(土) 2限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>抗炎症薬・免疫抑制薬・抗アレルギー薬</b> 抗炎症薬、免疫抑制薬の概要を理解する。	1. 酸性非ステロイド性抗炎症薬の作用機序、副作用を説明できる。 2. 解熱鎮痛薬について説明できる。 3. ステロイド性抗炎症薬の作用機序、副作用を説明できる。 4. 免疫抑制薬の概要を説明できる。 5. 抗アレルギー薬の概要を説明できる。 6. 抗血小板薬について説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
5月27日(月) 1限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>矯正治療における抜歯①</b> 抜歯に関する知識を強化できる。	1. 矯正治療に必要な抜歯部位が確定できるようになる。 [E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月27日(月) 2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>矯正治療における抜歯②</b> 抜歯に関する知識を強化できる。	1. 矯正治療に必要な抜歯部位が確定できるようになる。 [E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月27日(月) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>自律機能</b> 自律神経系の働きを理解する。	1. 交感神経と副交感神経の働きを説明できる。 2. 交感神経と副交感神経の走行の違いを説明できる。 3. 自律神経系の神経伝達物質と受容体を説明できる。 [C-3-4)-(5)-②~④、C-3-4)-(5)-⑨] 事前学習：自律神経について1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月27日(月) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>循環</b> 循環器系の働きを理解する。	1. 血液の循環経路を説明できる。 2. 心臓の興奮伝導系を説明できる。 3. 心電図波形の成因と不整脈の心電図を説明できる。 4. 自律神経による血圧調節を説明できる。 5. ホルモンによる血圧調節を説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~③] 事前学習：循環について2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月27日(月) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>体液調節・呼吸</b> 腎臓の働きおよび呼吸器系の働きを理解する。	1. 体液の区分と組成を説明できる。 2. 腎臓による体液調節を説明できる。 3. 浮腫を説明できる。 4. 呼吸運動とスパイログラムを説明できる。 5. 血液によるガス輸送を説明できる。 6. 呼吸調節を説明できる。 7. 呼吸による体液のpH調節とアシドーシス、アルカローシスを説明できる。 [C-3-4)-(10)-①~③、C-3-4)-(8)-②、C-3-4)-(4)-④、C-5-4)-⑤] 事前学習：体液調節・呼吸について2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月28日(火) 1、2限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 歯周基本治療、歯内歯周病変を理解する。	1. 歯周基本治療を説明できる。 2. 歯内歯周病変を説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①~③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月28日(火) 3限	下山佑講師 (分子微生物学)	<b>ウイルス学各論</b> ウイルスの性状と感染経路、標的器官および感染症を理解する。	1. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。 [C-3-1)-①②、E-2-4)-(9)-②] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月28日(火) 4、5限	下山佑講師 (分子微生物学)	<b>口腔細菌 A</b> 口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、う蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序を理解する。  <b>院内感染対策</b>  滅菌と消毒の方法、感染性廃棄物の処理を理解する。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. う蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 6. 物理的、化学的方法による滅菌法を説明できる。 7. 主な消毒薬の分類とその効果について説明できる。 8. 歯科医療における院内感染とその予防法について説明できる。 [A-5-3)-①②, C-3-1)-①～③⑥, E-1-4)-⑥⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①～⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
5月29日(水) 1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>矯正装置 1</b> <b>機能的矯正装置</b> 機能的矯正装置に関する知識を強化できる。	1. 機能的矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジュメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月29日(水) 2限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>矯正装置 2</b> <b>器械的矯正装置</b> 器械的矯正装置に関する知識を強化できる。	1. 器械的矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジュメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月29日(水) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>矯正装置 3</b> <b>ブラケット装置</b> ブラケット、保定装置等に関する知識を強化できる。	1. ブラケット装置や保定装置、その他の矯正装置に関して理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-④⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジュメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
5月29日(水) 4限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>心身の発達</b> 小児の心身の発達について多角的に理解する。	1. 小児の身体の成長を説明できる。 2. 小児の精神の発達を説明できる。 [C-3-2)-④] 事前学習：小児の心身の発達について教科書、4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月29日(水) 5限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>顔面頭蓋の発達</b> 小児の顔面頭蓋の成長、発達について多角的に理解する。	1. 頭蓋の成長発育を説明できる。 2. 顔面の成長発育を説明できる。 [E-2-3)-②] 事前学習：顔面頭蓋の発達について教科書、4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月30日 (木)  1限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>歯列および咬合の発育</b> 小児の歯列・咬合の成長、 発達について、多角的に 理解する。	1. 乳歯列の成育を説明できる。 2. 混合歯列の成育を説明できる。 3. 永久歯列の成育を説明できる。 [E-2-3)-②] 事前学習：歯列・咬合の発育について教科書、 4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を 通して講義に臨むこと。
5月30日 (木)  2限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>歯の発育と異常</b> 歯の発生、発育、萌出と その障害の機構を多角的 に理解する。	1. 乳歯並びに永久歯の発生、形成時期、萌出 順序を説明できる。 2. 歯の発生の各ステージにおける異常と症 状の関連性を説明できる。 [E-2-3)-③] 事前学習：教科書、4年次に使用したレジメ、 講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
5月30日(木)  3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>必修の基本的事項Ⅳ</b> <b>診療記録、健康日本 21</b>  診療記録の重要性を学ぶ ことで、医療関連個人情報 の管理について理解す る。 健康日本 21 について理 解する。	1. 主な診療記録の必須記載事項を列挙でき る。 2. 診療情報の取り扱いについて概説できる。 3. 健康日本 21 の基本的方向を概説できる。 [B-2-1)-①～③、B-2-2)-①、B-3-2)-①④、 E-1-1)-⑦～⑩] 資料は事前に WebCl ass に提示する。資料を 用いた事前学習のフィードバックため随時 ディスカッション機会を設ける。
5月30日(木)  4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>保健・医療関係法規Ⅰ</b>  歯科医療関連法規を学ぶ ことで歯科医療供給体制 の概要を理解できる。	1. 医療法が規定する事項を列挙できる。 2. 医療計画を概説できる。 3. 歯科医師法に定められた歯科医師の義務 と業務を列挙できる。 [A-7-1)-②、B-2-1)-①～③] 資料は事前に WebCl ass に提示する。資料を 用いた事前学習のフィードバックため随時 ディスカッション機会を設ける。
5月30日(木)  5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>保健・医療関係法規Ⅱ</b>  保健、衛生関係法規を学 ぶことで地域保健の仕組 みを理解する。	1. 健康増進法が規定する事項を列挙できる。 2. 地域保健法が規定する事項を列挙できる。 3. 歯科口腔保健の推進に関する法律を概説 できる。 4. 感染症法、予防接種法、検疫法を概説できる。 [B-2-1)-⑤～⑦] 資料は事前に WebCl ass に提示する。資料を 用いた事前学習のフィードバックため随時 ディスカッション機会を設ける。
6月5日(水)  1限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>医療面接／医の倫理 他</b> 医療面接の目的、面接の マナー、病歴聴取につ いて説明できるようにな る。	1. 医療面接の目的と方法を説明できる。 2. コミュニケーションの進め方(質問法、傾 聴の仕方、非言語的コミュニケーション) を説明できる。 3. 病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴など)を説 明できる。 [F-2-1)] 事前学習：医療面接／医の倫理について3年次 のノート、レジメに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月5日(水) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>歯科材料とアレルギー</b> アレルギー患者への歯科治療を安全に行うために必要な知識を修得する。  <b>歯の外傷(診断と処置)</b> 外傷歯に適切に対応するために必要な知識を修得する。	1. 歯科材料のアレルギー惹起能を説明できる。 2. 保存領域で使用する歯科材料の組成を説明できる。 [D-1-①②]  1. 脱落歯の保管方法を説明できる。 2. 脱落しを再植するか否かの判断基準を説明できる。 3. 歯の再植に伴う不快事項を説明できる。 4. 再植歯の経過観察法を説明できる。 [E-2-4)-(2)-③] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：「歯科材料とアレルギー」について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月5日(水) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>内分泌Ⅰ</b> 内分泌系の働きを理解する。	1. 視床下部-下垂体系のホルモンを説明できる。 2. 副腎皮質・副腎髄質ホルモンを説明できる。 3. 甲状腺・副甲状腺ホルモンを説明できる。 4. 膵臓ホルモンを説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~②] 事前学習：内分泌について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月5日(水) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>内分泌Ⅱ</b> 内分泌系の働きを理解する。	1. 循環および体液を調節するホルモンを説明できる。 2. カルシウム調節ホルモンを説明できる。 3. ストレス関連ホルモンを説明できる。 4. 消化管ホルモンを説明できる。 5. 主なホルモンの働きを説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~②、C-3-4)-(4)-⑥、C-3-4)-(7)-①] 事前学習：内分泌について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月5日(水) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>顎顔面の感覚</b> 顎顔面領域の感覚について理解する。	1. 顎顔面の体性感覚の受容機構と特徴を説明できる。 2. 顎顔面の体性感覚の伝導路を説明できる。 3. 味覚の受容機構を説明できる。 4. 味覚の伝導路を説明できる。 [C-3-4)-(6)-①~④、C-3-4)-(5)-④、E-2-2)-⑨~⑩] 事前学習：顎顔面の感覚について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月6日(木) 1限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>疾病の概念 1</b> 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 炎症について説明できる。 2. 感染症について説明できる。 3. 免疫異常について説明できる。 4. 増殖と修復について説明できる。 [C-5-3)、C-5-5)] 事前学習：スタンダード病理学 p110-188, p42-60 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
6月6日(木) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>疾病の概念 2</b> 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 腫瘍について説明できる。 [C-5-6)] 事前学習：スタンダード病理学 p244-282 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
6月6日(木) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 1(主要症候)</b> 口腔外科疾患における主要な症候を理解し、診断に必要な知識を習得する。	1. 主要な症候とその概略を説明する。 2. 主要な症候の原因、病理を説明する。 3. 主要な症候を有する主な疾患を列挙する。 [E-1-4)-(1)-①～⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p26-44 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
6月6日(木) 4限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 2(検査法)</b> 顎・口腔外科の診察において必要な検査法を習得する。	1. 基本的な検査法を上げ、その概略を説明する。 2. 基本的な検査法の臨床的意義が説明する。 3. 各臨床検査の基準値を述べ、異常値の意味を説明する。 [E-1-3)-(①～⑤)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p45-104 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
6月6日(木) 5限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の嚢胞</b> 1 顎嚢胞 2 軟組織の嚢胞 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を分類し、それぞれの発生病因と臨床症状、画像検査所見、病理組織所見を述べ、治療法を概説する。 2. 嚢胞に対する手術法および器具の種類を列挙し用法を説明する。 3. 術中、術後の偶発症と対処法を説明する。 [E-2-4)-(5)-①～②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p272-291, 378 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月7日(金)  1限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	<b>歯の発生とエナメル質・象牙質・歯髄複合体について</b> エナメル質形成・象牙質・歯髄複合体に関わる細胞やエナメル質・象牙質・歯髄の構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	1. エナメル器を構成する細胞の由来について説明できる。 2. エナメル芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 3. エナメル質の組織学的特徴について説明できる。 4. エナメル質に見られる成長線について説明できる。 5. エナメル基質中に見られる構造について説明できる。 6. 象牙質・歯髄複合体を構成する細胞の由来について説明できる。 7. 象牙芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 8. 象牙質の種類と組織学的特徴について説明できる。 9. 象牙質に見られる成長線について説明できる。 10. 象牙細管、基質の石灰化の状態によって見られる構造について説明できる。 11. 歯髄の組織学的特徴や構成細胞を説明できる。 12. 歯髄の脈管・神経系について説明できる。 13. 象牙質・歯髄複合体の生理的加齢変化について説明できる。 [E-3-1)-①、E-3-1)-④⑤] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
6月7日(金)  2限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	<b>歯の発生と歯周組織</b> 歯周組織(歯肉・セメント質・歯根膜・歯槽骨)を構成する細胞や構造について説明でき、さらに発生学的視点から理解できるようになる。	1. 歯周組織やその構成細胞の由来について説明できる。 2. 歯肉の組織学的特徴について説明できる。 3. 付着上皮の特異性と臨床的意義について説明できる。 4. セメント質の特徴と形成機序について説明できる。 5. 歯根膜の組織学的特徴と構成細胞について説明できる。 6. 歯槽骨の組織学的特徴について説明できる。 7. 歯槽硬線を組織学的特徴から説明できる。 8. 歯槽骨・歯根膜のリモデリングについて説明できる。 9. 歯周組織の脈管・神経・機械的受容器について説明できる。 [E-3-1)-⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月7日(金) 3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎顔面の損傷 1</b> <b>歯の外傷・歯槽骨骨折</b> <b>軟組織の損傷</b> <b>創傷治癒</b> 歯の損傷および歯槽骨骨折の診断法と治療について修得する。	1. 歯の損傷の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 歯の損傷の診断と治療法を説明できる。 3. 歯槽骨骨折の診断と治療法を説明する。 4. 軟組織損傷について説明できる。 5. 創傷治癒について説明できる。 [E-2-4)-(2)-①~⑤] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p149-157を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月7日(金) 4限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎顔面の損傷 2</b> <b>顎骨骨折</b> 顎顔面骨折の診断と治療について習得する。	1. 一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明する。 2. 顎顔面骨折の原因と種類を列挙する。 3. 上顎骨骨折、下顎骨骨折、頬骨・頬骨弓骨折および鼻骨骨折の症状と検査法を列挙し、診断と治療法を説明する。 [E-2-4)-(2)-①~⑤] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p158-173を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月7日(金) 5限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>血液疾患</b> <b>1 赤血球、白血球異常</b> <b>2 出血性素因</b> 貧血や白血病の全身的症状と口腔症状との関連について習得する。 出血性素因に関する知識を習得する。	1. 赤血球の異常を現す疾患を列挙する。 2. 貧血の症状と治療法を説明する。 3. 輸血、輸血製剤の種類について説明できる。 4. 白血球の異常を現す疾患を列挙する。 5. 白血病の症状を説明する。 6. 出血性素因を現す主要な疾患を列挙する。 7. 止血機能のスクリーニング検査項目を列挙する。 8. 主要な出血性素因の病因、病態、治療法を説明する。 9. 抗血栓療法について説明し適応疾患を列挙する。 10. 抗血栓療法薬を列挙する。 [E-2-4)-(10)-①] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p254-271を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月10日(月) 1限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>疾病の概念 3</b> 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 循環障害について説明できる。 [C-5-4] 事前学習：スタンダード病理学 p74-109を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
6月10日(月) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>疾病の概念 4</b> 病理学総論の疾病の概念について理解する。	1. 内分泌障害について説明できる。 2. 染色体・遺伝子および発生の異常について説明できる。 3. 代謝障害について説明できる。 [C-5-1)、C-5-3)] 事前学習：スタンダード病理学 p64-71、p190-213、p216-241を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月10日(月) 3限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>結合組織Ⅰ</b> 結合組織の構造と機能を理解する。	1. コラーゲンの構造・機能・生合成を説明できる。 2. プロテオグリカンの構造・機能・分布を説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
6月10日(月) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>結合組織Ⅱ</b> 結合組織の成分と細胞接着を理解する。	1. インテグリンの構造と機能を説明できる。 2. 主要な接着性タンパク質の機能と分布を説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
6月10日(月) 5限	横田潤助教 (補綴・インプラント学)	<b>ワックスパターン形成</b> ワックスパターン形成法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してワックスパターン形成法に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
6月11日(火) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>局所麻酔薬・全身管理の薬物</b> 局所麻酔薬と全身麻酔薬に使用する薬物を理解する。  <b>救急薬・全身疾患と関連する薬物</b> 救急薬の概要を理解する。 全身疾患と関連する薬物の概要を理解する。	1. 局所麻酔薬の作用機序、種類、副作用、中毒を説明できる。 2. 血管収縮薬の使用目的と種類、特徴を説明できる。 3. 全身麻酔で使用される薬物の種類、特徴を説明できる。  1. 救命処置で使用する薬物を説明できる。 2. 高血圧、糖尿病、気管支喘息など基本的疾患、高齢者で多い疾患に使用する薬物を説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①、E-1-4)-(1)-⑤、E-1-4)-(3)-①②④、E-1-4)-(4)-②、E-5-②、E-6)] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
6月11日(火) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>自律神経薬と筋弛緩薬</b> 自律神経系とその作用薬、拮抗薬を理解する。 筋弛緩薬を理解する。	1. 自律神経系の構成と神経伝達物質を説明できる。 2. 交感神経系の作用薬、拮抗薬を説明できる。 3. 副交感神経系の作用薬、拮抗薬を説明できる。 4. 筋弛緩薬の概要を説明できる。 [C-3-4)-(5)-②⑨、C-6-2)-②③⑤、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
6月11日(火) 3限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>中枢作用薬・麻薬性鎮痛薬</b> 中枢作用薬・麻薬性鎮痛薬の概要を理解する。	1. 抗けいれん薬について説明できる。 2. 鎮静薬、催眠薬について説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬の作用機序、種類、副作用を説明できる。 4. 緩和ケアに使用する薬物を説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-①、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月11日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>社会保障制度</b> 社会保障制度の仕組みを学ぶことで制度における歯科医師の役割を理解する。	1. 社会保障制度の種類を列挙できる。 2. 医療保障制度を概説できる。 3. 所得保障制度を概説できる。 [B-2-2)-②③] 事前学習：資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月11日(火) 5限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>国民医療費、国際保健</b> 国民医療費について学ぶことで超高齢社会の問題点を把握する。 国際保健を学ぶことでグローバルな医療人として社会貢献をする態度が身につく。	1. 国民医療費の内訳を列挙できる。 2. 制度別、財源別、診療行為別、年齢別国民医療費について説明できる。 3. 国際協力組織を列挙できる。 4. WHO の口腔保健戦略を列挙できる。 [A-7-2)-③~⑤、B-2-2)-②③]
6月12日(水) 1、2限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>脳血管疾患、消化器疾患</b> 代表的な脳血管疾患、消化器疾患について理解する。	1. 代表的な脳血管疾患、消化器疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
6月12日(水) 3、4、5限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 歯周外科治療・根分岐部病変を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 根分岐部病変を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月13日(木) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 修復補助法と前処置</b> 修復における補助法と前処置について理解する。	1. 浸潤麻酔について説明できる。 2. 隔壁法について説明できる。 3. 歯間離開について説明できる。 4. 歯肉圧排法について説明できる。 5. 防湿法について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：修復補助法と前処置について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月13日(木) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 窩洞形成&amp;メタルインレー修復</b> 窩洞形成、メタルインレー修復の重要事項を理解する。	1. 窩洞の分類を説明できる。 2. 窩洞の条件を説明できる。 3. 窩洞の名称を説明できる。 4. メタルインレー修復窩洞の特徴を説明できる。 5. メタルインレー窩洞形成に使用する器具を説明できる。 [E-3-3)-(1)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：窩洞形成&メタルインレー修復について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月13日(木) 3限	石崎明教授 (細胞情報科学)	<b>細胞</b> 細胞小器官と生体膜の機能を理解する。	1. 細胞小器官の機能を説明できる。 2. 生体膜の構造と機能を説明できる。 [C-1-1)、C-2-3)] DESS 演習の準備をしておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月13日(木) 4限	石崎明教授 (細胞情報科学)	<b>遺伝子</b> 核酸の構造とセントラルドグマを理解する。	1. 核酸の構造を説明できる。 2. セントラルドグマを説明できる。 [C-1-1)、C-2-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
6月13日(木) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>遺伝病</b> 遺伝病が発現するしくみを理解する。	1. 染色体の構造と配偶子形成を説明できる。 2. 遺伝病・配偶子病が発現するしくみを説明できる。 [C-1-1)、C-2-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
6月14日(金) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>金属の成形技術・機器(ワックス、埋没材、歯科鑄造、鑄造欠陥、熱処理、ろう付け)</b> 埋没材の種類、特徴を歯科鑄造と関連付けて学ぶ。歯科用金属の成形法について学ぶ。鑄造欠陥について学ぶ。 金属同士を接合する方法について学ぶ。	1. 歯科用ワックスの種類と用途、性質を説明できる。 2. 石膏系およびリン酸塩系埋没材の種類、組成、成分の役割、性質を説明できる。 3. 鑄型加熱の目的を説明できる。 4. 歯科臨床における合金の融解と鑄込みの重要性を説明できる。 5. 合金の融解方法(熱源)について説明できる。 6. 歯科鑄造の理論と技術について説明できる。 7. 鑄造欠陥の原因と対策を説明できる。 8. 金属の強化方法(熱処理、加工)を説明できる。 9. 金属の接合方法の種類と特徴について説明できる。 10. 歯科用ろうの種類と所要性質を説明できる。 [D-1-②④、D-2-①②④⑤⑥] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。
6月14日(金) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯冠修復材料③歯科用陶材</b> 歯科用陶材の用途、種類、成分・組成、焼成体の性質を学ぶ。	1. 歯冠修復に用いられるセラミックス材料の種類を挙げ、それぞれの一般的特徴を説明できる。 2. 歯科用陶材の諸性質を説明できる。 [D-1-①②、D-2-①②⑥] 事前学習: 2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。
6月14日(金) 3限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>外科的歯内療法</b> 外科的歯内療法の術式・適応症が説明できるようになる。	1. 外科的歯内療法の術式・適応症が説明できる。 2. 外科的歯内療法の器具が理解できる。 [E-3-3)-(2)-⑤] 事前学習: 外科的歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月14日(金) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>歯内療法学(根未完成歯・外傷歯の歯内療法)</b> 根未完成歯・外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 根未完成歯の歯内療法の目的を説明できる。 2. アペキシゲネーシスについて説明できる。 3. アペキシフィケーションについて説明できる。 4. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 5. 内部吸収について説明できる。 6. 外部吸収について説明できる。 [E-3-3)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：根未完成歯・外傷歯の歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月14日(金) 5限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>外傷と歯内療法</b> 外傷歯の歯内療法の基本術式について説明できるようになる。	1. 歯冠破折歯の分類、術式を説明できる。 2. 内部吸収について説明できる。 3. 外部吸収について説明できる。 [E-3-3)-(2)-(3)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：外傷と歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月17日(月) 1,2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成 比較 CR/CRIn /MI</b> コンポジットレジン修復/コンポジットレジンインレー/メタルインレー修復の特徴とそれぞれの違いを理解する。	1. コンポジットレジン修復とコンポジットレジンインレー修復の違いを説明できる。 2. コンポジットレジン修復とメタルインレー修復の違いを説明できる。 3. コンポジットレジン修復とコンポジットレジンインレー修復の違いを説明できる。 [E-3-3)-(1)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：コンポジットレジン修復/コンポジットレジンインレー/メタルインレー修復について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月17日(月) 3、4、5限	田中良一教授 (歯科放射線学)	<b>放射線の基礎Ⅰ</b> 1. 放射線の性質 2. エックス線の発生原理とエックス線管の構造 3. エックス線の線質と物質との相互作用 4. 放射線防護の基準と方法	1. 原子の構造および電離、励起について説明する 2. 放射線の種類を類別する。 3. エックス線の一般的性質を説明する。 4. 以下の用語を定義、説明する。 照射線量、吸収線量、等価線量、実効線量、放射線加重係数、組織加重係数 5. エックス線発生の原理、エックス線管の構造を説明する。 6. 焦点と半影、ろ過について説明する。 7. 制動放射線、特性エックス線の比較、エックス線スペクトルを図示し説明する。 8. 光電効果、コンプトン効果、散乱について説明する。 9. 放射線防護の基準と方法を説明する。 [E-1-2)-①③④⑤]
		理解を深めるため、グループディスカッション後に、グループごとに全体プレゼンテーションする形式で進める。出席番号順に9グループに分割、各グループは到達目標に上げた事項を順に担当する。 3限目をディスカッションおよび発表資料作成の時間とし、4および5限をプレゼンテーション時間とする。発表時間は7分、質疑応答および補足を5分間で行う。なお、発表資料は事前準備し、当日のディスカッションでブラッシュアップを行っても良い。時間を有効活用できる様調整すること。 グループ分けが均等にならない場合は、出席番号の若いグループから順に優先的に配分する。各グループの先頭の出席番号者をグループ長とする。グループ長が同グループ内から補佐を指名し、協力して全体を取りまとめること。各グループ内での役割分担を自主的に決めること。	
6月18日(火) 1、2限	田中良一教授 (歯科放射線学)	<b>放射線の基礎Ⅱ</b> 1. 被写体コントラストと写真コントラスト 2. フィルムと増感紙 3. 写真現像処理	1. 被写体コントラスト、写真コントラストを定義し説明する。 2. 被写体コントラスト、写真コントラストに影響する因子を説明する。 3. 黒化度を定義し、特性曲線を作成する。 4. スクリーン、ノンスクリーンフィルムの違いを説明する。 5. フィルムの感光原理を説明する。 6. 現像処理（現像、定着）を説明する。 [E-1-2)-④]
		基本事項の復習について、デジタルコンテンツを用い、学習素材の階調変化、ネガ・ポジ反転等を実際に体験し、画像の成り立ちについて、インタラクティブに理解を深める。素材をWebClassに登録する。自身のノートパソコンを持参できるものは、WebClassの素材をダウンロードしておくこと。可能であれば、GIMP、Photoshop等の画像編集ソフトを準備しておくこと。	
6月18日(火) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>疫学総論</b> 医学全般に共通の疫学を学ぶことで疫学の基本概念が理解できる。	1. 疫学の研究方法を列挙できる。 2. 疫学指標を算出できる。 3. 因果関係の判定基準を列挙できる。 [B-4-1)-①、B-4-2)-①③④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月18日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>スクリーニング</b> スクリーニングについて学ぶことで集団の健康管理法について理解できる。	1. スクリーニングの意義を概説できる。 2. スクリーニングの有効性の指標を算出できる。 3. 尤度比の意義を説明できる。 [B-4-1)-②、B-4-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月18日(火) 5限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>歯科疾患の疫学指標</b> 口腔疾患に固有の疫学指標を学ぶことで歯科疾患・リスクの分布頻度の把握方法を理解できる。	1. 歯科集団検診の方法を概説できる。 2. 歯科疾患の疫学指標を算出できる。 [B-4-1)-③、B-4-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月19日(水) 1、2限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学分野)	<b>全身疾患を有する患者の管理</b> 循環器疾患、呼吸器疾患、代謝系、内分泌系、泌尿器系疾患などを持つ患者の管理法を理解する。	1. 高血圧症、虚血性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患、感染性心内膜炎、脳血管障害の疾病の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 2. 肺気量分画を説明できる。 3. 換気障害を説明できる。 4. 気管支喘息、アスピリン喘息、喘息発作・気管支けいれん、慢性閉塞性肺疾患、肺線維症の疾病の病態、症候、診断と治療時の留意点を説明できる。 5. 歯科診療及び全身麻酔時に注意すべき代謝・内分泌疾患を説明できる。 6. 代謝・内分泌系疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。 7. 歯科診療及び全身麻酔時に注意すべき腎臓疾患を説明できる。 8. 腎臓疾患患者の管理上の問題点、対処法を説明できる。 [E-1-3)、E-1-4)-(2)、E-1-5)-⑩、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：全身疾患について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学 4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
6月19日(水) 3限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯①</b> 無歯顎の病態と加齢に伴う変化を理解する。	1. 無歯顎の病態について説明できる。 2. 無歯顎者の加齢変化について説明できる。 [E-3-4)-(2)-①] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月19日(水) 4限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯②</b> 無歯顎の印象採得を理解する.	1. 上下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を図示できる. 2. 上下顎の辺縁形成に関わる筋を説明できる. 3. 筋圧形成の意義を説明できる. 4. 精密印象の目的と方法を説明できる. [E-3-4)-(2)-⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月19日(水) 5限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯③</b> 様々な印象採得法を理解する.	1. いろいろな手法を用いた印象採得方法を説明できる. [E-3-4)-(2)-⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月20日(木) 1限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎関節疾患 1</b> <b>顎関節症</b> 顎関節症の種類、原因、症状、診断、治療に関する知識を習得する。	1. 顎関節の構造を説明できる。 2. 顎関節の運動に関係する筋肉を説明できる。 3. 顎関節の限界運動を説明できる。 4. 顎関節の形態と機能について説明できる。 5. 顎関節疾患の種類と原因を列挙できる。 6. 顎関節疾患の症状・診断法を概説できる 7. 顎関節症の治療法を説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p388-391、405-411を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月20日(木) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎関節疾患 2</b> <b>外傷、炎症、腫瘍</b> <b>形態・機能異常</b> 顎関節における形態と機能異常、損傷、炎症性疾患の原因、症状、診断、治療に関する知識を習得する。	1. 主要な顎関節形態異常、機能異常の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 2. 顎関節損傷の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 3. 顎関節の腫瘍、炎症性疾患の種類、原因、症状、治療法を列挙できる。 [E-2-4)-(7)-①、②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p392-405を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月20日(木) 3限	米澤 悠助教 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯④</b> 顎間関係記録を理解する.	1. 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。 2. 垂直的顎間関係の形態的、機能的な決定方法を説明できる。 3. 水平的顎間関係の記録方法を説明できる。 4. 咬合床に記入する標示線を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑦] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月20日(木) 4限	米澤 悠助教 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯⑤</b> ゴシックアーチ描記法を理解する.	1. ゴシックアーチ描記法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑦] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月20日(木) 5限	米澤 悠助教 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯⑥</b> 下顎運動と咬合器、咬合器への模型装着・顎路調整を理解する。	1. 顔弓と顔弓記録の基準点を説明できる。 2. 顔弓を使用する臨床的意義を説明できる。 3. 調節性咬合器と非調節性咬合器について説明できる。 4. アルコン型とコンダイラー型咬合器について説明できる。 5. 上下顎模型の装着方法を説明できる。 6. 顎路の調節方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月21日(金) 1、2限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>CT・MRI・US 検査</b> 顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応について理解する。	1. CT 値、部分容積効果について説明する。 2. 歯科用コーンビームCTとX線CTの画像形成原理と適応を説明する。 3. CT で用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記する。 4. MRI の画像形成原理と適応を説明する。 5. MRI で用いられる造影撮影の目的と造影剤使用禁忌を列記する。 6. 超音波断層法の画像形成原理と適応を説明する。 7. PET 検査、核種について説明する。 8. シンチグラフィ検査と核種について説明する。 [E-1-2)-⑤⑨] 事前学習：事前に WebClass 上に各種画像診断装置の画像を公開する。どの画像がどの診断機器のものか予習すること。
6月21日(金) 3限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯⑦</b> 咬合器への模型装着・顎路調整を理解する。	1. 上下顎模型の装着方法を説明できる。 2. 顔弓と顔弓記録の基準点を説明できる。 3. 顔弓を使用する臨床的意義を説明できる。 4. 顎路の調節方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月21日(金) 4限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>全部床義歯⑧</b> 人工歯排列を理解する。	1. 人工歯選択基準（基本的な顔型、SPA要素、標示線、大きさ）を説明できる。 2. 前歯部排列方法を説明できる。 3. 垂直被蓋と水平被蓋について説明できる。 4. 臼歯部人工歯排列の基本原則を説明できる。 5. 歯槽頂間線法則、ニュートラルゾーン、パウンドライン、調節彎曲を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨⑩] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月21日(金) 5限	米澤 悠助教 (補綴・インプラント学)	全部床義歯⑨ ろう義歯試適における診 査内容を理解する。	1. ろう義歯試適時の診査項目を列挙できる。 2. 発音に関連する解剖学的・生理学的事項を 説明できる。 [E-3-4)-(2)-(⑩⑫)] 事前学習：講義内容について教科書と4年次 に使用したレジメ、講義ノートに目を通して 講義に臨むこと。
6月22日(土) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	顎運動・唾液 顎運動および唾液分泌に ついて理解する。	1. 咀嚼運動を説明できる。 2. 顎反射を説明できる。 3. 唾液の分泌機構と分泌調節を説明できる。 4. 唾液成分の働きを説明できる。 [C-3-4)-(5)-(⑥~⑧)、E-2-1)-(③、⑤~⑧、 E-2-2)-(⑤⑥)] 事前学習：顎運動・唾液について、2年次の 生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を 通して講義に臨むこと。
6月22日(土) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	嚥下・発声 嚥下および発声・構音に ついて理解する。	1. 嚥下の神経機構を説明できる。 2. 嚥下時に生じる運動を説明できる。 3. 嘔吐の神経機構を説明できる。 4. 嘔吐時に生じる反応を説明できる。 5. 喉頭原音を説明できる。 6. 母音と子音の構音を説明できる。 7. 言語障害を説明できる。 [E-2-1)-(⑨~⑪)、E-2-2)-(③、E-2-2)-(⑧)] 事前学習：嚥下・発声について、2年次の生 理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
6月24日(月) 1限	武本真治教授 (医療工学)	成形修復材-コンポジット レジンを中心に レジンに無機質フィラー が配合された複合レジン ならびにそれ以外の成形 修復材料の構成と特性を 学ぶ。	1. 複合レジン構成、成分を説明できる。 2. 成分モノマーの特徴を説明できる。 3. 補強材としてのフィラーの種類、特徴を説 明できる。 4. 成形修復用ガラスアイオノマーセメント の構成、成分を説明できる。 5. アマルガム取扱い時の注意事項を説明で きる。 [D-1-①、D-2-①] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタ ンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこ と。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義 開始までに補充すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月24日(月) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>合着・接着用材料</b> 歯科用合着・接着用材料の種類、成分、硬化機構および性質について学ぶ。	1. 歯科用合着材の種類、成分、特徴を説明できる。 2. 歯科用接着材の種類、成分、特徴を説明できる。 [D-2-⑦] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。
6月24日(月) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>鋳造修復&amp;鋳造欠陥</b> 鋳造修復、鋳造欠陥の重要事項を理解する。	1. 鋳造修復の術式を説明できる。 2. 鋳造収縮とその補償法を説明できる。 3. 鋳造欠陥の種類を列挙しその特徴と防止法を説明できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習：鋳造修復&鋳造欠陥について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月24日(月) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>齲蝕(診査、診断、処置)</b> 齲蝕(診査、診断、処置)について理解する。	1. 齲蝕の診査、診断、処置について説明できる。 [E-3-3)-(1)-①] 事前学習：齲蝕(診査、診断、処置)について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月24日(月) 5限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>基礎力養成</b> <b>歯の変色と漂白</b> 歯の変色と漂白について理解する。	1. 歯の変色の原因を説明できる。 2. 歯の漂白法を説明できる。 3. 歯の漂白の適応症と禁忌症を説明できる。 [E-3-3)-(2)-⑥] 事前学習：歯の変色と漂白について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
6月25日(火) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>部分床義歯①</b> 歯の欠損による障害、欠損様式、義歯の分類を理解する。	1. 分類の必要性和臨床的意義を説明できる。 2. 1~3次性障害について説明できる。 3. 部分床義歯製作時の診査項目を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①~③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月25日(火) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>部分床義歯②</b> 部分床義歯の支持・把持・維持機構を理解する。	1. 部分床義歯の支持について説明できる。 2. 部分床義歯の把持について説明できる。 3. 部分床義歯の維持について説明できる。 [E-3-4)-(2)-④] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月25日(火) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>人口統計</b> 健康指標として最も代表的な人口指標を学ぶことで、超高齢社会の問題点を把握できる。	1. 人口静態と人口動態の指標を列挙し、主な指標を説明できる。 2. 母子保健に関する人口指標を説明できる。 [B-4-2)-②③] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月25日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>国の保健統計調査</b> 国の行う保健医療統計調査を学ぶことで、現代日本の構造と問題点を理解するようになる。	1. 基幹統計と一般統計を列挙できる。 2. 歯科疾患実態調査結果を概説できる。 [B-4-2)-②③] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月25日(火) 5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>国民栄養と食品保健</b> 栄養と健康について学ぶことで口腔保健における栄養指導の重要性が理解できる。	1. 国民栄養の問題点を列挙できる。 2. 栄養関連法規を概説できる。 3. 食事摂取基準、食事バランスガイドを説明できる。 [B-1-③、B-4-2)-②、F-3-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
6月26日(水) 1、2限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>呼吸器、アレルギー疾患</b> 代表的な呼吸器、アレルギー疾患について理解する。	1. 代表的な呼吸器、アレルギー疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
6月26日(水) 3限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>頭頸部の筋学のまとめ</b> 頭頸部を構成する筋に関する弱点領域を確認し、表情筋・咀嚼筋の起始・停止の位置から筋の機能を理解する。	1. 口蓋と舌（内舌筋・外舌筋）、頬筋、咽頭収縮筋、の起始・停止から嚙下を説明できる。 2. 咀嚼筋の起始・停止から下顎骨の動きを説明できる。 [E-2-2)-③] 事前学習：第 112 回歯科医師国家試験問題と第 108～111 回歯科医師国家試験の該当領域について DESS を利用してまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
6月26日(水) 4限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>頭頸部の内臓学のまとめ</b> 口腔領域のすべての内臓を説明できるようになる。	1. 口腔領域の区分を説明できる。 2. 口腔前庭、固有口腔に区分した臓器の特徴を説明できる。 [E-2-2)] 事前学習：第 112 回歯科医師国家試験問題と第 108～111 回歯科医師国家試験の該当領域について DESS を利用してまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
6月26日(水) 5限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>顎関節</b> 顎関節の基本構造、側頭骨と下顎骨の連結状況と咀嚼筋の起始・停止から顎関節運動を理解する。	1. 顎関節の構造と咀嚼筋の起始・停止から下顎骨の動きを説明できる。 2. 顎関節の動きから、半調節性咬合器の意味を説明できる。 [E-2-1)-⑥] 事前学習：第 112 回歯科医師国家試験問題と第 108～111 回歯科医師国家試験の該当領域について DESS を利用してまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月27日(木) 1限	山谷元気助教 (口腔外科学)	<b>口腔粘膜疾患</b> <b>総論</b> <b>口内炎およびアフタ性病変</b> <b>水疱性疾患</b> <b>ウイルス性疾患</b> 口腔粘膜の解剖学的特徴について学習し、口内炎およびアフタ性病変に関する知識を習得する。 水疱性疾患およびウイルス性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔粘膜の解剖学的構造について説明する。 2. 口内炎やアフタの成因、症状について説明する。 3. 口内炎やアフタの治療法について説明する。 4. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 5. 口腔粘膜に発症する水疱性疾患の治療法について説明する。 6. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患を列挙し、その特徴について説明する。 7. 口腔粘膜に発症するウイルス性疾患の治療法について説明する。 [E-2-4)-(4)-(①②)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p214-234、243-251を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月27日(木) 2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	<b>潜在的悪性疾患</b> 口腔領域に発生する口腔潜在的悪性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔潜在的悪性疾患(前癌病変、前癌状態)の概念を説明する。 2. 口腔潜在的悪性疾患(前癌病変、前癌状態)の種類を列挙する。 3. 口腔潜在的悪性疾患(前癌病変、前癌状態)の診断と治療法について説明する。 [E-2-4)-(6)-(⑤⑥)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p235-243、363-366を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
6月27日(木) 3限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>抗腫瘍薬・抗菌薬・消毒薬</b> 抗腫瘍薬・抗菌薬・消毒薬の概要を理解する。	1. 抗腫瘍薬の作用機序、副作用を説明できる。 2. 分子標的治療薬を説明できる。 3. 抗菌薬の作用機序、種類、副作用を説明できる。 4. 消毒薬の概要を説明できる。 [C-4-1)-(③~⑤)、C-6-2)-(①②⑤)、C-6-4)-(①②)] 事前学習：DESS演習を行い、講義に臨むこと。過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
6月27日(木) 4限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>抗ウイルス薬・抗真菌薬、止血薬・抗凝固薬、ビタミン・解毒薬</b> 抗ウイルス薬・抗真菌薬の概要を理解する。 止血薬・抗凝固薬について理解する。 重要なビタミン、解毒薬について理解する。	1. 抗ウイルス薬の概要について説明できる。 2. 抗真菌薬の概要について説明できる。 3. 抗凝固薬・止血薬について説明できる。 4. ビタミンの概要について説明できる。 [C-3-4)-(4)-(⑦)、C-4-1)-(③⑤)、C-6-2)-(②⑤)、C-6-4)-(①)] 事前学習：DESS演習を行い、講義に臨むこと。過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月27日(水) 5限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>部分床義歯③</b> 部分床義歯の支台装置の選択と連結子の選択を理解する。	1. 支台装置の一般的所要条件を説明できる。 2. 支台装置の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 3. 連結子の種類、特徴、利点・欠点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
6月28日(金) 1限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念1</b> 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 唾液腺の非腫瘍性病変について説明できる。 2. 唾液腺の腫瘍性病変について説明できる。 [E-2-4-(8)] 事前学習：新口腔病理学 p259-281 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
6月28日(金) 2限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念2</b> 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 歯の硬組織疾患について説明できる。 2. 象牙質・歯髄複合体の病変について説明できる。 3. 根尖性歯周組織疾患について説明できる。 4. 辺縁性歯周組織の病変について説明できる。 [E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p48-96 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
6月28日(金) 3, 4限	坂本 望助教 (歯科麻酔学分野)	<b>全身状態評価、周術期管理 (術前・術中・術後管理)</b> 術前の全身状態評価法と術中の呼吸・循環管理と術後の合併症と疼痛管理法を理解する。	1. 各種の診察によって患者の現症を把握できる。 2. リスク・重症度の分類ができる。 3. 術前経口摂取制限を説明できる。 4. 麻酔前投薬を説明できる。 5. 術中の全身管理を説明できる。 6. 術中合併症を列挙し、対処法を説明できる。 7. 術後の全身管理を説明できる。 8. 術後合併症を列挙し、対処法を説明できる。 [E-1-4)-(1)、E-1-4)-(4)-③] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：永末書店第4版臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
6月28日(金) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学分野)	<b>局所麻酔</b> 局所麻酔法及び局所麻酔薬・血管収縮薬を理解する。	1. 局所麻酔法の目的を説明できる。 2. 局所麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 3. 血管収縮薬の種類、その特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。 [E-1-4)-(3)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：永末書店第4版臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月3日(水) 1、2限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>画像診断1</b> 歯原性腫瘍と非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞の画像診断を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 口腔領域の歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞 [E-2-4)-(5)①②、E-2-4)-(6)①②] 事前に配布した症例の資料をもとにグループ単位で所見を作成し、講義時に発表を行う。
7月3日(水) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>高齢者における歯内療法</b> 高齢者における歯内療法について理解できる。	1. 高齢者の歯の特徴を説明できる。 2. 高齢者の歯内療法での注意事項を説明できる。 3. 高齢者と成人の歯内療法の違いを説明できる。 [E-5-1] 事前学習：高齢者における歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
7月3日(水) 4限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>歯内療法後の支台築造</b> 支台築造と歯冠修復について説明できる。	1. コアについて説明できる。 2. 根管治療後のコンポジットレジンについて説明できる。 3. 根管治療後の歯冠修復について説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：歯内療法後の支台築造について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
7月3日(水) 5限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>歯内療法の偶発症</b> 偶発症に関連する知識・治療法を理解し、国家試験問題を解くことができる。	1. 歯内療法における偶発症と対応について説明できる。 [E-3-3)-(2)-③] 事前学習：歯内療法の偶発症について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
7月4日(木) 1限	飯島 伸 非常勤講師 (口腔外科学)	<b>先天異常・後天異常1</b> <b>顎の異常</b> 顎の先天性・後天性異常について理解し、顎変形症に関する知識を習得する。	1. 主要な顎形態異常を列挙することができる。 2. 主要な顎変形症の症状を説明する。 3. 主要な顎変形症の診断法を説明する。 4. 主要な顎変形症の治療法を説明する。 [E-2-4)-(1)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p139-147を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月4日(木) 2限	飯島 伸 非常勤講師 (口腔外科学)	<b>先天異常・後天異常2</b> <b>軟組織の異常</b> <b>顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患</b> 先天性・後天性の軟組織の異常ならびに顎・口腔に異常を現す症候群と系統的骨疾患に関する知識を習得する。	1. 主要な軟組織の異常と治療法を説明する。 2. 顎口腔に異常を現す主要な症候群と系統的骨疾患を列挙し症状を説明する。 3. 主要な症候群と系統的骨疾患の診断法を説明する。 [E-2-4)-(1)-①～④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p109-126, 138-139を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月4日(木) 3限	飯島 伸 非常勤講師 (口腔外科学)	<b>先天異常・後天異常 3 総論</b> <b>顔面・口腔の裂奇形</b> 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、裂奇形に関する知識を習得する。	1. 先天異常・後天異常の概念と成因について説明する。 2. 顔面・口腔の発生と先天異常との関連について説明する。 3. 裂奇形の種類を列挙する。 4. 口唇裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明する。 5. 口蓋裂の発生率、裂型、症状、治療法を説明する。 [E-2-4)-(1)-①~④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p126-137を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月4日(木) 4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>最新の歯内療法</b> 最新の歯内療法について理解できる。	1. 歯内療法におけるマイクロスコープの有用性が説明できる。 2. Ni-Ti ロータリーファイルの適応症が理解できる。 [E-3-3)-(2)-⑤] 事前学習：最新の歯内療法について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
7月4日(木) 5限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>臨床推論</b> 症例例から必要な診査、診断、処置方針を立案できる。	1. 症例写真、エックス線写真から必要な検査を説明できる。 2. 正しい診断を下すことができる。 3. 適切な処置方針を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：保存におけるエックス線読影について3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
7月5日 (金) 1限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>乳歯の特徴</b> 乳歯とその特徴について多角的に理解する。	1. 乳歯の形態的・組織学的特徴を説明することができる。 2. 乳歯の物理的・化学的特徴を説明することができる。 [E-3-1)-②③] 事前学習：乳歯の特徴について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月5日 (金) 2限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>乳歯齲蝕</b> 小児齲蝕の特徴を多角的に理解する。	1. 乳歯齲蝕の特徴を列挙できる。 2. 乳歯齲蝕の疫学を説明できる。 3. 乳歯重症齲蝕の為害作用を説明できる。 4. 乳歯齲蝕の発生過程を多面的に説明できる。 [B-3-2)-①、E-4-2)-①] 事前学習：乳歯齲蝕について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月5日(金) 3限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>矯正装置の製作方法</b> 矯正装置の製作方法に関する知識を強化できる。	1. 矯正装置の製作方法について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-④⑤] 事前学習：医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジメ、講義ノートに目を通して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月5日(金) 4限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>矯正材料と器具</b> 矯正材料と器具に関する知識を強化できる。	1. 矯正材料と器具について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-④] 事前学習：医歯薬出版歯科矯正学、4年次に配布したレジメ、講義ノートに目を通して臨むこと。
7月5日(金) 5限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>弱点強化1 到達度試験解説</b> 矯正領域の弱点を認識し、対策を立てることができる。	1. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉強方法を構築することができる。 [E-4-1)-①～⑦] 事前学習：医歯薬出版歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
7月8日(月) 1限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラント臨床</b> 口腔インプラントの審査診断	1. 口腔インプラント治療に必要なエックス線診査が説明できる。 [E-3-4)-(3)-②③] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
7月8日(月) 2限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラント臨床</b> 口腔インプラントの審査診断	1. 補綴主導型インプラント治療が説明できる。 [E-3-4)-(3)-②③] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
7月8日(月) 3、4、5限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>画像診断2</b> 上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍の画像診断を修得する。 口腔領域の炎症と骨折、唾液腺疾患の画像診断を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見について説明する。 上顎洞疾患、悪性腫瘍、炎症性疾患、骨折、唾液腺疾患 [E-2-4)-(2)-①③④、E-2-4)-(3)-①～④、⑦、E-2-4)-(6)-③④、E-2-4)-(8)-②～⑦] 事前に配布した症例の資料をもとにグループ単位で所見を作成し、講義時に発表を行う。
7月9日(火) 1限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>歯髄処置</b> 小児の歯内療法を臨床に則して多角的に理解する。	1. 歯髄炎の診断法を説明できる。 2. 生活歯髄切断法を説明できる。 3. 暫間の間接覆髄法を説明できる。 4. 根未完成歯の歯内療法を説明できる。 [E-3-3)-(2)-①②] 事前学習：小児の歯髄処置について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月9日(火) 2限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>抜歯</b> 小児の抜歯について多角的に理解する。	1. 乳歯抜去時の診査事項を説明できる。 2. 乳歯抜歯の適応症、禁忌症を説明できる。 3. 乳歯抜歯の術式を説明できる。 [E-1-5)-①] 事前学習：小児の抜歯について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月9日(火) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>地域保健</b> 地域保健活動の総論を学ぶことで各論的保健活動を理解できるようになる。	1. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを概説できる。 2. 地域保健活動のすすめ方を説明できる。 3. 保健所と市町村保健センターの役割を説明できる。 [B-2-1)-⑤、B-2-2)-①、B-3-1)-③④、B-3-2)-⑥] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月9日(火) 4限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>母子保健</b> 母子保健・母子歯科保健について学ぶことで地域母子保健における歯科医師の役割が理解できる。	1. 母子保健事業を概説できる。 2. 母子歯科保健事業を列挙できる。 3. 乳幼児歯科健康診査を説明できる。 [B-3-2)-①④⑥、B-4-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月9日(火) 5限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>学校保健</b> 学校保健・学校歯科保健について学ぶことで学校保健における歯科医師の役割が理解できる	1. 学校保健の領域を説明できる。 2. 学校保健統計調査結果を概説できる。 3. 学校歯科健康診断の方法を説明できる。 [B-3-2)-①④⑥、B-4-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月10日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>腫瘍、血液疾患、他</b> 代表的な腫瘍、血液疾患について理解する。	1. 代表的な、腫瘍、血液疾患などについて理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
7月10日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>出血性疾患、抗凝固療法</b> 代表的な出血性疾患、抗凝固療法について理解する。	1. 代表的な、出血性疾患、抗凝固療法について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
7月10日(水) 3限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>外傷</b> 小児の歯の外傷を多角的に理解する。	1. 小児の歯の外傷の疫学的特徴を説明できる。 2. 小児の歯の外傷の診査と診断について説明できる。 3. 小児の歯の外傷に対する的確な対応法を説明できる。 [E-2-4)-(2)-①②、E-4-2)-⑦] 事前学習：小児の歯の外傷について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月10日(水) 4限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>動的咬合誘導</b> 動的咬合誘導について多角的に理解する。	1. 各デンタルステージにおける咬合誘導の目標を説明できる。 2. 乳歯列・混合歯列期における咬合誘導の治療法を説明できる。 [E-4-2)-⑧] 事前学習：動的咬合誘導について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月10日(水) 5限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>口腔習癖</b> 口腔習癖の種類とその影響を多角的に理解する。	1. 口腔習癖の種類と特徴を説明できる。 2. 口腔習癖への対応法について説明できる。 [E-4-2)-⑫] 事前学習：口腔習癖について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月11日(木) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>埋没、鑄造、研磨</b> 埋没・鑄造・研磨に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの埋没、鑄造、研磨に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月11日(木) 2限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>口腔内試適、調整</b> 口腔内試適・調整法に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの試適、調整法に関する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月11日(木) 3、4、5限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 歯周外科治療・特殊な歯周病を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 特殊な歯周病を説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月12日(金) 1限	織田展輔 非常勤講師	<b>部分床義歯④</b> 前処置・印象採得・オルタードキャスト法を理解する。	1. 部分床義歯の前処置を説明できる。 2. 部分床義歯の精密印象採得を説明できる。 3. オルタードキャストテクニックを説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月12日(金) 2限	織田展輔 非常勤講師	<b>部分床義歯⑤</b> サベイングの目的と意義について理解する。 義歯の設計手順について理解する。	1. サベイングの目的を説明できる。 2. サベイングの手順と意味を説明できる。 3. サベイングと義歯設計の関係を説明できる。 4. 義歯の設計手順を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月12日(金) 3限	織田展輔 非常勤講師	<b>部分床義歯⑥</b> 部分床義歯の咬合採得・人工歯排列・蟬義歯試適を理解する。	1. 症例に応じた部分床義歯の咬合採得の特徴について説明できる。 2. 部分床義歯の人工歯排列について説明できる。 3. 部分床義歯のろう義歯試適について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑥～⑨] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月12日(金) 4限	織田展輔 非常勤講師	<b>部分床義歯⑦</b> 金属床義歯の製作過程を理解する。	1. フレームワークの製作過程について説明できる。 2. 金属床義歯の特徴について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑩～⑫] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月12日(金) 5限	織田展輔 非常勤講師	<b>全部・部分床義歯①</b> 重合義歯の咬合器再装着と咬合調整について説明できる。	1. 様々な咬合器再装着法について説明できる。 2. 咬合様式について説明できる。 3. 咬合調整について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑪～⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月16日(火) 1限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	<b>クラウンの装着</b> クラウンの合着・接着に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンの装着に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月16日(火) 2限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	<b>セラミッククラウンの基本</b> セラミッククラウンの基本事項に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してセラミッククラウンの基本事項に関する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月16日(火) 3限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>産業保健・成人保健</b> 歯科保健を含めた産業衛生・保健、成人保健を学ぶことで成人の口腔保健管理を理解する。	1. 職業性疾患を列挙できる。 2. 職業性疾患の予防手段を列挙できる。 3. THPを概説できる。 4. 成人保健の概要を説明できる。 5. 特定健康診査、特定保健指導を説明できる。 [B-3-2)-①④⑥、B-4-2)②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月16日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>高齢者保健・介護保険</b> 高齢者の保健・歯科保健と介護保険制度を学ぶことで超高齢社会の保健医療について理解する	1. 地域支援事業を概説できる。 2. 介護保険制度を概説できる。 [A-7-1)-③④、B-2-2)-①④⑧、B-3-2)-①④⑥] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月16日(火) 5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>齶蝕の予防</b> 齶蝕の原因と予防法を学ぶことで個別または集団への齶蝕予防のための介入ができるようになる。	1. 齶蝕の発生要因を列挙できる。 2. 齶蝕の要因別リスク評価法を列挙できる。 3. 齶蝕の予防手段を概説できる(含む予防の3相5段)。 [B-3-1)-①～③、B-3-2)-①～⑤、E-3-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月17日(水) 1限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>摂食嚥下・訪問歯科診療領域の国家試験の傾向と勉強法</b> 摂食嚥下・訪問診療領域の国家試験問題を理解し、勉強法を見つけることができる。	1. 今春の摂食嚥下・訪問歯科診療領域の国家試験問題を通して最近の傾向を説明できる。 2. 理解しておくべき考え方、覚えておくべき項目を把握し、説明できる。 [E-2-4)-(11)-②、E-5-1)-⑦～⑩] 教員とのディスカッションの機会を設ける。講義中、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。ICT 端末を持参すること。 事前学習：今春の歯科医師国家試験を解き、疑問点をまとめておくこと。
7月17日(水) 2限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>摂食嚥下障害の原因疾患</b>	1. 疾患による摂食嚥下障害の種類とその訓練法について説明できる。 2. 疾患による摂食嚥下障害に対し、リハビリテーション計画を立案できる。 [E-5-1)-⑥～⑩] 教員とのディスカッションの機会を設ける。講義中、演習問題を学生同士で教え合う時間を設け、全体および個々の理解を深める。ICT 端末を持参すること。 事前学習：老年歯科医学 p 181～211、304～309 を読み、疑問点をまとめておくこと。
7月17日(水) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 1</b> <b>歯原性腫瘍</b> 歯原性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯原性腫瘍を列挙し分類する。 2. 歯原性良性腫瘍の一般的な臨床症状を説明でき、診断に必要な検査を挙げ、その概略を説明する。 3. 歯原性良性腫瘍の一般的な治療法を説明する。 [E-2-4)-(6)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
7月17日(水) 4限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 2</b> <b>非歯原性良性腫瘍</b> <b>腫瘍類似疾患</b> 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の特徴と症状を説明する。 2. 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断および治療法を説明する。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月17日(水) 5限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍3 癌腫</b> 顎顔面口腔領域に発生する上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 非歯原性悪性腫瘍の分類について概説する。 2. 悪性腫瘍の特徴について概説する。 3. 口腔癌の臨床症状を説明する。 4. 口腔癌の各種画像所見を説明する。 5. 口腔癌の病理組織像について説明する。 6. 口腔癌の治療、予後について説明する。 7. TNM 分類について説明する。 [E-2-4)-(6)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-365 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
7月18日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>義歯用材料</b> 義歯床用材料とくにアクリルレジンについて学ぶ。	1. アクリルレジンの粉液成分と役割を説明できる。 2. 歯科臨床におけるアクリルレジンの重合方法の違いを説明できる。 3. アクリルレジンの加熱重合と常温重合の共通点と相違点を説明できる。 4. 加熱重合レジンと常温重合レジンの物性比較ができる。 5. 熱可塑性レジンの成分と特徴を説明できる。 [D-1-①②③、D-2-②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
7月18日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>レジンの成形技術・機器</b> アクリルレジンの重合ならびに熱可塑性レジンの成形法について学ぶ。	1. ラジカル付加重合反応の概要を説明できる。 2. 歯科臨床におけるアクリルレジンの重合方法の違いを説明できる。 3. 熱可塑性レジンの成形法を説明できる。 [D-1-①②③、D-2-②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
7月18日(木) 3限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯② 床義歯装着・装着後の短期的な変化と対応を理解する。	1. 義歯装着の基本的術式について説明できる。 2. 義歯装着後、短期的に生じる生体と材料の変化について説明できる。 3. 義歯装着後の短期予後の対応を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑬] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月18日(木) 4限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	全部・部分床義歯③ 床義歯装着後の長期的変化と対応を理解する。	1. 義歯装着後、長期経過後に生じる生体と材料の変化について説明できる。 2. 義歯装着後の長期予後の対応を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑬⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月18日(木) 5限	畠山航助教 (補綴・インプラント学)	<b>下顎位・下顎運動</b> 下顎運動に関する知識を 深め整理できる。	1. 講義を通して下顎運動に関連する問題を 解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebCl ass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のデ ィスカッションで理解度を確認する。
7月19日(金) 1、2限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>画像診断 3</b> 顎関節疾患、系統疾患の 画像診断を修得する。	1. 以下の疾患の臨床症状と各種画像所見に ついて説明する。レームワークの製作過程 について説明できる。 顎関節疾患、系統疾患 [E-2-4)-(7)-(①②)、E-2-4)-(10)-(⑤～⑨)] 事前に配布した症例の資料をもとにグループ 単位で所見を作成し、講義時に発表を行う。
7月19日(金) 3限	川井忠講師 (口腔外科学)	<b>顎口腔の炎症 1</b> <b>総論</b> <b>蜂窩織炎</b> 炎症の概念を理解し、歯 性感染症に関する知識を 習得する。 顎骨周囲組織の炎症およ び治療に必要な知識を習 得する。	1. 炎症の概念・種類を説明する。 2. 炎症の症状、診断法、治療法を説明する。 3. 歯性感染症の概念を説明する。 4. 歯性感染症の概念と感染経路を説明する。 5. 急性炎症と慢性炎症の差異を説明する。 6. 顎骨周囲・頸部の組織隙の位置を説明する。 7. 軟組織炎症の症状を説明する。 8. 蜂窩織炎と膿瘍の違いを説明する。 [E-2-4)-(3)-(①～⑥)] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p174-198 を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebCl ass にアップロードしておく。
7月19日(金) 4限	川井忠講師 (口腔外科学)	<b>顎口腔の炎症 2</b> <b>歯周組織の炎症</b> <b>顎骨の炎症</b> <b>歯性上顎洞炎</b> 顎骨骨髓炎、歯性上顎洞 炎に関する知識を習得す る。	1. 歯周組織の病態、症状、治療法を説明する。 2. 歯冠周囲炎(智歯周囲炎を含む)の発症原 因、症状、診断、治療について説明する。 3. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治 療について説明する。 4. 顎骨骨髓炎の分類について説明する。 5. 急性顎骨骨髓炎の症状、経過、治療法につ いて説明する。 6. 歯性上顎洞炎の成因、検査法、治療法を説 明する。 [E-2-4)-(3)-(①～⑥)] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p174-206 を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebCl ass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月19日(金)  5限	川井忠講師 (口腔外科学)	顎口腔の炎症 3 <b>特異性炎</b> <b>菌性全身感染症</b> 顎・口腔顔面領域における特異性炎および菌性感染症が全身に及ぼす影響に関する知識を習得する。	1. 特異性炎の概念を説明する。 2. 顎・口腔顔面領域にみられる特異性炎の種類を列挙する。 3. 主要な特異性炎の原因菌を列挙する。 4. 主要な特異性炎の症状、検査法、治療法を説明する。 5. 菌性病変と全身感染症との関連について説明する。 6. 菌血症と敗血症の病態を説明する。 7. 菌性病巣感染の病態を説明する。 [E-2-4)-(3)-①～⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p206-213 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
7月22日(月)  1限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	<b>手術 1</b> <b>抜歯、難抜歯</b> <b>歯根端切除術</b> <b>歯槽堤手術</b> <b>歯の再植・移植</b> 抜歯を適切に実施するために必要な知識を習得する。	1. 抜歯の適応症と禁忌症を説明する。 2. 抜歯の偶発症と合併症およびその対処法を説明する。 3. 抜歯に必要な器具の用法と手技を説明する。 4. 抜歯の正常治癒経過および異常な治癒経過とその対処法を説明する。 5. 埋伏歯の抜歯法を説明する。 6. 歯根端切除術の適応症と禁忌症を説明する。 7. 歯槽堤整形術の適応症と手技を説明する。 8. 歯の移植・再植の適応症と手技を説明する。 9. 小帯に対する手術の適応症と手技を説明する。 [E-1-5)-①～⑩] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p484-506, 653-694 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
7月22日(月)  2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	<b>手術 2</b> <b>手術の基本手技</b> 切開、縫合、止血、骨切削などに用いる器具について習得する。	1. 縫合の種類を列挙し、説明する。 2. 止血法の種類を列挙し、説明する。 3. メスの種類と特徴を列挙する。 4. 縫合に必要な器材を列挙する。 5. 止血に用いる器材を列挙する。 6. 骨切削に用いる器具を列挙する。 7. 滅菌・消毒法について説明できる。 [E-1-5)-①～⑩] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p493-506 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月22日(月) 3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>神経疾患 口腔顔面痛と慢性疼痛 神経麻痺</b> 様々な口腔顔面痛ならびに心因性病態について習得する。神経麻痺の病態と治療法について習得する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 3. 舌咽神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 4. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。 5. 慢性疼痛と心因性病態の関連について説明できる。 [E-2-4)-(9)-①~④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p412-441を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月22日(月) 4,5限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>障害者歯科での行動調整, 主な障害</b> 障害者歯科学で用いられる行動調整と主な障害を理解する。	1. 障害者歯科学で取り扱う行動調整と主な障害について説明できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習：教科書 p208~244, p40~105を読み、まとめておく。
7月23日(火) 1,2限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 歯周基本治療、歯周医学を理解する。	1. 歯周基本治療を説明できる。 2. 歯周医学について説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①~③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月23日(火) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>顎関節症</b> 顎関節症に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して顎関節症に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月23日(火) 4限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>フッ化物による齲蝕予防</b> フッ化物による齲蝕予防法の効果とリスクを学ぶことで地域歯科保健活動においてフッ化物を応用できる。	1. フッ化物の齲蝕予防法を列挙できる。 2. フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。 3. フッ化物の中毒を説明できる(フッ化物濃度の計算含む)。 [B-3-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月23日(火) 5限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>口腔清掃法</b> 口腔清掃法とそれに関する器具、歯磨剤等を学ぶことで効果的な歯科保健指導ができるようになる。	1. 口腔清掃法を列挙できる。 2. 歯磨剤の基本成分と薬用成分を列挙できる。 [E-1-1)-①②、E-3-2)-③④、F-3-2)-③] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
7月24日(水) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 4 唾液腺腫瘍の治療</b> 唾液腺腫瘍の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明する。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明する。 3. 唾液腺の腫瘍性病変(良性腫瘍と悪性腫瘍)の病理組織所見を説明する。 [E-2-4)-(8)-①~⑦] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p378-381を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月24日(水) 2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 5 肉腫、悪性リンパ腫、悪性黒色腫</b> 顎顔面口腔領域に発生する非上皮性の悪性腫瘍に関する知識を習得する。	1. 口腔顎顔面領域に発症する主な悪性腫瘍を列挙する。 2. 主な肉腫の種類を列挙する。 3. 主な肉腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 4. 悪性リンパ腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 5. 悪性黒色腫の特徴、臨床症状、治療および予後について説明する。 [E-2-4)-(10)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-361を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月24日(水) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 6 化学療法、放射線療法、その他の治療、緩和医療</b> 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する化学療法や免疫療法の種類、適応について習得する。	1. 悪性腫瘍の化学療法について概説する。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列挙する。 3. 化学療法薬の投与法を説明する。 4. 化学療法薬の副作用を説明する。 5. 放射線治療における副作用について説明する。 6. 治療患者の口腔内管理、疼痛管理について説明する。 7. 緩和医療について説明する。 [A-5-1)-⑦、E-2-4)-(6)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-361を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月24日(水) 4限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 7 外科療法 1</b> 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術の種類、適応、術式について習得する。	1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明する。 2. 舌癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 3. 下顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 4. 上顎歯肉癌の切除法の種類を列挙し、適応を説明する。 5. 頸部郭清術の術式を説明する。 [E-2-4)-(6)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p776-816を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
7月24日(水) 5限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	<b>顎口腔の腫瘍 8 外科療法 2</b> 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する再建手術の種類、適応、術式について習得する。	1. 頭頸部領域の再建手術について説明できる。 2. 植皮について説明できる。 3. 遊離皮弁と有茎皮弁について説明できる。 [E-2-4)-(6)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p509-532を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月25日(木) 1限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	<b>唾液腺</b> 大唾液腺の構造と組織学的特徴について説明できるようになる。	1. 耳下腺・顎下腺・舌下腺の位置、排出導管の開口部の位置について説明できる。 2. 大唾液腺の終末部の組織学的特徴について説明できる。 3. 大唾液腺の導管の構造と機能について説明できる。 4. 唾液の組成や唾液成分の機能について説明できる。 [E-2-2)-⑤~⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
7月25日(木) 2限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	<b>歯肉・口腔粘膜(重層扁平上皮の特徴)・顎関節</b> 歯肉やその他の口腔粘膜, 顎関節について組織学的特徴を説明できるようになる。	1. 口腔粘膜上皮と角化の有無について説明できる。 2. 歯肉・歯槽粘膜の組織学的特徴について説明できる。 3. 歯-歯肉境の組織学的特徴について説明できる。 4. 頬粘膜・口蓋の組織学的特徴について説明できる。 5. 口唇の組織学的特徴について説明できる。 6. 舌・扁桃の組織学的特徴について説明できる。 7. 顎関節の組織学的特徴について説明できる。 8. 関節円板や関節包内層(滑膜)の特徴について説明できる。 [E-2-1)-⑥⑫、E-2-2)-①~⑥⑩、 C-3-4)-(1)-①~③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
7月25日(木) 3限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>全部・部分床義歯④</b> 様々な種類の義歯について理解する。	1. オーバーデンチャーについて説明できる。 2. アタッチメントを使用した義歯について説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月25日(木) 4限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>頭頸部の筋隙</b> 頭頸部の筋肉の走行、筋肉の起始・停止の位置から筋隙を把握し、その隙を通過する血管・神経と存在するものを理解する。	1. 頸部の筋隙(頸筋膜)をそれぞれ存在するもの、通過するものに分けて説明できる。 2. 頭部の筋隙に存在するもの、通過するものを説明できる。 3. 伝達麻酔の手技を筋隙から説明できる。 [E-2-1)-③] 事前学習：第112回歯科医師国家試験問題と第108~111回歯科医師国家試験の該当領域についてDESSを利用してまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月25日(木) 5限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>唾液腺</b> 唾液腺に関する解剖学的な構造と、大唾液腺・小唾液腺の存在意義を理解する。	1. 大唾液腺の存在位置と排泄管の開口部を説明できる。 2. 小唾液腺の存在部位と義歯床縁の関係を説明できる。 [E-2-2]-⑥] 事前学習：第112回歯科医師国家試験問題と第108～111回歯科医師国家試験の該当領域についてDESSを利用してまとめノートを作成しておくこと。講義でその問題及び関連事項についてフィードバックする。
7月26日(金) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>ブリッジの種類とポンティック</b> ブリッジ基底面に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してブリッジの種類に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月26日(金) 2限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>ブリッジのろう付け法</b> ブリッジ製作過程(ろう付け法)に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してブリッジのろう付け法に関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月26日(金) 3限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>プロビジョナルレステーション</b> プロビジョナルレステーションに関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してプロビジョナルレステーションに関連する問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
7月26日(金) 4限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	<b>口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念3</b> 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 歯原性嚢胞について説明できる。 2. 非歯原性嚢胞について説明できる。 [E-2-4)-(5)] 事前学習：新口腔病理学 p182-194 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
7月26日(金) 5限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念4</b> 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 口腔粘膜疾患の種類と特徴について説明できる。 2. 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患について説明できる。 [E-2-4)] 事前学習：新口腔病理学 p143-161 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月27日(土) 1限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	<b>精神鎮静法、高齢者の歯科治療</b> 精神鎮静法と高齢者の特徴を理解する。	1. 精神鎮静法の概念、目的、適応、禁忌、種類、実施法を説明できる。 2. 笑気吸入鎮静法を説明できる。 3. 静脈内鎮静法及びその使用薬剤を説明できる。 4. 全身の加齢による変化を説明できる。 5. 歯科治療時の全身の問題点を説明できる。 [E-1-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：精神鎮静法および高齢者の特徴について永末書店第4版 臨床歯科麻酔学 4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
7月27日(土) 2限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	<b>救急蘇生法</b> 救急蘇生法(BLS)を理解する。	1. バイタルサインを説明できる。 2. 成人の1次救命処置を説明できる。 3. 自動体外式除細動器を説明できる。 4. 小児の1次救命処置を説明できる。 5. 異物による気道閉塞とその解除法を説明できる。 [E-1-4)-(1)-①～④、E-1-6)-②③] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：精神鎮静法および高齢者の特徴について永末書店第4版 臨床歯科麻酔学 4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
7月29日(月) 1、2限	村井 治助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学出題項目網羅</b> 歯周領域のメンテナンス・高齢者を理解する。	1. 歯周領域のメンテナンスについて説明できる。 2. 歯周領域の高齢者治療について説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
7月29日(月) 3限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	<b>歯科治療時の偶発症</b> 局所麻酔薬投与時の偶発症とそのメカニズムを理解する。	1. 局所麻酔法の局所的偶発症を説明できる。 2. 局所麻酔薬及び歯科治療時の全身的偶発症を説明できる。(血管迷走神経反射、過換気症候群、アナフィラキシーショック、局所麻酔薬中毒、血管収縮薬に対する反応、メトヘモグロビン血症) 3. ショックを説明できる。 4. 局所麻酔時の内科的疾患の増悪を説明できる。(狭心症発作、脳血管障害、低血糖性昏睡、不整脈、仰臥位低血圧症候群) [E-1-6)-①] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：精神鎮静法および高齢者の特徴について永末書店第4版 臨床歯科麻酔学 4年次に使用したレジュメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月29日(月) 4限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	<b>全身麻酔法</b> 全身麻酔法と全身麻酔薬 を理解する。	1. 全身麻酔薬の理論、概念、機序を説明できる。 2. 全身麻酔に使用する装置、器具、回路を説明できる。 3. 全身麻酔における気道確保法を説明できる。 4. 全身麻酔薬の種類と特徴を説明できる。 5. 麻酔前投薬、筋弛緩薬の種類と薬理作用を説明できる。 [E-1-4)-(4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：全身麻酔法および麻酔薬について永末書店第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
7月29日(月) 5限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>全部・部分床義歯④</b> 様々な種類の義歯について理解する②	1. オーバーデンチャーについて説明できる。 2. アタッチメントを使用した義歯について説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

講義日程【B講義(8月19日～10月11日)】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、

3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月19日 (月) 1限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	<b>一般組織・上皮系・結合組織系のまとめ</b> 人体を構成する組織・器官系とこれらの構成要素である細胞に関する組織学的特徴や機能について説明できるようになる。 上皮系・間葉系幹細胞に由来する細胞、造血系幹細胞に由来する細胞とそれらの機能について説明できるようになる。	1. 人体を構成する器官系を列挙できる。 2. 上皮組織の組織学的分類とそれぞれの存在部位について説明できる。 3. 重層扁平上皮の各層の特徴と構成細胞について説明できる。 4. 天疱瘡・類天疱瘡などの疾患を組織学的視点から説明できる。 5. 細胞間接着装置について理解できる。 6. 間葉系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 7. 結合組織について理解できる。 8. 造血系幹細胞に由来する細胞を列挙できる。 9. 血球について組織学的特徴について説明できる。 [C-3-4)-(1)-①～③、C-3-4)-(2)-②～⑤、C-3-4)-(4)-③～⑥、C-4-2)-③] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月19日(月)  2限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	<b>一般組織(骨・筋・内分泌・ ホルモン・神経組織)のま とめ</b> 骨・筋組織の細胞とそれら の機能について説明でき るようになる。 内分泌・ホルモンに関わる 器官の構造や細胞につい て説明でき、さらに生体恒 常性的視点から理解でき る。 中枢神経・末梢神経に関わ る組織の構造や細胞につ いて説明でき、さらに神経 のネットワークの視点か ら生体恒常性を理解でき る。	1. 骨と筋の細胞に由来する細胞を列挙できる。 2. 骨と筋の組織について理解できる。 3. 軟骨について組織学的特徴について説明 できる。 4. 内分泌・ホルモンを構成する細胞につい て説明できる。 5. 内分泌・ホルモンの組織学的特徴につい て説明できる。 6. 血糖・血中カルシウム・血圧の恒常性維 持について説明できる。 7. 中枢神経・末梢神経を構成する細胞につ いて説明できる。 8. 脳・脊髄の組織学的特徴について説明できる。 9. 感覚器官について説明できる。 [C-3-4)-(2)-(3)~(5)、C-3-4)-(3)-(1)(2)、 C-3-4)-(5)-(7)、C-3-4)-(6)-(1)(2)、 C-3-4)-(9)-(1)] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要 な項目に目を通しておくこと。また問題集 については各自で解答して理解不足の点を 抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月19日(月)  3限	大津圭史准教授 (発生生物・再生 医学)	<b>顎顔面と歯の発生・エナメル質・象牙質・歯髄複合体・についてのまとめ</b> 顎顔面の発生過程ならびにエナメル質形成・象牙質・歯髄複合体に関わる細胞やエナメル質・象牙質・歯髄の発生と構造について統合的に説明できるようになる。	1. 鰓弓(咽頭弓)、鰓嚢(咽頭嚢)、鰓溝(咽頭溝)について説明できる。 2. 鰓弓・鰓嚢・鰓溝由来の構造について説明できる。 3. 神経堤について説明できる。 4. 神経堤に由来する組織を説明できる。 5. 口蓋の発生過程について説明できる。 6. 頭蓋の発生過程について説明できる。 7. 前頭鼻突起、内側鼻突起、外側鼻突起、上顎突起、下顎突起と顎顔面形成の関係について説明できる。 8. エナメル器を構成する細胞の由来について説明できる。 9. エナメル芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 10. エナメル質の組織学的特徴について説明できる。 11. エナメル質に見られる成長線について説明できる。 12. エナメル基質中に見られる構造について説明できる。 13. 象牙質・歯髄複合体を構成する細胞の由来について説明できる。 14. 象牙芽細胞の分化と形態変化について説明できる。 15. 象牙質の種類と組織学的特徴について説明できる。 16. 象牙質に見られる成長線について説明できる。 17. 象牙細管、基質の石灰化の状態によって見られる構造について説明できる。 18. 歯髄の組織学的特徴や構成細胞を説明できる。 19. 歯髄の脈管・神経系について説明できる。 20. 象牙質・歯髄複合体の生理的加齢変化について説明できる。 [C-3-2)-①～③、E-2-3)-①、E-3-1)-①、E-3-1)-④～⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月19日(月) 4限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>唾液腺疾患</b> 唾液腺疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺の炎症性疾患を説明できる。 2. 唾液腺の外傷を説明できる。 3. 唾液腺の閉塞性疾患を説明できる。 4. 唾石摘出術について説明できる。 5. 顎下腺摘出術について説明できる。 [E-2-4)-(8)-①~⑦] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p372-386 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClass にアップロードしておく。
8月20日(火) 1限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>老化による生理機能の変化</b> 老化による生理機能の変化を理解する。	1. 老化に伴う主な徴候を説明できる。 2. 老化による呼吸器系の変化を説明できる。 3. 老化による循環器系の変化を説明できる。 4. 老化による口腔機能の変化を説明できる。 [C-3-3)-①②] 事前学習：老化に伴う生理機能の変化について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月20日(火) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>ホルモン異常と全身疾患のポイント復習</b> ホルモンの異常によって生じる全身疾患を理解する。	1. 主なホルモンの働きを説明できる。 2. ホルモンの異常によって生じる全身疾患を説明できる。 [C-3-4)-(4)-①②、C-3-4)-(4)-①②⑥、C-3-4)-(7)-①] 事前学習：内分泌について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月20日(水) 3限	武本真治教授 (医療工学)	<b>セラミックスの成形技術・機器</b> セラミックスの成形加工法を学ぶ。	1. セラミックスの主要な成形法とその特徴を説明できる。 2. 陶材焼付鑄造冠における陶材と金属との結合機構を説明できる。 3. CAD/CAM によるセラミックス成形法の概要を説明できる。 [D-1-①②③、D-2-①②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
8月20日(火) 4限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>薬理学総論のポイント</b> A 講義で学んだ薬物の作用機序、副作用、薬物動態、相互作用、薬効に影響する因子、法規制について理解を深める。	1. 薬物の作用機序、副作用を説明できる。 2. 薬物動態、初回通過効果を説明できる。 3. 薬効に影響する因子を説明できる。 4. 法規制を受ける薬物を説明できる。 [C-6-1)-①~③、C-6-2)-①~⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
8月21日(水) 1限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>硬組織</b> 硬組織成分の機能と骨リモデリングを理解する。	1. 硬組織を構成する成分と性質を説明できる。 2. 骨リモデリングのメカニズムを説明できる。 [C-1-1)、C-2-4)、C-3-4)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：骨リモデリングについて、5年次の総合講義 I で使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月21日(水) 2限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>プラーク</b> プラーク細菌の糖代謝を 理解する。	1. プラークの形成過程と性質を説明できる。 2. プラーク細菌による有機酸の産生を説明 できる。 [C-5-5)、E-3-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。
8月21日(水) 3限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口 腔医学)	<b>虐 待</b> 虐待の早期発見と防止へ の歯科医師の責務を理解 する。	1. 虐待の種類を説明できる。 2. 虐待防止に関する法律を説明できる。 3. 歯科医師にできる虐待の早期発見と防止 について説明できる。 4. 虐待を疑った際の通報先を説明できる。 5. グループディスカッションを通して被虐 待児への対応を学ぶ。 [B-2-2)-⑥] 事前学習：法歯科医学 53-64p を読み、疑問 点を抽出しておく。
8月21日(水) 4限	石河太知助教 (分子微生物学)	<b>微生物学総論・各論</b>  A 講義で学んだ微生物の 分類および性状を理解し、 寄生体としての病原微生物 およびその感染症や病原 因子について理解を深 める。	1. 微生物の構造・性状について説明できる。 2. 感染の概念と感染症について説明できる。 3. 宿主-寄生体相互作用について説明できる。 [C-3-1)-①②、E-2-4)-(3)-①、 E-2-4)-(9)-②] 事前学習：過去 5 年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習し ておくこと。
8月22日(木) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>歯科領域で必要な鎮痛薬、 抗炎症薬</b> 歯科領域で使用される末 梢性および中枢性鎮痛薬 の概要を理解する。	1. 解熱鎮痛薬を説明できる。 2. 抗炎症薬の概要を説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬、オピオイド受容体につい て説明できる。 [C-6-1)-①②、C-6-2)-②~⑤、C-6-4)-①] 事前学習：過去 5 年間の国家試験の薬理学に 関連する問題について学習しておくこと。
8月22日(木) 2限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>薬物相互作用が問題とな る薬物併用</b> 医科との連携をふまえた 薬物併用に関する問題を 整理し、理解する。	1. 薬物動態と関連した薬物相互作用を説明 できる。 2. 薬力学的と関連した薬物相互作用を説明 できる。 3. 医科と連携が必要な疾患を説明できる。 [C-6-2)-③⑤、C-6-3)-②、E-6] 事前学習：過去 5 年間の国家試験の薬理学に 関連する問題について学習しておくこと。
8月22日(木) 3限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>血液</b> 血液の成分と機能を理解 する。	1. 血液凝固やヘム・ポルフィリン代謝を説 明できる。 2. 血漿成分の機能や疾患における変動を説 明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-3-4)-(4)] DESS 演習の準備をしておくこと。
8月22日(木) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>炎症</b> 炎症のメカニズムを理解 する。	1. 炎症性細胞の役割を説明できる。 2. ケミカルメディエーターの性質や産生を 説明できる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-5-5)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：炎症について、5 年次の総合講義 I で使用したレジメに目を通して講義に臨 むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月23日(金)  1限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>止血薬、抗血小板薬、抗凝固薬</b> 血液凝固のメカニズムを理解し、止血薬について理解する。抗血小板薬、抗凝固薬について理解する。	1. 血液凝固のメカニズムを説明できる。 2. 止血薬の種類、副作用を説明できる。 3. 抗血小板薬について説明できる。 4. 抗凝固薬について説明できる。 [C-6-2)-②⑤、C-6-3)-②、C-6-4)-①] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
8月23日(金)  2限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>硬組織作用薬・ビタミン・解毒薬・免疫抑制薬</b> 主な薬物とその副作用について理解する。免疫反応に影響する薬物について理解する。	1. 骨量と関係するホルモン・受容体について説明できる。 2. ビスフォネート系薬剤の作用機序、副作用について説明できる。 3. ビスフォネート系薬剤の臨床適応について説明できる。 4. 骨粗鬆症について説明できる。 5. 免疫抑制剤の種類を挙げ、説明できる。 6. 重金属拮抗薬の種類を挙げ、説明できる。 [C-2-4)-②、C-3-4)-(2)-⑤、C-6-2)-②、C-6-3)-①、C-6-4)-①、C-4-2)-⑤⑥、C-6-2)-②、C-6-3)-①、C-6-4)-①、E-6-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月23日(金) 3限	原田英光教授 (発生物・再生 医学)	<b>歯周組織・歯肉・口腔粘膜 (重層扁平上皮の特徴)に ついてのまとめ</b> 歯周組織(歯肉・セメント 質・歯根膜・歯槽骨)を構 成する細胞や構造につい て説明でき、さらに発生学 的視点から理解できるよ うになる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯周組織やその構成細胞の由来について説明できる。</li> <li>2. 歯肉の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>3. 付着上皮の特異性と臨床的意義について説明できる。</li> <li>4. セメント質の特徴と形成機序について説明できる。</li> <li>5. 歯根膜の組織学的特徴と構成細胞について説明できる。</li> <li>6. 歯槽骨の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>7. 歯槽硬線を組織学的特徴から説明できる。</li> <li>8. 歯槽骨・歯根膜のリモデリングについて説明できる。</li> <li>9. 歯周組織の脈管・神経・機械的受容器について説明できる。</li> <li>10. 口腔粘膜上皮と角化の有無について説明できる。</li> <li>11. 歯肉・歯槽粘膜の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>12. 歯-歯肉境の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>13. 頬粘膜・口蓋の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>14. 口唇の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>15. 舌・扁桃の組織学的特徴について説明できる。</li> </ol> <p>[C-3-2)-①～③、E-2-3)-①、 E-3-1)-①、④～⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。</p>
8月23日(金) 4限	大津圭史准教授 (発生物・再生 医学)	<b>唾液腺・顎関節のまとめ</b> 大唾液腺の構造と組織学 的特徴について説明でき るようになる。 顎関節の構造と組織学的 特徴について説明できる ようになる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耳下腺・顎下腺・舌下腺の位置、排出導管の開口部の位置について説明できる。</li> <li>2. 大唾液腺の終末部の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>3. 大唾液腺の導管の構造と機能について説明できる。</li> <li>4. 唾液の組成や唾液成分の機能について説明できる。</li> <li>5. 顎関節の組織学的特徴について説明できる。</li> <li>6. 関節円板や関節包内層(滑膜)の特徴について説明できる。</li> </ol> <p>[E-2-1)-⑥、E-2-2)-⑤～⑥] ICT 端末を持参すること。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集については各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。</p>

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月24日(土) 1, 2 限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>免疫学 B</b> A 講義で学んだ免疫応答による生体防御の仕組みならびに免疫疾患についての理解を深める。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 5. 各過敏症の発症メカニズムと代表的な疾患について説明できる。 6. 主な免疫不全症の発症機序と疾患について説明できる。 7. 自己免疫疾患発現に関与する因子と代表的な自己免疫疾患について説明できる。 [C-3-2)-①~⑦, E-2-4)-(9)-③] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
8月28日(水) 1, 2, 3 限 4, 5, 6 限	工藤義之准教授 (う蝕治療学) 鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>知識統合講義</b>  <b>接着歯学</b>  <b>補綴治療に使用する材料特性</b>	※ 到達目標は、講義要旨等をまとめたテキスト内に示す。テキストは事前に配布することとし、指示された時間割にもとづき、講義内容に示した項目について、過去に学修した複数の科目を横断するように知識を整頓し、必要に応じて過去の国家試験問題等を参照し、事前にまとめておくこと。事前学習時間は1テーマ(180分)あたり60分を要する。  ※ 講義は担当者が適宜学生の理解度を確認しながら進める。  ※ 講義の最後でクリッカー等を用いて小テストを行い、理解度を確認することがある。また、最終日に総合的な理解の確認のために演習等を行うことがある。
8月29日(木) 1, 2, 3 限 4, 5, 6 限	山田浩之教授 (口腔外科学) 千葉俊美教授 (関連医学) 浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>顎関節の画像診断</b>  <b>腫瘍治療学</b>	
8月30日(金) 1, 2, 3 限 4, 5, 6 限	佐々木大輔講師 (歯周療法学) 間山寿代講師 (歯科矯正学) 熊谷美保准教授 (小児歯科学・障害者歯科学)	<b>細菌に起因するう蝕、歯内疾患、歯周疾患の発症、進行、その他療法</b>  <b>小児期の口腔機能</b>	
9月2日(月) 1, 2, 3 限 4, 5, 6 限	岸光男教授 (予防歯科学)	<b>障害者患者への対応</b>	
9月3日(火) 1, 2, 3 限 4, 5, 6 限		<b>フレイル、ターミナルケアと地域包括ケアシステム</b>	

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月4日(水) 1限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 1: コンポジットレジン</b> コンポジットレジンの応用について理解できる。	1. コンポジットレジン修復の臨床例を理解できる。 2. コンポジットレジンの利点が理解できる。 3. コンポジットレジン修復の欠点が理解できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習：保存におけるエックス線読影についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月4日(水) 2限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 2: 接着歯学</b> 接着について理解し、自己解決できる。	1. 接着症例に対する診断・処置が理解できる。 2. 接着失敗症例について理解できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習：接着についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月4日(水) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 3: 臨床術式: 修復に必要な前処置、補助法を極める</b> 修復前処置、修復補助法の種類、使用法、目的について説明できるようになる。	1. 修復前処置の種類を説明できる。 2. 修復前処置の目的を説明できる。 [E-3-3)-(1)、D-2-②] 事前学習：修復に必要な前処置、補助法についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月4日(水) 4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>チーム医療・他職種連携・リーダーシップ</b> チーム医療を行うために多職種連携、リーダーシップについて理解する。	1. チーム医療について説明できる。 2. 他職種連携について説明できる。 3. チーム医療におけるリーダーシップについて説明できる。 [G-4-3] DESS 演習の用意をしておくこと。 事前学習：チーム医療・他職種連携・リーダーシップについて3年次のノート、レジメに目を通して講義に臨むこと。
9月5日(木) 1限	石河太知助教 (分子微生物学)	<b>ウイルス学各論 B</b> A 講義で学んだウイルスの性状ならびに感染症についての理解を深める。	1. ウイルス粒子の構造と各部位の機能、増殖過程を説明できる。 2. 主要な病原性ウイルスの性状・感染経路・標的器官および感染症を説明できる。 [C-3-1)-①②, E-2-4)-(9)-②] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
9月5日(木) 2限	石河太知助教 (分子微生物学)	<b>口腔細菌 B</b> A 講義で学んだ口腔の正常フローラ、口腔細菌の性状および病原因子を学び、う蝕・歯周疾患・歯内疾患の成立・発症機序についての理解を深める。	1. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 2. 口腔病原微生物の特徴と病原因子について説明できる。 3. う蝕の成立機序について説明できる。 4. 歯周炎の成立機序について説明できる。 5. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 [A-5-3)-①②, C-3-1)-③⑥, E-1-4)-⑥⑧, E-2-4)-(3)-①, E-3-2)-①~⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月5日(木) 3限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>顎・口腔領域の疾患 1</b> 国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を理解する。	1. 歯の発育異常について説明できる。 2. 歯の損傷および沈着物・着色・変色について説明できる。 3. 齶蝕について説明できる。 4. 根尖性歯周組織疾患について説明できる。 5. 辺縁性歯周組織の病変について説明できる。 6. 歯科治療に伴う治癒の病理について説明できる。 [E-3-2] 事前学習:新口腔病理学 p2-46、p67-96 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
9月5日(木) 4限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>顎・口腔領域の疾患 2</b> 国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を理解する。	1. 唾液腺の発育異常について説明できる。 2. 唾液腺の嚢胞について説明できる。 3. 唾液腺の炎症性疾患について説明できる。 4. 唾液腺の自己免疫疾患について説明できる。 5. 唾液腺腫瘍について説明できる。 [E-3-2] 事前学習:新口腔病理学 p259-281 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
9月6日(金) 1限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>接着ブリッジ</b> 接着ブリッジに関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジに関連する材料の知識を深め、問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
9月6日(金) 2限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>前装金属冠の種類と特徴</b> 前装冠の種類と製作過程に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して前装金属冠に関連する知識を深め問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
9月6日(金) 3限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>筋隙を中心に脈管学</b> 頭頸部の筋肉の走行、筋肉の起始・停止の位置から筋隙を把握し、その隙を通過する血管・神経と存在するものを理解する。	1. 筋隙を構成する筋の走行と脈管・神経の走行から、各筋隙の臨床における重要性を説明できる。 2. 翼突下顎隙と伝達麻酔の関係を説明できる。 [E-2-1)-(3)] 事前学習:総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月6日(金) 4限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>顎関節と咀嚼筋</b> 顎関節の基本構造、側頭骨と下顎骨の連結状況と咀嚼筋の起始・停止から顎関節運動を理解する。	1. 顎関節を構成する骨と関節円板・間接法と外側翼突筋の関係を説明できる。 2. 咀嚼筋の起始・停止から下顎骨の動きを説明できる。 3. 顎関節の構造と Posselt の咀嚼運動経路との関係を説明できる。 [E-2-1)-⑥] 事前学習：総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
9月9日(月) 1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>マルチブラケット装置による矯正治療</b> マルチブラケット装置に関する知識を強化できる。	1. マルチブラケット装置について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 2. 矯正治療に必要な抜歯と固定の概念について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月9日(月) 2限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>顎変形症の治療</b> 顎変形症に関する知識を強化できる。	1. 顎変形症について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-④] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月9日(月) 3限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>歯の解剖学</b> すべての歯種を鑑別するための基本的特徴と、異常形態について理解する。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態と頻出する異常形態の特徴を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態と頻出する異常形態の特徴を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
9月9日(月) 4限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>舌・口蓋・咽頭</b> 咀嚼・嚥下に関連する口腔の構造と筋肉を理解する。	1. 口蓋の構造を硬口蓋、軟口蓋に分けて説明できる。 2. 舌筋を内舌筋、外舌筋に分けてその機能を説明できる。 3. 嚥下に関与する筋を嚥下のステージごとに説明できる。 [E-2-1)-⑩] 事前学習：総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解できない項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。
9月10日(火) 1、2限	佐々木大輔講師 (歯周療法学)	<b>歯周病学頻出項目</b> 歯周外科・再生療法等の頻出項目を理解する。	1. 歯周外科・再生療法を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月10日(火) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>口臭の予防</b> 口臭の原因と対応について学ぶことで適切な口臭診療について理解できる。	1. 口臭原因を列挙できる。 2. 口臭測定法を列挙できる。 3. 口臭への対応法を列挙できる。 [E-3-2)-②] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月10日(火) 4限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>口腔ケア概論</b> 口腔ケアの意義を理解する。	1. 口腔ケアの意義を概説できる。 2. 周術期の口腔症状を列挙できる。 3. 口腔カンジダ症について説明できる。 [E-1-5)-⑩、E-2-4)-(4)-①、 A-5-1)-①～④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
9月11日(水) 1限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>機能的矯正装置の適用前後の変化</b> 機能的装置適用前後の変化に関する知識を強化できる。	1. 装置装着前後の変化について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月11日(水) 2限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>器械的矯正装置の適用前後の変化</b> 器械的装置適用前後の変化に関する知識を強化できる。	1. 装置装着前後の変化について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-4-1)-⑤] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
9月11日(水) 3限	武本真治教授 (医療工学)	<b>その他の歯科材料(歯周治療用材料、矯正用材料、インプラント材、口腔外科用材料)</b>	1. 歯周治療用材料の所要性質を説明できる。 2. 矯正用材料の所要性質と力学的特性を説明できる。 3. インプラント材料の所要性質を説明できる。 4. 口腔外科用材料の所要性質を説明できる。 [D-1-①②、D-2-①②⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。
9月11日(水) 4限	武本真治教授 (医療工学)	<b>補綴・修復物の研磨</b> 補綴・修復物の研磨の概要を学ぶ。	1. 歯科臨床における切削・研磨材の種類と特徴を説明できる。 2. 補綴・修復物の研磨に用いる材料を説明できる。 3. 回転式研磨、サンドブラストと電解研磨の概要を説明できる。 [D-1-④、D-2-⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月12日(木) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>一般問題対策①</b> 知っておかなければいけない全部床義歯の基礎知識 義歯の設計・印象採得・作業用模型の作製・顎間関係の記録・咬合器装着と調整の目的と治療の流れを理解する。	1. 義歯の設計について説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. 作業用模型の作製について説明できる。 4. 顎間関係記録について説明できる。 5. フェイスボウトランスファーについて説明できる。 6. 咬合器装着と調整について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑤~⑧] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月12日(木) 2限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>循環調節のポイント復習</b> 循環調節のポイントを理解する。	1. 循環調節について体系的に説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4)-(10)-①~③] 事前学習：循環について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月12日(木) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>口腔感覚のポイント復習</b> 口腔感覚のポイントを理解する。	1. 口腔感覚について体系的に説明できる。 [C-3-4)-(6)-①~④、C-3-4)-(5)-④、E-2-2)-(9)~⑩] 事前学習：口腔感覚について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月12日(木) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>口腔機能のポイント復習</b> 口腔機能のポイントを理解する。	1. 口腔機能について体系的に説明できる。 [C-3-4)-(5)-⑥~⑧、E-2-1)-③⑤~⑪、E-2-2)-③⑤~⑥⑧] 事前学習：口腔機能について、2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月13日 (金) 1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>小児のエックス線診断</b> 小児の齲蝕に関連したエックス線診断に習熟する。 小児の歯の発生、発育に関連したエックス線診断に習熟する。	1. 小児のデンタルエックス線写真から齲蝕の深度を歯髄処置との関連において説明できる。 2. 小児のパノラマエックス線写真から歯の先天欠如、萌出予測などを、臨床的な観点から説明できる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：小児のエックス線検査について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月13日 (金) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>小児歯科治療で用いる器具のすべて</b> 小児歯科臨床における各種器具を理解する。	1. 小児歯科治療で用いる器具について、使用目的、使用方法、選択法について説明できるようになる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習：小児歯科治療で用いる器具について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月13日(金) 3限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 1: 根管充填法、充填材料 根管充填の器材、手順について説明できるようになる。	1. 根管充填法の種類を列挙できる。 2. 根管充填材の所要性質を説明できる。 3. 根管充填の手順を説明できる。 4. 根管充填に使用する器具を列挙できる。 5. 根管充填の時期について説明できる。 [E-3-3)-(2)-②] 事前学習: 根管充填法、充填材料について A 講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月13日(金) 4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	国試重要項目の実力養成 2: 根管充填後の治癒機転、 コロナルリーケージ 根管充填後の根尖部治癒機転と臨床症状について説明できるようになる。	1. 根管充填後の根尖部の治癒について説明できる。 2. 根管充填後の予後評価について説明できる。 3. コロナルリーケージについて説明できる。 [E-3-3)-(2)-④] 事前学習: 根管充填後の治癒機転、コロナルリーケージについて A 講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
9月19日(木) 1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	クラウンブリッジ関連材料 クラウンブリッジに関する材料についての知識を深め整理できる。	1. 講義を通してクラウンブリッジに関連する材料の知識を深め、問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習: 4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
9月19日(木) 2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	Cr. Br. の診療の流れと技工操作 クラウンブリッジにおける診療室と技工室の流れに関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して Cr. Br. に関連する知識を深め問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習: 4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
9月19日(木) 3、4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	歯周病学頻出項目 歯周外科・根分岐部病変等の頻出項目を理解する。	1. 歯周外科治療を説明できる。 2. 根分岐部病変を説明できる。 [E-3-3)-(3)-④、E-3-3)-(3)-⑤] 事前学習: 歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月20日(金) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	一般問題対策② 知っておかなければいけない全部床義歯の基礎知識 人工歯選択と排列・歯肉形成・ろう義歯試適・埋没重合・咬合調整・装着・患者指導の目的と治療の流れを理解する。	1. 人工歯選択と排列について説明できる。 2. ろう義歯試適について説明できる。 3. 埋没・重合について説明できる。 4. 咬合調整について説明できる。 5. 装着について説明できる。 6. 患者指導について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨~⑬] 事前学習: 講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月20日(金) 2限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	一般問題対策③ 知っておかなければいけない部分床義歯の基礎知識 構成要素とその役割・印象採得・サベイングの目的と治療の流れを理解する。	1. 義歯の構成要素と役割について説明できる。 2. 印象採得について説明できる。 3. 義歯設計とサベイングについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-④⑤] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月20日(金) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	ろう着 Br.の連結法 ブリッジの連結法(ろう付け)に関する知識を深め整理できる。	1. 講義を通して Br.のろう着に関連する知識を深め、問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
9月20日(金) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	CAD/CAMによるクラウン作製 CAD/CAMクラウン製作に関する基本的な知識を深め整理できる。	1. 講義を通して接着ブリッジに関連する知識を深め、問題を解くことができるようになる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
9月24日(火) 1限	森川和政教授 (小児歯科学)	乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別Ⅰ 乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別を臨床に則して理解する。	1. 乳歯の感染根管治療を抜髄や断髄との対比において説明できる。 [E-4-2)-④⑤] 事前学習：乳歯の歯内療法について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月24日(火) 2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別Ⅱ 乳歯の感染根管治療と抜歯との鑑別を臨床に則して理解する。	1. 乳歯の感染根管治療を抜歯の適応症との対比において説明できる。 [E-4-2)-④⑤] 事前学習：乳歯の抜歯について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月24日(火) 3限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患3 国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を理解する。	1. 口腔粘膜疾患について説明できる。 2. 口腔粘膜の感染症について説明できる。 3. 口腔癌・口腔潜在的悪性疾患と口腔上皮性異形成について説明できる。 [E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p143-177を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
9月24日(火) 4限	入江太朗教授 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患4 国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を理解する。	1. 顎骨の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変について説明できる。 2. 線維骨性病変について説明できる。 3. 骨形成性病変について説明できる。 4. 軟骨形成性病変について説明できる。 5. 円形細胞腫瘍について説明できる。 6. 歯原性腫瘍について説明できる。 [E-2-4)] 事前学習：新口腔病理学 p197-227を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月25日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	産科、皮膚科、他 代表的な産科、皮膚科疾患 ついて理解する。	1. 代表的な産科、皮膚科疾患などについて 理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料 を確認し講義に臨むこと。講義に関する国 家試験問題を解きまとめること。
9月25日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	高齢者への対応(身体的特 徴、心理・社会的特徴、医 療情報の収集、診察、評 価)、認知症 高齢者への対応(身体的特 徴、心理・社会的特徴、医 療情報の収集、診察、評 価)、認知症について理解 する。	1. 高齢者への対応(身体的特徴、心理・社会 的特徴、医療情報の収集、診察、評価)、 認知症について理解し説明できる。 [E-6-①] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料 を確認し講義に臨むこと。講義に関する国 家試験問題を解きまとめること。
9月25日(水) 3限	佐藤雅仁准教授 (歯科麻酔学)	有病者歯科 全身疾患を有する患者の 歯科治療時の管理法を理 解する。	1. 虚血性心疾患患者の歯科治療時の管理法 を説明できる。 2. 心臓弁膜疾患患者の歯科治療時の管理法 を説明できる。 3. 糖尿病患者の歯科治療時の問題点を列挙 し、管理法を説明できる。 4. 透析患者の歯科治療時の問題点を列挙 し、管理法を説明できる。 [E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：全身疾患を有する患者の歯科治 療時の管理法について永末書店 第4版 臨床 歯科麻酔学、4年次に使用したレジュメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。 DESS 演習を設定した場合は講義開始まで に回答すること。
9月25日(水) 4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	癌 発癌や転移・浸潤のしくみ を理解する。	1. 癌遺伝子と癌抑制遺伝子の機能を説明で きる。 2. 発癌や転移・浸潤のしくみを説明できる。 [C-1-1)、C-2-2)、C-5-6)] DESS 演習の準備をしておくこと。
9月26日(木) 1限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	周術期管理 呼吸及び循環管理を理解 する。	1. 呼吸のモニタリングを説明できる。 2. 術中・術後の呼吸管理を説明できる。 3. 循環のモニタリングを説明できる。 4. 術中・術後の循環管理を説明できる。 [E-1-5)-⑩、 E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：周術期管理について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、4年次に使用した レジュメ、講義ノートに目を通して講義に 臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義 開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月26日(木) 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	<b>ペインクリニック</b> 疼痛性及び麻痺性疾患を 理解する。	1. 顎顔面口腔領域の疼痛及び麻痺性疾患を 説明できる。 2. 三叉神経痛の概念、症状及び治療法を説 明できる。 3. 顔面神経麻痺の概念、症状及び治療法を 説明できる。 4. 星状神経節ブロックの適応、方法及び合 併症を説明できる。 [E-2-4)-(3)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：顔面領域の疼痛性及び麻痺性疾患 について永末書店 第4版臨床歯科麻酔学、4 年次に使用したレジメ、講義ノートに目を 通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定し た場合は講義開始までに回答すること。
9月26日(木) 3限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	<b>接着に関わる各種表面処 理</b> 歯科接着の化学的な原理、 接着時の表面処理の意義 について学ぶ。	1. 歯面および各種歯科材料の接着に必要な 表面処理方法、特に接着性モノマーの働 きを説明できる。 [D-1-④、D-2-⑥] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（ス タANDARD歯科理工学、新編歯科理工学）、 レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨 むこと。A 講義のレジメの内容を再度確認 し、キーワードを列挙しておく。
9月26日(木) 4限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	<b>歯科材料・頻出問題への対 応</b> 歯科理工学の頻出問題に 対応できるようになるた めに歯科材料の基本的知 識を整理する。	1. 歯科理工学の頻出問題を解くための歯科 材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（ス タANDARD歯科理工学、新編歯科理工学）、 レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨 むこと。A 講義のレジメの内容を再度確認 し、キーワードを列挙しておく。
9月27日 (金) 1限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児の歯の外傷</b> 小児の歯の外傷を臨床に 則して理解する。	1. 様々な小児の外傷の症例について、診査 項目を列挙し、正しく診断できる。 2. 様々な小児の外傷の症例について、適切 な対応法を説明することができる。 [E-2-4)-(2)-①②、E-4-2)-⑦] 事前学習：小児の歯の外傷について教科書、 4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を 通して講義に臨むこと。
9月27日(金) 2限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>心身の発達</b> 小児の心身の発達をより 臨床に則して理解する。	1. 小児の精神発達について年齢と小児歯科 臨床での対応法とのかかわりにおいて説 明できる。 [C-3-2)-④] 事前学習：心身の発達について教科書、4年 次に使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月27日(金) 3限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>顎・口腔領域の疾患 5</b> 国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を理解する。	1. 顎口腔の発育異常について説明できる。 2. 全身性疾患と口腔病変について説明できる。 3. 口腔領域に徴候をみる症候群について説明できる。 [E-2-4] 事前学習：新口腔病理学 p132-142、p312-319、p331-340 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
9月27日(金) 4限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	<b>顎・口腔領域の疾患 6</b> 国家試験過去問の選択肢として使用された各種疾患の病態を理解する。	1. 炎症性歯原性嚢胞について説明できる。 2. 発育性歯原性嚢胞について説明できる。 3. 顎骨内に発生する非歯原性嚢胞について説明できる。 4. 軟組織に発生する非歯原性嚢胞について説明できる。 [E-2-4] 事前学習：新口腔病理学 p182-194 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
9月28日(土) 1、2限	村井 治助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学頻出項目</b> 歯周基本治療他頻出項目を理解する。	1. 歯周基本治療を説明できる。 2. 特殊な歯周病を説明できる。 3. ペリオドンタルメディシンを説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月30日(月) 1限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>多職種連携による摂食嚥下リハビリテーション</b>	1. 効果的なリハビリテーションのために必要な多職種の役割を説明できる。 2. 多職種連携に必要な共通言語について説明できる。 [E-5-1)-⑥～⑩] ICT 端末を持参すること。 事前学習：老年歯科医学 p3、36～46、141～150、334～336 を読み、疑問点をまとめておくこと。
9月30日(月) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮</b> 安心して受診できる環境を整えることができるようになるために、患者のプライバシー、羞恥心、苦痛への配慮ができるようになる。	1. 患者のプライバシーへの配慮について説明できる。 2. 患者の羞恥心への配慮について説明できる。 3. 患者の苦痛への配慮について説明できる。 [F-2-1] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮について3年次のノート、レジメに目を通して講義に臨むこと。
9月30日(月) 3限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 4 (フロアブル V. S. 通常のコンプोजット)</b> フロアブルと通常のコンプोजットの材料学的比較と臨床での使い分けを理解する。	1. フロアブルと通常のコンプोजットの材料学的比較と臨床での使い分けを説明できる。 [E-3-2)-(1)] 事前学習：フロアブルと通常のコンプोजットの違いについて、各自考察して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月30日(月) 4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成5: CR インレー、セラミックインレー</b> CR インレー、セラミックインレーの違いについて理解する。	1. CR インレー、セラミックインレーの窩洞形成、材料学的特徴、利点欠点、不快事項について説明できる。 [E-3-3)-(1)-③] 事前学習：保存におけるエックス線読影についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月1日(火) 1限	桑島幸紀助教 (歯科矯正学)	<b>睡眠時無呼吸症候群</b> 睡眠時無呼吸症候群に関する知識を強化できる。	1. 睡眠時無呼吸症候群について理解を深め、同領域の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-(11)-⑥] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
10月1日(火) 2限	間山寿代講師 (歯科矯正学)	<b>弱点強化2</b> 模擬試験においてみえてきた矯正領域の弱点を認識し、対策を立てることができる。	1. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉強方法を構築することができる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：全国模試の解説書を持参すること。出題された内容に関して医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通すこと。
10月1日(火) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>口腔の付着物</b> 口腔の付着物について理解することで臨床の場面に応じた口腔衛生的介入ができる。	1. 歯垢、歯石の形成機序と為害性を説明できる。 [E-3-2)-④] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
10月1日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>代用甘味料 障害者福祉</b> 歯科疾患と食生活の関連を学ぶことで適切な保健指導を行うことができるようになる。	1. 代用甘味料を列挙できる。 2. 障害者の分類を列挙できる。 3. 障害者福祉制度を概説できる。 [B-3-2)-①、F-3-2)-④、B-2-2)-③⑤] 資料は事前に WebClass に提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
10月2日(水) 1限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>マスター臨床実地 歯内療法臨床実地の解き方①</b> 歯内療法の解き方を理解する。	1. 成人の歯内療法に関する臨床実地問題の解き方を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：CR インレー、セラミックインレーについてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月2日(水) 2限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>マスター臨床実地 歯内療法臨床実地の解き方②、「高齢者」の歯内療法、修復を極める</b> 高齢者の歯内療法、修復学の臨床実地問題の解き方を理解する。	1. 高齢者の歯内療法、修復学に関する臨床実地問題の解き方を説明できる。 [E-5-1)] 事前学習：高齢者の歯内療法、修復についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月2日(水) 3限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 3：知覚過敏&amp;歯内と修復 の消毒滅菌</b> 知覚過敏、歯内と修復の消毒滅菌に関連する知識・治療法を理解し、国家試験問題を解くことができる。	1. 知覚過敏の病態について説明できる。 2. 知覚過敏の処置法について説明できる。 3. 知覚過敏の治療薬の作用機序について説明できる。 4. スタンダードプレコーションについて説明できる。 5. 歯内・修復治療で用いる機器・器材についての消毒・滅菌法について説明できる。 [E-3-3)-(2)-①] 事前学習：知覚過敏&歯内と修復の消毒滅菌についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月2日(水) 4限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 6：酸蝕症、齶蝕以外の硬 組織疾患</b> 酸蝕症、齶蝕以外の硬組織疾患の重要事項を理解する。	1. 非齶蝕性硬組織疾患の種類を説明できる。 2. 非齶蝕性硬組織疾患の原因を説明できる。 3. 非齶蝕性硬組織疾患の治療法を説明できる。 [E-3-2)-①] 事前学習：酸蝕症、齶蝕以外の硬組織疾患についてA講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月3日(木) 1限	川井忠講師 (口腔外科学)	<b>炎症</b> 顎口腔領域における炎症に関する知識を習得する。	1. 歯槽骨炎と顎骨炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 2. 顎骨骨髄炎の分類について説明できる。 [E-2-4)-(3)-①~⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版p174-198を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
10月3日(木) 2限	川井忠講師 (口腔外科学)	<b>歯原性腫瘍</b> 歯原性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 歯原性腫瘍の特徴と症状、治療法を説明できる。 2. 術式の選択基準、合併症について説明できる。 [E-2-4)-(6)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版p292-327,762-775を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
10月3日 (木) 3限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>静的咬合誘導</b> 小児の歯の早期喪失に対する臨床的な対応法を具体的に理解する。	1. 小児の歯の早期喪失の原因と状況を説明できる。 2. 小児の歯の早期喪失に対する的確な処置を症例に応じて列挙できる。 [E-4-2)-⑧⑨] 事前学習：静的咬合誘導について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月3日(木) 4限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>症候群</b> 障害者歯科で取り扱う症候群について理解する。	1. 障害者歯科で取り扱う症候群について説明できる。 [E-2-4)-(10)-⑤⑥] 事前学習：教科書 p163~205 を読み、まとめておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月4日(金) 1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>非歯原性良性腫瘍 腫瘍類似疾患</b> 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類 似疾患の種類を把握し、発 生病因、臨床症状、病理組 織像、診断、治療法を習得 する。	1. 非歯原性腫瘍の特徴と症状、治療法を説 明できる。 2. 術式の選択基準、合併症について説明で きる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-340 を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月4日(金) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	<b>癌の放射線療法、化学療法</b> 顎顔面口腔領域に発生す る悪性腫瘍に対する放射 線併用化学療法の種類、適 応について習得する。	1. 悪性腫瘍の化学療法について概説する。 2. 口腔悪性腫瘍に使用する化学療法薬を列 挙する。 3. 放射線併用動注化学療法を説明する。 4. 化学療法薬の副作用を説明する。 5. 放射線治療における副作用について説明 する。 6. 治療患者の口腔内管理、疼痛管理につい て説明する。 [E-2-4)-(6)-③] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p541-578 を 参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月7日(月) 1限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 5：根管拡大&amp;Ni Ti ファイル 総まとめ</b> 種々の根管拡大法・根管洗 浄が説明できるようになる。	1. 根管拡大を説明することができる。 2. 彎曲根管の拡大法について説明できる。 3. 根管洗浄・消毒について説明できる。 4. 内容物検査が理解できる。 5. Ni-Ti ロータリーファイルが説明できる。 [E-3-3)-(2)-①] 事前学習：保存におけるエックス線読影に ついてA講義ノート、3年次のノート、教科 書に目を通して講義に臨むこと。
10月7日(月) 2限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>国試重要項目の実力養成 4：直接覆髄法、断髄法、 AIPC法、IPC法と歯内療法 に使用する薬剤</b> 歯髄炎の症例における診 断と処置が理解できる。	1. 歯髄温存療法と抜髄の違いを理解する。 2. 歯髄温存療法の種類と適応を説明できる。 3. 歯髄温存療法における治癒経過を理解で きる。 [E-3-3)-(2)-①] 事前学習：根管拡大&Ni Ti ファイルについ てA講義ノート、3年次のノート、教科書に 目を通して講義に臨むこと。
10月7日(月) 3、4限	田中良一教授 (歯科放射線学)	<b>放射線基礎</b> 放射線の種類、人体への影 響、防護に関する知識を再 確認する。 胸部エックス線写真を理解 する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬 試験等の結果から明らかになった放射線 基礎の弱点項目を克服する。 2. 胸部エックス線写真の正常像および疾患 像を理解し説明する。 [E-1-2)-①~⑤] 事前学習：胸部エックス線写真は正常およ び代表的疾患の画像をWebClass に掲示す るので、所見と診断をまとめること。講義当 日は画像所見と診断のプレゼンテーション を行う。発表者は当日、無作為に割り当て る。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月8日(火) 1限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>歯髄処置</b> 小児の齲蝕が歯髄処置に移行する過程を臨床的に理解する。	1. 乳歯・幼若永久歯の歯髄炎の鑑別診断を症例に応じて説明できる。 2. 乳歯の幼若永久歯の歯周炎の鑑別診断を症例に応じて説明できる。 3. 乳歯・幼若永久歯の歯髄処置法について、臨床に則して説明できる。 [E-4-2)-(4)(5)] 事前学習：小児の歯髄処置について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月8日(火) 2限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>薬事関連法規</b> 薬事関連法規を体系的に理解する。	1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律が定める項目を列挙できる。 2. 歯科領域の医薬品、医薬部外品、医療機器を列挙できる。 3. 治験とGCPについて概説できる。 4. 薬剤師法を概説できる。 [A-1-1)-(4)、B-2-1)-(4)] 資料は事前にWebClassに提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
10月8日(火) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>EBM(根拠に基づいた医療)</b> EBMを理解し、歯科疾患の治療・予防に適用する。	1. EBMを概説できる。 2. 診療ガイドラインの意義を概説できる。 3. 根拠ある歯科疾患予防法を列挙できる。 [B-4-1)-(1)(4)] 資料は事前にWebClassに提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
10月8日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>基礎統計</b> 基礎統計手法を理解する。	1. 基礎統計量を列挙できる。 2. 提示されたデータから適切な統計解析法を選択できる。 [B-4-2)-(1)(4)] 資料は事前にWebClassに提示する。資料を用いた事前学習のフィードバックのため随時ディスカッション機会を設ける。
10月9日(水) 1限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	<b>癌の外科療法</b> 顎顔面口腔領域に発生する悪性腫瘍に対する手術及び再建術の種類、適応、術式について習得する。	1. 悪性腫瘍に対する治療の基本を説明できる。 2. 頸部郭清術の術式を説明できる。 3. 皮弁による再建術について説明できる。 [E-2-4)-(6)-(3)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p509-532を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
10月9日(水) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>血液疾患</b> 血液疾患・出血性素因に関する知識を習得する。	1. 血液疾患の病態、症状、診断、治療について説明できる。 [E-2-4)-(10)-(1)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p254-271を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月9日(水) 3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>損傷</b> 顎口腔領域における損傷に関する知識を習得する。	1. 顎口腔領域における外傷全般の病態、症状、診断、治療について説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p149-173, 731-740を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
10月9日(水) 4限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>一般問題対策④</b> <b>知っておかなければいけない部分床義歯の基礎知識</b> 症例に応じた人工歯排列・歯肉形成・ろう義歯試適・埋没重合・咬合調整・装着・患者指導の目的と治療の流れを理解する。	1. 人工歯選択と排列について説明できる。 2. ろう義歯試適について説明できる。 3. 埋没・重合について説明できる。 4. 咬合調整について説明できる。 5. 義歯装着について説明できる。 6. 患者指導について説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑨~⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月10日(木) 1限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>高齢者に対する栄養</b>	1. 栄養に関連する高齢者の身体的特徴について説明できる。 2. 栄養に関連する高齢者の心理的特徴について説明できる。 3. 高齢者の栄養摂取状況について説明できる。 4. 高齢者の効率的な栄養摂取法について説明できる。 [E-5-1)-⑥~⑩] ICT 端末を持参すること。 事前学習：老年歯科医学 p 165~180 を読み、疑問点をまとめておくこと。
10月10日(木) 2限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>摂食嚥下障害の検査</b>	1. スクリーニングテスト、精密検査を含めた検査および直接訓練、間接訓練を含めたりハビリテーションについて説明できる。 [E-5-1)-⑧⑨] ICT 端末を持参すること。 事前学習：老年歯科医学 p 299~331 を読み、疑問点をまとめておくこと。
10月10日(木) 3限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラントの臨床</b> 口腔インプラントの外科術式を理解する。	1. 口腔インプラントの一次手術およびコンピューター支援手術について説明することができる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
10月10日(木) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラントの臨床</b> 口腔インプラントの外科術式を理解する。	1. 口腔インプラントの二次手術および関連手術について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑤] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月11日(金) 1、2限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	摂食嚥下リハビリテーションの訓練・訪問歯科診療	1. 直接訓練・間接訓練、訪問歯科診療での注意点、全身状態の把握、介護者・要介護者への対応、高齢者の栄養管理や食形態の調整について説明できる [E-5-1)-⑦⑩] ICT 端末を持参すること。 事前学習：老年歯科医学 p 353～372、430～449 を読み、疑問点をまとめておくこと。
10月11日(金) 3、4限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	画像診断 1～3 のまとめ 口腔領域の画像診断について修得する。	1. 以下の疾患の画像所見について説明する。 歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍、歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞、上顎洞疾患、口腔領域の悪性腫瘍、口腔領域の炎症、骨折、唾液腺疾患、顎関節症、骨系統新患 [E-2-4)-(2)-①③④、E-2-4)-(5)-①②、E-2-4)-(6)-①②、E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(8)-②～⑦、E-2-4)-(10)-⑤～⑨] 事前学習：正答率が低かった問題を WebClass に開示しておくので、答案を作成しておくこと。

講義日程【C 講義(10月24日～12月13日)】

復習試験：8：50～9：20、1限：9：30～10：35、2限：10：45～11：50、  
3限：12：50～13：55、4限：14：05～15：10、5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月24日 (木) 1限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	MI に基づいた修復法を極める① MI (ミニマルインターベンション)について説明できるようになる。	1. MI で提唱する修復方法について説明できる。 2. 補修修復について説明できるようになる。 3. ART(非侵襲性修復技法)について説明できる。 [E-3-3)-(1)-②] 事前学習：保存におけるエックス線読影について A, B 講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月24日 (木) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	MI に基づいた修復法を極める② MI に基づいた修復法を臨床例から学び、G.V Black の窩洞形態との違いを説明できるようになる。	1. G.V Black の窩洞と接着修復の窩洞形態の違いを説明できる。 [E-3-3)-(1)-②] 事前学習：MI について A, B 講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月24日 (木) 3,4限	岡田伸男講師 (う蝕治療学)	弱点強化：歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療まで①②③ 歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断、治療方を理解する。	1. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断を説明できる。 2. 歯髄疾患、根尖性歯周疾患の治療法を説明できる。 [F-3-3)-③、E-3-3)-(2)] 事前学習：歯髄疾患、根尖性歯周疾患の診断から治療までについて A, B 講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月25日 (金)  1、2、3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>コンポジットレジン修復 の手順、器具を極める ① ②③</b> 頻出領域であるコンポジット修復の手順と使用する器具、補助法について理解する。	1. コンポジット修復の手順と使用する器具について説明する。 2. コンポジット修復に補助法について説明する。 [E-3-3)-(1)-①] DESS 演習の準備をしておく。 事前学習：コンポジットレジン修復の手順、器具についてA,B講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月25日 (金)  4限	志賀華絵助教 (う蝕治療学)	<b>高齢者、有病者の歯科治療</b> 高齢者の歯科治療時の注意点を、修復処置時のトラブルについて理解する。	1. 修復処置時に起こるトラブルを説明できる。 2. 高齢者、有病者の歯科治療時の注意点を説明できる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：高齢者、有病者の歯科治療についてA,B講義ノート、3年次のノート、教科書に目を通して講義に臨むこと。
10月26日 (土)  1、2限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>放射線治療</b> 口腔癌の放射線治療に関する国試一般問題について理解する。	1. 口腔癌の放射線治療の方法と口腔の管理を修得する。 [E-1-2)-①～③、E-2-4)-(6)-③] 事前に症例を提示する。各グループで症例に応じた放射線治療を選択し、講義時に説明する。
10月30日 (水)  1、2限	村井 治助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学まとめ(弱点領域の強化)</b> 診査・診断・治療計画・歯周基本治療を理解する。	1. これまでの試験等の結果から歯周病学に関する理解が不十分な領域の知識をまとめることができる。 2. 診査・診断・治療計画等について説明できる。 3. 歯周基本治療他について説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月30日 (水)  3限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	<b>歯科理工学-苦手克服のための復習講義①</b> 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
10月30日 (水)  4限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	<b>歯科理工学-苦手克服のための復習講義②</b> 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書（スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学）、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月31日 (木)  1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>唾液腺腫瘍</b> 唾液腺腫瘍の症状、診断および治療法を習得する。	1. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 2. 唾液腺腫瘍の症状、検査および治療法を説明できる。 3. 唾液腺の腫瘍性病変(良性腫瘍と悪性腫瘍)の病理組織所見を説明できる。 [E-2-4)-(8)-①~⑦] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p378-381, 828-832 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
10月31日 (木)  2限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>口腔乾燥症</b> 口腔乾燥をきたす疾患とその症状、診断および治療法を習得する。	1. 口腔乾燥症の診断に必要な検査および治療について概説できる。 2. 口腔乾燥に関連する疾患と病態およびその対処法について説明できる。 [E-2-4)-(8)-①~⑦] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p372-375 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
10月31日 (木)  3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎関節・神経疾患</b> 神経疾患の症状、診断および治療法を習得する。	1. 顎顔面領域の疼痛の種類を列挙できる。 2. 顎関節症について説明できる。 3. 三叉神経痛の概念、症状および治療法について説明できる。 4. 神経麻痺の特徴、症状および治療法を説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②、E-2-4)-(9)-①~④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p412-441 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
10月31日 (木)  4限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修問題対策1</b> 模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い領域を認識し、それに該当する疾患の病態を正しく理解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった以下の弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 歯の発育異常・齶蝕・象牙質・歯髄複合体の病変 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p2-46、p67-96 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
11月1日(金)  1限	武部 純 非常勤講師	<b>臨床実地対策①</b> 顎義歯の特徴、適応、製作方法を理解する。	1. 顎義歯の適応症およびその病態を説明できる。 2. 顎義歯の特徴を説明できる。 3. 顎義歯の製作方法を説明できる。 4. 顎義歯の治療効果を説明できる。 [E-3-4)-(2)-②③] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月1日(金) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>臨床実地対策②</b> こうやって解く！全部床義歯の臨床問題 全部床義歯症例への治療法と問題に対する対応を理解する。	1. 症例に対する治療法を説明できる。 2. 症例の問題点を挙げられる。 3. 症例の問題点への対応方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月1日(金) 3、4限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	<b>歯周病学まとめ(弱点領域の強化)</b> 歯周外科他を理解する。	1. これまでの試験等の結果から歯周病学に関する理解が不十分な領域の知識をまとめることができる。 2. 歯周外科他を説明できる。 [E-3-2)-(③④、E-3-3)-(3)-①～③] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月2日(土) 1、2限	村井 治助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学まとめ(弱点領域の強化)</b> 口腔機能回復治療・定期管理・特殊な歯周疾患他を理解する。	1. これまでの試験等の結果から歯周病学に関する理解が不十分な領域の知識をまとめることができる。 2. 口腔機能回復治療を説明できる。 3. メインテナンス・SPTを説明できる。 4. 特殊な歯周疾患他を説明できる。 [E-3-2)-(③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月5日(火) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>臨床実地対策③</b> こうやって解く！部分床義歯の臨床問題 部分床義歯症例への治療法と問題に対する対応を理解する。	1. 症例に対する治療法を説明できる。 2. 症例の問題点をあげられる。 3. 症例の問題点への対応方法を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月5日(火) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>一般対策①</b> 一般問題に頻出する基礎的知識の整理 (概論～精密印象採得) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 診査、概形印象から精密印象までの治療時の要点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-①～⑥] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月5日(火) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>生理学の苦手範囲克服</b> 生理学の苦手範囲の内容を理解する。	1. 総合試験・模擬試験で正答率が低かった問題について説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月5日(火) 4限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>生理学の必修対策</b> 生理学領域の必修問題について理解する。	1. 過去の試験解説を通して生理学領域の必修問題を解くことができるようになる。 [C-3-4)-(4)-①～③、C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月6日(水) 1限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>一般対策②</b> <b>一般問題に頻出する基礎的知識の整理</b> (咬合採得～義歯装着) 義歯製作に必要な基礎的知識を理解する。	1. 咬合採得から義歯装着までの治療時の要点を説明できる。 [E-3-4)-(2)-(7)~(13)] 事前学習:講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月6日(水) 2限	小林琢也准教授 (補綴・インプラント学)	<b>一般・臨実対策①</b> <b>通常の義歯とは違った方法で作る義歯</b> 通常の義歯製作ステップで行わない手技を理解する。	1. パラトグラムについて説明できる。 2. ニュートラルゾーンテクニックについて説明できる。 3. フレンジテクニックについて説明できる。 4. ピエゾグラフィーについて説明できる。 5. オルタードキャストテクニックについて説明できる。 [E-3-4)-(2)-(6)(7)(9)] 事前学習:講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月6日(水) 3限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月6日(水) 4限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月7日(木) 1限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科理工学-必修に必要な基礎知識の再確認①</b> 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習:2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。
11月7日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>歯科理工学-必修に必要な基礎知識の再確認②</b> 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習:2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月7日(木) 3限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月7日(木) 4限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月8日(金) 1限	山谷元気助教 (口腔外科学)	口腔領域に発生する口腔潜在的悪性疾患に関する知識を習得する。	1. 口腔潜在的悪性疾患（前癌病変、前癌状態）の概念を説明する。 2. 口腔潜在的悪性疾患（前癌病変、前癌状態）の種類を列挙する。 3. 口腔潜在的悪性疾患（前癌病変、前癌状態）の診断と治療法について説明する。 [E-2-4)-(4)-①②、E-2-4)-(6)-⑤⑥] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p235-243, 363-366 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月8日(金) 2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>嚢胞</b> 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞の分類、発生病因、診断、治療法を習得する。	1. 顎骨および軟組織に発生する嚢胞を分類し、それぞれの発生病因と臨床症状、画像検査所見、病理組織所見を述べ、治療法を概説する。 2. 嚢胞に対する手術法および器具の種類を列挙し用法を説明する。 [E-2-4)-(5)-①～②] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p272-291, 378, 751-761 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月8日(金) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>良性腫瘍</b> 歯原性腫瘍の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p292-327 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月8日(金) 4限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修問題対策3</b> 模擬試験で判明した口腔病理学の得点率の低い領域を認識し、それに該当する疾患の病態を正しく理解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果から明らかになった以下の弱点項目を理解し、それらの解答に必要な知識を正しく説明できる。 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p132-142、p312-319、p331-340 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月11日 (月)  1、2限	村井 治助教 (歯周療法学)	<b>歯周病学まとめ(頻出項目 再確認および弱点領域の 強化)</b> ペリオドンタルメディシ ン・歯周問題頻出項目、弱 点を理解する。	1. これまでの試験等の結果から歯周病学に 関する理解が不十分な領域の知識をまと めることができる。 2. ペリオドンタルメディシンを説明できる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月11日 (月)  3限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>弱点領域の強化(口腔内臓 学を中心に)</b> 咀嚼・嚥下に関連する口腔 の構造や分類、関係する筋 肉を理解する。	1. 硬口蓋、軟口蓋、口峽部の構造や関連す る筋肉を説明できる。 2. 内舌筋、外舌筋の種類とその機能、支配 神経を説明できる。 3. 口腔前庭・固有口腔・咽頭・喉頭の構造 と咀嚼・嚥下との関連性を説明できる。 [E-2-1)-⑩] 事前学習：総合講義 A、B の該当領域の資料 を復習し、理解が不確実な項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその 関連事項を含めフィードバックする。
11月11日 (月)  4限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>弱点領域の強化(唾液腺と 神経を中心に)</b> 唾液腺と支配神経の関連 性を再確認し、神経の走行 経路を含めて総合的に理 解する。	1. 大唾液腺分泌に関わる交感神経・副交感 神経の経路を説明できる。 2. 小唾液腺に関わる交感神経・副交感神経 の経路を説明できる。 [E-2-2)-⑥] 事前学習：総合講義 A、B の該当領域の資料 を復習し、理解が不確実な項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその 関連事項を含めフィードバックする。
11月12日 (火)  1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>口唇・口蓋裂患者の治療 (発語・構音含む)</b> 口唇・口蓋裂に関する知識 と発語・構音等に関する知 識を強化できる。	1. 口唇・口蓋裂に関して理解を深め、同領 域の問題を解くことができるようになる。 2. 発語・構音に関して理解を深め、同領域 の問題を解くことができるようになる。 [E-2-4)-(1)-①②、E-2-4)-(11)-①～③、 E-3-1)-③] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯 科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
11月12日 (火)  2限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>計算問題演習 1</b> 種々の計算問題に対応す る。	1. 様々な疫学指標を算出できる。 2. リスク指標を算出できる。 [B-4-2)-①④]
11月12日 (火)  3限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>計算問題演習 2</b> 種々の計算問題に対応す る。	1. フッ化物の急性中毒量を算出できる。 2. 人口統計指標を算出できる。 3. スクリーニングの指標を算出できる。 [B-3-2)-②、B-4-2)-①④]
11月12日 (火)  4限	大石泰子助教 (予防歯科学)	<b>復習試験からみた弱点強 化</b>	1. 復習試験の結果を自らにフィードバック し、学習課題の順位付けができる。 [A-2-1)-①～⑤]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月13日 (水)  1限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>悪性腫瘍</b> 悪性腫瘍の種類を把握し、 発生病因、臨床症状、病理 組織像、診断、治療法を習 得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [E-2-4)-(6)-(3)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p341-362 を参照し、レポート用紙半分程度のレポート をWebClassにアップロードしておく。
11月13日 (水)  2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	<b>粘膜疾患</b> 顎口腔領域における粘膜 疾患に関する知識を習得 する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [E-2-4)-(4)-(1②)、E-2-4)-(6)-(5⑥)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p214-234, 243-251を参照し、レポート用紙 半分程度のレポートをWebClassにアップロ ードしておく。
11月13日 (水)  3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>嚢胞</b> 顎口腔領域における嚢胞 に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [E-2-4)-(5)-(1②)] 事前学習：最新口腔外科学第5版 p272-291, 378, 751-761を参照し、レポート 用紙半分程度のレポートをWebClassにアッ プロードしておく。
11月13日 (水) 4限	近藤尚知教授 (補綴・インプ ラント学)	<b>インプラント補綴 総論</b> インプラントの外科術式 を理解する。	1. 口腔インプラントの外科に関する過去問 を理解し、説明することができる。 [E-3-4)-(3)-(1~5)] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。
11月14日 (木) 1・2限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプ ラント学)	<b>高齢者に多い口腔疾患</b> 高齢者に多い口腔疾患に 対して全身疾患も考慮し た対応について理解する。	1. 高齢者に多い口腔疾患について説明できる。 2. 高齢者それぞれのライフステージ・全身疾患 を考慮した対応について説明できる。 [E-2-4)-(11)-(2⑤)、E-5-1)-(4⑥)] DESS演習の準備をしておくこと。 事前学習：老年歯科医学 p373~429を読み、 疑問点をまとめておくこと。
11月14日 (木)  3限	佐藤泰生講師 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修問 題対策 5</b> 模擬試験で判明した口腔 病理学の得点率の低い領 域を認識し、それに該当す る疾患の病態を正しく理 解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果から 明らかになった以下の弱点項目を理解し、 それらの解答に必要な知識を正しく説明 できる。 口腔粘膜疾患・口腔粘膜の感染症・口腔癌・ 口腔潜在的悪性病変と口腔上皮異形成 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p143-177を読み、疑 問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
11月14日 (木)  4限	衣斐美歩講師 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修問 題対策 6</b> 模擬試験で判明した口腔 病理学の得点率の低い領 域を認識し、それに該当す る疾患の病態を正しく理 解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果から 明らかになった以下の弱点項目を理解 し、それらの解答に必要な知識を正しく 説明できる。 歯原性嚢胞・非歯原性嚢胞・根尖性歯周 疾患 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p182-194を読み、疑 問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月15日 (金)  1限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月15日 (金)  2限	田邊憲昌講師 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月15日 (金)  3限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>インプラント補綴 総論</b> インプラントの補綴術式を理解する。	1. インプラントの上部構造の印象採得と咬合採得について説明できる。 2. プロビジョナルレストレーションの意義を荷重時期について説明できる。 [E-3-4)-(3)-⑥] 事前学習:4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
11月15日 (金)  4限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>インプラント補綴 総論</b> インプラントの補綴術式を理解する。	1. インプラントの上部構造の製作手順と装着方法について説明できる。 2. インプラント補綴のメンテナンスを理解し、説明することができる。 [E-3-4)-(3)-⑥⑦] 事前学習:4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
11月18日 (月)  1限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>小児歯科実力テスト 60問</b> これまでの講義内容の理解度を自己診断する。	1. 小児歯科学のすべての範囲を網羅する試験を行い自分の理解不足の項目を列挙できる。 [E-4-2)-(①~⑫)] 事前学習:6年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月18日 (月)  2限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>保隙の基準と装置選択</b> 小児の保隙を行う際の診断基準と装置の選択基準を理解する。	1. 保隙を行う際の診断基準を症例に応じて説明できる。 2. 診断に基づいた適切な保隙装置の選択方法を症例に応じて説明できる。 [E-4-2)-(⑧、E-4-2)-(⑨)] 事前学習:保隙について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月18日 (月)  3限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>弱点領域の強化</b> 生化学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた生化学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)、C-3-4)-(2)、C-3-4)-(4)、C-5-5)、C-5-6)、E-3-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 総合試験や到達度評価試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
11月18日 (月)  4限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>弱点領域の強化</b> 生化学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた生化学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)、C-3-4)-(2)、C-3-4)-(4)、C-5-5)、C-5-6)、E-3-2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 総合試験や到達度評価試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
11月19日 (火) 1限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラント学総論</b> 口腔インプラントの外科から補綴までの一連を説明できる。	1. 口腔インプラントの外科の過去問を解説することができる。 2. インプラント治療の補綴の過去問を解説することができる。 [E-3-4)-(3)-①~⑦)、D-2-⑧)] 事前学習: 4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
11月19日 (火) 2限	鬼原英道教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラント学総論</b> 口腔インプラントの外科から補綴までの一連を説明できる。	1. 口腔インプラントの外科の過去問を解説することができる。 2. インプラント治療の補綴の過去問を解説することができる。 [E-3-4)-(3)-①~⑦)、D-2-⑧)] 事前学習: 4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
11月19日 (火)  3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>社会歯科まとめ1</b> 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①~⑤)]
11月19日 (火)  4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>社会歯科まとめ2</b> 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①~⑤)]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月20日 (水)  1限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	<b>災害歯科医療</b> 災害時の歯科医師の役割を理解する。	1. 平時と災害時の歯科医療の違いを説明できる。 2. ロールプレイを通して災害時のトリアージの理解を図る。 3. 災害被災者に対する歯科医師の役割を説明できる。 4. 多職種による災害時対応の意義を説明できる。 [B-2-2)-⑨] 事前学習:法歯科医学 173, 181, 182p を読み、疑問点を抽出しておく。
11月20日 (水)  2限	熊谷章子准教授 (法歯学・災害口腔医学)	<b>歯科的個人識別</b> 歯科的個人識別の意義を理解する。	1. 歯科的個人識別の方法を説明できる。 2. 年齢推定方法を説明できる。 3. 災害犠牲者に対する歯科医師の役割を説明できる。 4. 身元確認、死因究明に関する法律を説明できる。 5. 死後変化を説明できる。 6. ロールプレイを取り入れて、正確で適切な歯科的個人識別ができる力の強化を図る。 [B-2-3)-①②] 事前学習:法歯科医学 86-90, 142-161p を読み、疑問点を抽出しておく。
11月20日 (水)  3、4限	田中良一教授 (歯科放射線学)	<b>放射線基礎</b> 放射線物理、撮影の基礎等について再確認し、知識を補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。エックス線の性質、エックス線の発生原理、エックス線管の構造、線質と相互作用、コントラスト、フィルムと現像処理 [E-1-2)-④～⑨]
11月21日 (木)  1, 2限	坂本 望助教 (歯科麻酔学)	<b>弱点領域の強化</b> 必修問題領域、一般問題(総論)領域について知識を強化できる。	1. 全身の症候を説明できる。 2. 全身的偶発症の原因を説明できる。 3. 輸液療法、輸血療法について説明できる。 4. 全身管理に留意すべき疾患を説明できる。 5. 局所麻酔薬・血管収縮薬を説明できる。 6. 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬を説明できる。 7. 筋弛緩薬とその拮抗薬を説明できる。 8. 術前管理と麻酔前投薬を説明できる。 9. 術中・術後のモニタリングを説明できる。 [E-6-②、E-1-6)-①、E-1-4)、E-1-5)-⑩] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:全身疾患、偶発症、周術期に使用する薬剤について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、今年度 A,B 講義に使用したレジュメに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月21日 (木)  3限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月21日 (木)  4限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> クラウンブリッジ補綴学領域について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきたクラウンブリッジ補綴学領域に関する理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習:4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月25日 (月)  1、2限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>CT・MRI・US 検査</b> 顎顔面領域の適切な診断を行うため、各種診断装置の原理と適応に関する知識を再確認する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 CT、MRI、US、PET、シンチグラフィ [E-1-2)-(9)] 過去の問題で上記画像検査に関連して不正解であった問題を WebClass にあげておく。
11月25日 (月) 3、4限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>薬理学必修強化対策</b> 薬理学、臨床薬理学全般について弱点領域の知識を強化し、理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、復習試験などからみえてきた弱点領域の知識を整理し、説明できる。 [C-6-1)-(1)~(3)、C-6-2)-(1)~(5)、C-6-3)-(1)(2)、C-6-4)-(1)、(2)] 事前学習:過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
11月26日 (火)  1限	飯島 伸 非常勤講師 (口腔外科学)	<b>先天異常、後天異常</b> 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(1)-(1)~(4)] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p109-148を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月26日 (火)  2限	飯島 伸講師 (口腔外科学)	<b>変形症</b> 先天性・後天性異常の概念、成因、発生との関連について理解し、知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(1)-(1)~(4)] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p109-148を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
11月26日 (火)  3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>社会歯科まとめ3</b> 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-(1)~(5)]
11月26日 (火)  4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>社会歯科まとめ4</b> 社会歯科学関連の知識を強化する。	1. 社会歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-(1)~(5)]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月27日 (水)  1限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>高頻度にみられる全身疾患・症状、要介護の原因疾患</b> 高頻度にみられる全身疾患・症状、要介護の原因疾患について理解する。	1. 高頻度にみられる全身疾患・症状、要介護の原因疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習:内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習:講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
11月27日 (水)  2限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>個体の死、医療事故</b> 個体の死、医療事故について理解を深める。	1. 個体の死、医療事故について理解を深め説明できる。 [A-6-2] 事前学習:内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習:講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
11月27日 (水)  3限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	<b>基礎から見た臨床問題を考える1</b> 臨床的所見や病態を正常組織と関連付けて説明できるようにする。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた口腔組織・発生学領域と臨床的所見との関連問題について理解を整理し、学修の要点をまとめることができる。 [C-2~5、E-2~5] ICT 端末を持参すること。 事前学習:事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集Ⅰ・Ⅱについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
11月27日 (水)  4限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	<b>基礎から見た臨床問題を考える2</b> 臨床的所見や病態を正常組織と関連付けて説明できるようにする。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた口腔組織・発生学領域と臨床的所見との関連問題について理解を整理し、学修の要点をまとめることができる。 [C-2~5、E-2~5] ICT 端末を持参すること。 事前学習:事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集Ⅰ・Ⅱについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
11月28日 (木)  1,2限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	<b>弱点領域の強化</b> 一般問題(各論)領域、臨床実地問題領域について知識を強化できる。	1. 全身管理に留意すべき全身疾患を説明できる。 2. 歯科における全身的偶発症を説明できる。 3. 歯科治療時の患者管理を説明できる。 4. 心電図を説明できる。 [E-6-②、E-1-6)-①、E-1-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:全身疾患、周術期管理について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、今年度A、B 講義に使用したレジュメに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月28日 (木) 3、4限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>微生物学弱点対策</b> 微生物学・免疫学領域全般について知識を強化し、理解を深める。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解が不十分な領域を説明できる。 [A-5-3)-①②, C-3-1)-①～③⑥, C-3-2)-①～⑦, E-2-4)- (9)-②③, E-1-4)-⑥⑧, E-2-4)- (3)-①, E-3-2)-①～⑤] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
11月29日 (金) 1, 2, 3, 4限	織田展輔 非常勤講師	<b>1日で極める有床義歯の頻出ポイント</b> 義歯製作に必要な知識と手技を理解する。	1. 義歯製作のための基礎知識を説明できる。 2. 義歯製作のための手順を説明できる。 [E-3-4)- (2)-①～⑭] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月2日(月) 1, 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>歯内・修復重要ポイント総まとめ</b> 歯内・修復領域の重要項目を説明できる。	1. 歯内領域の重要項目について説明できる。 2. 修復領域の重要項目について説明できる。 [E-3-3)- (1), E-3-3)- (2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
12月2日(月) 3, 4限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>弱点強化</b> 障害者歯科領域での弱点を抽出し、理解する。	1. 行動調整および主な障害、症候群で得た知識を説明できる。 [B-2-2)-①, E-5-2)-①～④, E-2-4)- (10)-⑤⑥] 事前学習：教科書 p208～244, p40～105, p163～205 を読み、まとめておく。
12月3日(火) 1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>弱点強化3</b> 模擬試験においてみえてきた矯正領域の弱点を認識し、対策を立てることができる。	1. 自分自身の弱点を認識し、自分なりの勉強方法を構築することができる。 [E-4-1)- (1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月3日(火) 2限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>必修・一般問題①</b> <b>弱点強化</b> 必修・一般試験問題に関する知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)- (1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月3日(火) 3限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>臨床予防歯科学まとめ1</b> 臨床予防歯科学関連の知識を強化する。	1. 臨床予防歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①～⑤]
12月3日(火) 4限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>臨床予防歯科学まとめ2</b> 臨床予防歯科学関連の知識を強化する。	1. 臨床予防歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①～⑤]
12月4日(水) 1限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>血液検査の読み方</b> 血液検査の読み方について理解する。	1. 血液検査の読み方を理解し説明できる。 [E-1-3)-⑤] 事前学習：内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習：講義に関する国家試験問題を解きまとめること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月4日(水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>復習講義重要点</b> 重要な疾患についてさらに理解を深める。	1. 重要な疾患について実際の試験問題をふまえ理解を深める。 [E-6-②] 事前学習:内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習:講義に関する国家試験問題を解きまとめること。
12月4日(水) 3限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>唾液腺疾患</b> 唾液腺疾患に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-2-4)-(8)-①～⑦] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p372-386を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
12月4日(水) 4限	山田浩之教授 (口腔外科学)	<b>非歯原性良性腫瘍 腫瘍類似疾患</b> 非歯原性良性腫瘍、腫瘍類似疾患の種類を把握し、発生病因、臨床症状、病理組織像、診断、治療法を習得する。	1. 非歯原性腫瘍の特徴と症状、治療法を説明できる。 [E-2-4)-(6)-④] 事前学習:最新口腔外科学第5版 p292-327を参照し、レポート用紙半分程度のレポートをWebClassにアップロードしておく。
12月5日(木) 1限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>臨床実地① 弱点強化</b> 可撤式装置に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習:到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月5日(木) 2限	水川卓磨助教 (歯科矯正学)	<b>臨床実地② 弱点強化</b> 固定式装置に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習:到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月5日(木) 3限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>臨床実地③ 弱点強化</b> マルチブラケット装置装置に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習:到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月5日(木) 4限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>臨床実地④ 弱点強化</b> 外科矯正治療に関する臨床実地問題について知識を強化できる。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた理解が不十分な領域を説明し、強化することができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習:到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月6日(金) 1限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>口腔機能低下と口腔管理</b> 口腔機能低下への対応について理解する。	1. 口腔機能低下の検査と予防法を説明できる。 2. 高齢者における口腔管理の用具と処置について説明できる。 [E-2-4)-(11)-②⑤、E-5-1)-④⑥] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:老年歯科医学 p212～261を読み、疑問点をまとめておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月6日(金) 2限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	<b>高齢ハイリスク患者への治療</b> ハイリスク高齢者に対する治療と要介護者・介護者への対応を理解する。	1. 高齢者に対する基本的な対応ができる。 2. 要介護者・介護者に対する基本的な対応ができる。 3. 高齢者への治療時における緊急時の対応を理解している。 [E-5-1)-④⑥⑧、G-4-③] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：老年歯科医学 p181～211、304～309 を読み、疑問点をまとめておくこと。
12月6日(金) 3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>手術療法総まとめ</b> 口腔外科領域における手術療法に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-1-5)-①～⑩] 事前学習：口腔外科領域の手術療法に関する疑問点についてレポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
12月6日(金) 4限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	<b>口腔外科総まとめ</b> 症候・検査値に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-1-4)-(1)-①～⑥、E-1-3)-①～⑤] 事前学習：口腔外科領域の症候・検査に関する疑問点についてレポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
12月7日(土) 1限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	<b>手術機械器具総まとめ</b> 口腔外科領域における手術機械器具・滅菌消毒に関する知識を習得する。	1. 一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-1-5)-①～⑩] 事前学習：口腔外科領域の手術機械、器具、滅菌、消毒に関する疑問点についてレポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
12月7日(土) 2限	古城慎太郎助教 (口腔外科学)	<b>抜歯、難抜歯 歯根端切除術</b>	1. 抜歯に関する一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [E-1-5)-①～⑩] 事前学習：最新口腔外科学第 5 版 p484-506、653-694 を参照し、レポート用紙半分程度のレポートを WebClass にアップロードしておく。
12月9日 (月) 1限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>弱点領域の強化(歯の解剖学)</b> 歯種を鑑別するための基本的知識を再確認し、あわせて異常形態についても理解する。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態と頻出する異常形態の特徴を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態と頻出する異常形態の特徴を説明できる。 3. 歯の排列、空隙、上下顎の咬合形態や歯種ごとの機能を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：総合講義 A、B の該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月9日 (月) 2限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>低正答率問題の解析①</b> 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：11月18日に実施する小児歯科実力テストの内容について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月9日 (月) 3限	氏家隼人助教 (小児歯科学)	<b>歯の交換と歯列変化</b> 小児の歯の交換と歯列の変化を総合的に理解する。	1. 乳歯から永久歯への交換とその各時点における歯列の変化を総合的に理解し説明できる。 [E-2-3)-②] 事前学習：歯の交換と歯列変化について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月9日 (月) 4限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>低正答率問題の解析②</b> 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：11月18日に実施した小児歯科実力テストの内容について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月10日 (火) 1限	氏家隼人助教 (小児歯科学)	<b>歯髄処置 pul と per</b> 乳歯の歯髄炎と歯周炎の鑑別を総合的に理解する。	1. 歯髄炎の処置法である生活歯髄切断法と抜髄法の鑑別診断基準を臨床的に説明できる。 2. 歯周炎の処置法である感染根管治療法と抜歯の鑑別診断基準を臨床的に説明できる。 [E-4-2)-④⑤] 事前学習：乳歯の歯髄炎と歯周炎について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月10日 (火) 2限	氏家隼人助教 (小児歯科学)	<b>低正答率問題の解析③</b> 理解度の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：11月18日に実施した小児歯科実力テストの内容について教科書、4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
12月10日 (火) 3限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>臨床予防歯科学まとめ1</b> 臨床予防歯科学関連の知識を強化する。	1. 臨床予防歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①～⑤]
12月10日 (火) 4限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	<b>臨床予防歯科学まとめ2</b> 臨床予防歯科学関連の知識を強化する。	1. 臨床予防歯科学分野の知識を補強し、自らにフィードバックできる。 [A-2-1)-①～⑤]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月11日 (水) 1,2限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>過去問低回答率問題の解析①</b> 国家試験模擬試験問題で正答率の低かった項目を探り出し、再度理解を深める。	1. 国家試験過去問の低正答率問題の理解不足であった点を列挙できる。 2. 理解不足であった項目について改めて、理解し説明できる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習:過去5年分の小児歯科領域の国家試験問題を確認しておく。(60分を要する。)
12月11日 (水) 3,4限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>歯内・修復の弱点強化</b> 歯内・修復領域問題の弱点部分を抽出した上で理解する。	1. 歯内療法領域の知識の不足している部分を抽出できる。 2. 修復療法領域の知識の不足している部分を説明できる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習:試験結果から自分の歯内・修復領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
12月12日 (木) 1,2,3,4限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	<b>歯内・修復重要ポイント総まとめ</b> 逢はない・修復領域の重要項目を説明できる。	1. 歯内領域の重要項目について説明できる。 2. 修復領域の重要項目について説明できる。 [E-3-3)-(1)、E-3-3)-(2)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習:試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
12月13日 (金) 1,2限	高橋徳明助教 (歯科放射線学)	<b>画像診断の弱点補強 1</b> パノラマ正常解剖と CT、MRI 正常解剖の知識を補強する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 2. パノラマ正常解剖、CT、MRI 正常解剖 [E-2-1)-②④⑥、E-2-2-⑦] 事前学習:パノラマや CT、MRI の正常像を WebClass に公開する。各自回答を作成すること。
12月13日 (金) 3,4限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>歯内領域の必修 &amp; 高正答率一般問題強化 ①</b> 歯内領域問題の高正答範囲を抽出し、認識を再確認する。	1. 解説を通して歯内領域の高正答問題を解くことができ確認認識することができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習:試験結果から自分の歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。

**講義日程【選抜講義 1(8月6日~8月9日)】**

1限:8:40~9:40、2限:9:50~10:50、3限:11:00~12:00、

4限:13:00~14:00、5限:14:10~15:10、6限:15:20~16:20

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月6日(火) 1限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>歯の解剖学</b> 歯種を鑑別するための基本的知識を再確認し、あわせて異常形態についても理解する。	1. 永久歯の歯種ごとの基本形態と上・下顎の歯の形態的異同を説明できる。 2. 乳歯の歯種ごとの基本形態と後継永久歯との形態的異同を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習:総合講義 A の該当領域の資料を復習し、理解が不確実な項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその関連事項を含めフィードバックする。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月6日(火) 2限	原田英光教授 (発生物・再生 医学)	<b>必修問題の弱点領域の強化</b> 組織・発生学の必修問題領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようにする。	1. 組織・発生学の必修問題領域について確認し、体系的に説明できる。 [C-3-2)~4)、C-4-2)-③、E-2-1) ~3)、E-3-1)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集Ⅰ・Ⅱについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
8月6日(火) 3限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>選抜講義</b> 生理学の弱点領域を理解する。	1. 生理学の弱点領域について説明できる。 [C-3-4)-(4)-①~③、C-3-4-(5)-②~④⑦~⑨、C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月6日(火) 4限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>総合講義 A 復習講義 1(復習試験、到達度試験から)</b> 予防歯科領域の弱点を理解する。	1. 予防歯科領域の学習不足領域を列挙できる。 [A-2-1)-①~⑤]
8月6日(火) 5限	桑島幸紀助教 (歯科矯正学)	<b>弱点領域の強化 1</b> 復習試験問題について理解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答えることができる。 [E-4-1)-(1)-①~⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
8月6日(火) 6限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>復習試験問題の弱点領域の強化</b> 復習試験での弱点領域を整理し、関連領域の知識も総合的に理解する。	1. 障害者歯科領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習：障害者歯科復習試験問題を見直して疑問点を抽出しておく。
8月7日(水) 1限	石崎明教授 (細胞情報科学)	<b>弱点領域の強化</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：第一回総合試験の生化学関連問題を見直して講義に臨むこと。
8月7日(水) 2限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 5</b> 代表的な口腔・顎顔面領域の疾患の基本的事項を体系的に理解する。	1. 顎骨の非歯源性腫瘍と腫瘍様病変について説明できる。 2. 口腔軟組織の腫瘍と腫瘍様病変について説明できる。 3. 歯科医療と病理診断の関係について説明できる。 [E-2-4)] 事前学習：新口腔病理学 p213-227、p239-255、p323-330 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
8月7日(水) 3限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患</b> 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患について理解する。	1. 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー疾患について理解し説明できる。 [E-6-②] 事前学習：科学に関する国家試験問題および過去の講義資料を確認し講義に臨むこと講義に関する国家試験問題を解きまとめること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月7日(水) 4限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	<b>弱点歯周領域の強化</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-2)-(③④)、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月7日(水) 5限	深澤翔太助教 (補綴・インプラント学)	<b>弱点領域の強化</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
8月7日(水) 6限	三浦 仁助教 (歯科麻酔学)	<b>復習試験問題解説講義</b> 復習試験問題結果からわかった弱点について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：復習問題に出題された問題について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、今年度A講義に使用したレジメに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
8月8日(木) 1限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>復習試験問題の弱点領域の強化</b> 復習試験での弱点領域を整理し、関連領域の知識も総合的に理解する。	1. 薬理学総論の復習試験問題の弱点を確認し、総合的に説明できる。 2. 薬理学各論の復習試験問題を確認し、説明できる。 [C-6-1)-(①～③)、C-6-2)-(①～⑤)、C-6-3)-(①②)、C-6-4)-(①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
8月8日(木) 2限	武本真治教授 (医療工学)	<b>総合講義 A 復習講義 (復習試験、到達度試験から)</b> 歯科理工学の弱点領域について学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClass に掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。A 講義レジメ、復習試験の問題を再度見直すこと。
8月8日(木) 3限	下山佑講師 (分子微生物学)	<b>免疫学序論 (選抜講義)</b> 免疫応答による生体防御の仕組みについての基本的事項について理解を深める。	1. 免疫応答に関与する器官と細胞について説明できる。 2. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 3. 主なサイトカインとその生物活性について説明できる。 4. 微生物の認識機構と排除機構を説明できる。 [C-3-2)-(①～⑦)、E-2-4)-(9)-③] 事前学習：過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
8月8日(木) 4限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィードバック</b> 復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(1)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月8日(木) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>歯内領域の中、高正答率を確実に解く</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
8月8日(木) 6限	田中良一教授 (歯科放射線学)	<b>放射線物理、生物学</b> 放射線物理、生物学に関する国試一般問題について理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から明らかになった以下の弱点項目を克服する。 [E-1-2)-①～⑤]
8月9日(金) 1、2限	山谷元気助教 (口腔外科学)	<b>復習試験解説講義</b> 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [A-3-①～⑥]
8月9日(金) 3限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>復習試験解説講義①</b> 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭, D-1-①, ③, D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
8月9日(金) 4限	氏家隼人助教 (小児歯科学)	<b>小児歯科弱点領域の強化</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を確認しておく。
8月9日(金) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラントの選抜講義</b> 口腔インプラント総論を理解する。	1. 口腔インプラントに必要な診察、検査、診断を説明できる。 2. 口腔インプラントの外科術式を理解できる。 3. インプラント治療に関連する材料について説明できる。 [E-3-4)-(3)-①～⑤, D-2-⑧] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。

講義日程【選抜講義 2(8月19日～10月11日)】 5限：15：20～16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月19日(月) 5限	桑島幸紀助教 (歯科矯正学)	<b>弱点領域の強化1</b> 復習試験問題について理解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答えることができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
8月20日(火) 5限	小笠原正人教授 (病態制御学)	<b>薬理学全般の弱点領域の強化</b> 歯科医学総論、各論における薬理学関連領域の弱点分野を総合的に理解する。	1. 復習試験、到達度試験、必修試験、総合試験などからみえてきた弱点を整理し、説明できる。 [C-6-1)-①～③, C-6-2)-①～⑤, C-6-3)-①②, C-6-4)-①②] 事前学習：過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
8月21日(水) 5限	石河太知助教 (分子微生物学)	院内感染対策(選抜講義) 滅菌と消毒の方法, 感染性 廃棄物の処理を理解する。	1. 物理的、化学的方法による滅菌法を説明 できる。 2. 主な消毒薬の分類とその効果について説 明できる。 3. 歯科医療における院内感染とその予防法 について説明できる。 [A-5-3)-①②, C-3-1)-③⑥, E-1-4)-⑥⑧] 事前学習: 過去5年間の国家試験の微生物 学・免疫学に関連する問題について学習し ておくこと。
8月22日(木) 5限	小林琢也准教授 (補綴・インプ ラント学)	復習試験解説講義② 復習試験結果から弱点を 見つけ, 理解できなかった 項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率 問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭, D-1-①③, D-2-②] 事前学習: 講義内容について教科書と4年 次に使用したレジメ、講義ノートに目を通 して講義に臨むこと。
8月23日(金) 5限	原田英光教授 (発生生物・再生 医学)	顎顔面の発生の弱点領域 の強化 顎顔面の正常発生領域を 整理し, 関連領域も含めて 統合的に説明できるよう になる。	1. 顎顔面の正常発生領域の重要項目につい て確認し, 体系的に説明できる。 [C-3-2)-①～③, E-2-3)-①, E-3-1)-①⑥] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 事前に配布したテキストの必要 な項目に目を通しておくこと。また問題集 I・IIについては各自で解答して理解不足 の点を抽出しておくこと。
9月4日(水) 5限	千田弥栄子助教 (う蝕治療学)	復習試験問題の弱点領域 の強化 総合領域の復習試験問題 について理解を深める。	1. 総合歯科領域の復習試験問題を確実に答 えることができる。 [A-4, A-5] 事前学習: 総合領域の復習試験での疑問点 を抽出しておく事。
9月5日(木) 5限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	復習試験問題の弱点領域 の強化 復習試験での弱点領域を 整理し, 関連領域の知識も 総合的に理解する。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実 に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習: 復習試験の小児歯科領域問題を 確認しておく。
9月6日(金) 5限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	骨学総復習 頭頸部を構成する骨の連 結、管・孔による空間交通 を理解する。	1. 頭蓋骨を構成する各骨の形態と縫合を説 明できる。 2. 内・外頭蓋底、翼口蓋窩を構成する骨と、 脈管・神経の走行との関係を説明できる。 [E-2-1)-②] 事前学習: 総合講義A・選抜講義1の該当領 域の資料を復習し、理解が不確実な項目お よび DESS の関連問題をまとめておくこと。 講義でその関連事項を含めフィードバック する。
9月9日(月) 5限	小原瑞貴助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を 見つけ, 理解できなかった 項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [A-3-①～⑥]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月10日(火) 5限	角田直子助教 (口腔外科学)	<b>復習試験解説講義</b> 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [A-3-①～⑥]
9月11日(水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィード バック</b> 復習試験から見えてきた ウィークポイントを克服 することができる。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えること ができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、 歯内領域における弱点を抽出して講義に臨 むこと。
9月12日(木) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>選抜講義</b> 生理学の弱点領域を理解 する。	1. 生理学の弱点領域について説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、 C-3-4-(5)-②～④⑦～⑨、 C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、 1・2年次の生理学で使用したレジメ、講義 ノートに目を通して講義に臨むこと。
9月13日(金) 5限	桑島幸紀助教 (歯科矯正学)	<b>弱点領域の強化 1</b> 復習試験問題について理 解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答 えることができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨む こと。
9月19日(木) 5限	中里茉那美助 教 (歯周療法学)	<b>弱点歯周領域の強化 中～高正答率問題につ いて理解を深める。</b>	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答 えることができる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレ ジメ、講義ノートに目を通して講義に臨む こと。
9月20日(金) 5限	田邊憲昌講師 (補綴・インプ ラント学)	<b>弱点領域の強化 中～高正答率問題につ いて理解を深める。</b>	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正 答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：4年時の講義資料や教科書、 WebClass、過去問を読んで講義に臨むこと。 講義中・後のディスカッションで理解度 を確認する。
9月24日(火) 5限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>全国模試解説 1</b> 低～中正答率問題につ いて理解を深める。	1. 全国模試問題の解き方を学び、放射線領 域の弱点項目を補強する。 [E-1-2)] 事前学習：全国模試で自分が不正解であ った問題に関して、自分の考えなどを WebClassにあげておく。
9月25日(水) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>弱点領域の強化 中～高正答率問題につ いて理解を深める。</b>	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確 実に答えることができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：第二回総合試験の生化学関連 問題を見直して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月26日(木) 5限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	総合講義 A, B 復習(復習 試験から) おもに正答率 30%~70% 歯科理工学の弱点領域に ついて学ぶ。	1. 歯科理工学の弱点領域について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習: 2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、 レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨む こと。A講義、B講義のレジメを再度見直す。
9月27日(金) 5限	小松祐子助教 (口腔外科学)	復習試験解説講義 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、 一般・臨床実地問題を確実に答えること ができる。 [A-3-①~⑥]
9月30日(月) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	復習試験からのフィード バック 復習試験から見えてきた ウィークポイントを克服 することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えること ができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習: 復習試験結果から自分の修復、歯 内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月1日(火) 5限	森川和政教授 (小児歯科学)	小児歯科弱点領域の強化 中~高正答率問題につい て理解を深める。	1. 小児歯科領域の中~高正答率問題を確実に に答えることができる。 [E-4-2)-①~⑫] 事前学習: 復習試験の小児歯科領域問題を 確認しておく。
10月2日(水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	復習試験からのフィード バック 復習試験から見えてきた ウィークポイントを克服 することができる。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えること ができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習: 復習試験結果から自分の修復、歯内 領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月3日(木) 5限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	障害者歯科での行動調整、 主な障害、関連した法律 障害者歯科学で取り扱う行 動調整と主な障害、さらに 関連した法律を理解する。	1. 障害者歯科学で取り扱う行動調整と主な 障害、関連した法律について説明できる。 [B-2-2)-①、E-5-2)-①~④] 事前学習: 教科書 p208~244, p40~105 を 読んでおく。
10月4日(金) 5限	入江太郎教授 (病態解析学)	顎・口腔領域の疾患 7 国家試験過去問の選択肢 として使用された各種疾 患の病態を理解する。	1. 顎・顎関節の非腫瘍性病変について説明 できる。 2. 口腔領域軟組織の腫瘍と腫瘍様病変につ いて説明できる。 3. 免疫応答に関連した口腔病変について説 明できる。 4. 加齢に伴う口腔病変について説明できる。 5. 歯科医療と病理診断について説明できる。 [E-2-4)] 事前学習: 新口腔病理学 p229-255、p283-311 を読み、疑問点を抽出しておくこと。(60 分を要する)
10月7日(月) 5限	三浦 仁助教 (歯科麻酔学)	復習試験問題解説講義  復習試験問題結果からわ かった弱点について理解 を深める。	1. 歯科麻酔領域の復習試験問題を確実に答 えることができる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 復習問題に出題された問題につ いて永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、今 年度 A, B 講義に使用したレジメに目を通 して講義に臨むこと。DESS 演習を設定し た場合は講義開始までに回答すること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月8日(火) 5限	岸 光男教授 (予防歯科学)	<b>選抜講義 1</b> 知識が不足している領域を認識し充足する。	1. 過去の客観評価(試験結果など)から自らの学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己学習できる。 [A-2-1)-①~⑤]
10月9日(水) 5限	野村太郎講師 (補綴・インプラント学)	<b>復習試験解説講義③</b> 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①~⑭, D-1-①③, D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
10月10日 (木) 5限	近藤尚知教授 (補綴・インプラント学)	<b>口腔インプラントの選抜講義</b> 口腔インプラントの復讐試験に関するおさらい。	1. 口腔インプラントに必要な診察と検査、診断を説明できる。 2. 口腔インプラントの外科術式を理解できる。 3. インプラント治療に関連する材料について説明できる。 [E-3-4)-(3)-①~⑤, D-2-⑧] 事前学習：4・5年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。また、教科書の該当項目にも目を通すこと。
10月11日 (金) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィードバック</b> 復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域の弱点を抽出して講義に臨むこと。

講義日程【選抜講義 3(10月24日~12月13日)】 5限：15：20~16：25

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月24日(木) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィードバック</b> 復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月25日(金) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィードバック</b> 復習試験から見てきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
10月30日(水) 5限	服部雅之 客員教授 (医療工学)	<b>これで最後？歯科理工学の弱点克服</b> 歯科材料の基本的知識を整理する。	1. 歯科材料の基本的知識について説明できる。 [D-1、D-2] 事前学習：2・3年次に使用した教科書(スタンダード歯科理工学、新編歯科理工学)、レジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。WebClassに掲載の講義要旨の空欄を講義開始までに補充する。A講義、B講義のレジメを再度見直す。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月31日(木) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修 問題対策 2</b> 模擬試験で判明した口腔 病理学の得点率の低い領 域を認識し、それに該当 する疾患の病態を正しく 理解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果か ら明らかになった以下の弱点項目を理解 し、それらの解答に必要な知識を正しく 説明できる。 歯原性腫瘍・非歯原性腫瘍・線維骨性病変 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p197-227 を読み、疑 問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
11月1日(金) 5限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	<b>弱点歯周領域の強化</b> 中～高正答率問題につい て理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答 えることができる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習：歯周について3年次に使用したレジ メ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月5日(火) 5限	成田欣弥講師 (病態生理学)	<b>選抜講義</b> 生理学の弱点領域を理解 する。	1. 生理学の弱点領域について説明できる。 [C-3-4)-(4)-①～③、 C-3-4-(5)-②～④、⑦～⑨、 C-3-4)-(9)-①②] 事前学習：生理学の基本的事項について、1・ 2年次の生理学で使用したレジメ、講義ノー トに目を通して講義に臨むこと。
11月6日(水) 5限	野村太郎講師 (補綴・インプラ ント学)	<b>復習試験解説講義④</b> 復習試験結果から弱点を 見つけ、理解できなかった 項目を理解する。	1. 有床義歯補綴学に関する中～高正答率 問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(2)-①～⑭、D-1-①③、D-2-②] 事前学習：講義内容について教科書と4年次 に使用したレジメ、講義ノートに目を通して 講義に臨むこと。
11月7日(木) 5限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラ ント学)	<b>復習試験問題の解説&amp;関 連講義</b> 復習試験の解説と関連釘 によって弱点を強化して 苦手分野について理解を 深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正 答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習：事前に4年時の講義資料や教 科書、WebClass、過去問を読んで講義に 臨むこと。講義中・後のディスカッショ ンにて理解度を確認する。
11月8日(金) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修 問題対策 4</b> 模擬試験で判明した口腔 病理学の得点率の低い領 域を認識し、それに該当 する疾患の病態を正しく 理解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果か ら明らかになった以下の弱点項目を理解 し、それらの解答に必要な知識を正しく 説明できる。 唾液腺の非腫瘍性病変・腫瘍性病変 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p259-281 を読み、疑 問点を抽出しておくこと。(60分を要する)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月11日(月) 5限	藤原尚樹准教授 (機能形態学)	<b>解剖学領域の弱点克服</b> 頭蓋骨・咀嚼筋・唾液腺・ 歯の解剖学の基本的知識 を整理し、理解力不足の 項目を整理する。	1. 頭頸部を構成する骨の位置と筋の起始・ 停止を説明できる。 2. 頭頸部の脈管・神経の走行経路を説明で きる。 3. 口腔内の構造、筋隙に存在するもの、脈 管・神経の経路を説明できる。 4. 歯の形態的特徴を簡潔に説明できる。 [E-2-1)-②③⑥⑪, E-2-2)-⑥, E-3-1)-②] 事前学習：総合講義 A・B の該当領域の資料 を復習し、理解が不確実な項目および DESS の関連問題をまとめておくこと。講義でその 関連事項を含めフィードバックする。
11月12日(火) 5限	大石泰子助教 (予防歯科学)	<b>予防歯科選抜講義 2</b> 知識が不足している領域 を認識し充足する。	1. 過去の客観評価(試験結果など)から自ら の学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己 学習できる。 [A-2-1)-①～⑤]
11月13日(水) 5限	齊藤桂子助教 (小児歯科学)	<b>小児歯科領域の中、高正 答率を確実に解く</b> 中～高正答率問題につい て理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を確 認しておく。
11月14日(木) 5限	入江太朗教授 (病態解析学)	<b>口腔病理学の一般・必修 問題対策 7</b> 模擬試験で判明した口腔 病理学の得点率の低い領 域を認識し、それに該当 する疾患の病態を正しく 理解する。	1. 総合試験、復習試験、模擬試験の結果か ら明らかになった以下の弱点項目を理解 し、それらの解答に必要な知識を正しく 説明できる。 全身性疾患と口腔病変・加齢に伴う口腔 病変・病理検査 [E-2-4)、E-3-2)] 事前学習：新口腔病理学 p292-330 を読み、疑 問点を抽出しておくこと。(60分を要する)
11月15日(金) 5限	鬼原英道教授 (補綴・インプラ ント学)	<b>口腔インプラントの選抜 講義</b> 口腔インプラントの基本 をおさらいする。	1. 口腔インプラントの外科および補綴の基 本事項を説明することができる。 [E-3-4)-(3)-①～⑦、D-2-⑧] 事前学習：4・5 年次に使用したレジメ、講 義ノートに目を通して講義に臨むこと。ま た、教科書の該当項目にも目を通すこと。
11月18日(月) 5限	帖佐直幸准教授 (細胞情報科学)	<b>弱点領域の強化</b> 中～高正答率問題につい て理解を深める。	1. 生化学領域の中～高正答率問題を確実に 答えることができる。 [C-1-1)、C-2-1)、C-2-2)、C-2-3)、 C-2-4)] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：第三回総合試験の生化学関連問題 を見直して講義に臨むこと。
11月19日(火) 5限	佐藤俊郎助教 (予防歯科学)	<b>予防歯科選抜講義 3</b> 知識が不足している領域 を認識し充足する。	1. 過去の客観評価(試験結果など)から自ら の学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己 学習できる。 [A-2-1)-①～⑤]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月20日(水) 5限	泉澤 充講師 (歯科放射線学)	<b>全国模試解説2</b> 低～中正答率問題について理解を深める。	1. 全国模試問題の解き方を学び、放射線領域の弱点項目を補強する。 [E-1-2)] 事前学習: 全国模試で自分が不正解であった問題に関して、自分の考えなどを WebClass にあげておく。
11月21日(木) 5限	齊藤裕美子助教 (補綴・インプラント学)	<b>復習試験問題の解説&amp;関連講義</b> 復習試験の解説と関連釘によって弱点を強化して苦手分野について理解を深める。	1. クラウンブリッジ補綴学領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-4)-(1)] 事前学習: 4年時の講義資料や教科書, WebClass, 過去問を読んで講義に臨むこと。講義中・後のディスカッションで理解度を確認する。
11月25日(月) 5限	田村晴希講師 (病態制御学)	<b>薬理学弱点対策</b> 歯科医師として習得すべき薬理学・臨床薬理学の重要な基本的事項を確認し、理解する。	1. 復習試験、到達度試験、必修試験、総合試験などの結果からみえてきた薬理学・臨床薬理学領域に関する理解を深め、説明できる。 [C-6-1)-①～③、C-6-2)-①～⑤、C-6-3)-①②、C-6-4)-①②] 事前学習: 過去5年間の国家試験の薬理学に関連する問題について学習しておくこと。
11月26日(火) 5限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	<b>弱点歯周領域の強化</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 歯周領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-3-2)-③④、E-3-3)-(3)-①～⑤] 事前学習: 歯周について3年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。
11月27日(水) 5限	原田英光教授 (発生生物・再生医学)	<b>組織学の弱点領域の強化</b> 口腔組織学領域を整理し、関連領域も含めて統合的に説明できるようになる。	1. 組織学領域の重要項目について確認し、体系的に説明できる。 [E-3-1)-①、E-3-1)-④～⑥] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習: 事前に配布したテキストの必要な項目に目を通しておくこと。また問題集I・IIについては各自で解答して理解不足の点を抽出しておくこと。
11月28日(木) 5限	佐々木実教授 (分子微生物学)	<b>微生物学弱点対策(選抜講義)</b> 歯科医師として習得すべき微生物学・免疫学の重要な基本項目を理解する。	1. 総合試験、必修試験、到達度試験、模擬試験等の結果から見えてきた微生物学・免疫学領域に関する理解を強化することができる。 [A-5-3)-①②、C-3-1)-①～③⑥、C-3-2)-①～⑦、E-2-4)-(9)-②③、E-1-4)-⑥⑧、E-2-4)-(3)-①、E-3-2)-①～⑤] 事前学習: 過去5年間の国家試験の微生物学・免疫学に関連する問題について学習しておくこと。
11月29日(金) 5限	織田展輔 非常勤講師	<b>一般・臨実対策②</b> 義歯修理 義歯の破損に対する原因と対応を理解する。	1. 義歯破損の原因を説明できる。 2. 義歯修理方法を説明できる。 3. 義歯修理手順を説明できる。 [E-3-4)-(2)-⑭] 事前学習: 講義内容について教科書と4年次に使用したレジメ、講義ノートに目を通して講義に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月2日(月) 5限	久慈昭慶准教授 (障害者歯科学)	<b>症候群</b> 障害者歯科で取り扱う症候群についての弱点部分を理解する。	1. 障害者歯科で取り扱う症候群についての弱点部分を説明できる。 [E-2-4)-(10)-⑤⑥] 事前学習：教科書 p163～205 を読んでおく。
12月3日(火) 5限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	<b>復習試験問題解説講義</b> 復習試験問題結果からわかった弱点について理解を深める。	1. 歯科麻酔領域の復習試験問題を確実に答えることができる。 [E-1-4)、E-1-6)、E-6-②] DESS 演習の準備をしておくこと。 事前学習：復習問題に出題された問題について永末書店 第4版 臨床歯科麻酔学、今年度 A, B, C 講義に使用したレジュメに目を通して講義に臨むこと。DESS 演習を設定した場合は講義開始までに回答すること。
12月4日(水) 5限	樋野雅文助教 (口腔外科学)	<b>復習試験解説講義</b> 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [A-3-①～⑥]
12月5日(木) 5限	桑島幸紀助教 (歯科矯正学)	<b>弱点領域の強化1</b> 復習試験問題について理解を深める。	1. 矯正領域の復習試験の問題を確実に答えることができる。 [E-4-1)-(1)-①～⑦] 事前学習：到達目標について医歯薬出版 歯科矯正学、講義ノートに目を通して臨むこと。
12月6日(金) 5限	長谷部智之助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィードバック</b> 復習試験から見えてきたウィークポイントを克服することができる。	1. 修復領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
12月9日(月) 5限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児歯科領域の中、高正答率を確実に解く</b> 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 小児歯科領域の中～高正答率問題を確実に答えることができる。 [E-4-2)-①～⑫] 事前学習：復習試験の小児歯科領域問題を確認しておく。
12月10日(火) 5限	大石泰子助教 (予防歯科学)	<b>予防歯科選抜講義4</b> 知識が不足している領域を認識し充足する。	1. 過去の客観評価(試験結果など)から自らの学習目標を設定できる。 2. 設定した学習目標を到達するために自己学習できる。 [A-2-1)-①～⑤]
12月11日(水) 5限	櫻井秀人助教 (う蝕治療学)	<b>復習試験からのフィードバック</b> 復習試験から見えてきたウィークポイントを克服することができる。	1. 歯内領域の復習試験を確実に答えることができる。 [E-3-3)-(2)] 事前学習：復習試験結果から自分の修復、歯内領域における弱点を抽出して講義に臨むこと。
12月12日(木) 5限	小野寺慧助教 (口腔外科学)	<b>復習試験解説講義</b> 復習試験結果から弱点を見つけ、理解できなかった項目を理解する。	1. これまで出題された復習試験を理解し、一般・臨床実地問題を確実に答えることができる。 [A-3-①～⑥]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月13日(金) 5限	千葉俊美教授 (内科学)	選抜講義 中～高正答率問題について理解を深める。	1. 代表的な循環器、脳血管、消化器、呼吸器、アレルギー、腎、代謝、内分泌、腫瘍、血液、出血性疾患について理解を深め説明できる。 [E-6-②] 事前学習:内科学に関する過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。講義に関する国家試験問題を解きまとめること。

### 成績評価方法

第1回～第3回総合試験を95%、到達度評価試験を5%として評価する。  
※第1回～第3回総合試験の点数配分 第1回：第2回：第3回=1.5：3.5：4.5

判定基準点：必修問題 75%以上、一般問題 65%以上、臨床実地問題 65%以上、総合得点 70%以上  
判定基準：必修問題、一般問題、臨床実地問題、総合得点いずれも基準点を満たしていること。  
※必修問題、一般問題は1問1点、臨床実地問題は1問3点で計算

### 総合試験における受験資格について(出席)

- ・総合講義 A、B、C(必修講義、総合試験の解説講義を含む)及び総合講義における復習試験及び選抜講義①、②、③をそれぞれ1/5を超えて欠席した場合、それぞれの期間の総合試験の受験を認めない。また、大学主催の模擬試験を欠席した場合、原則としてそれぞれの期間の総合試験の受験を認めない。  
※総合講義 A：第1回総合試験、総合講義 B：第2回総合試験、総合講義 C：第3回総合試験
- ・到達度評価試験(2回)、第1回総合試験の平均点が上位概ね1/5以内の者については、総合講義 B(8月～10月)の受講を任意とする。(解説講義・模擬試験・復習試験除く)
- ・第2回総合試験の得点が上位概ね1/5以内の者については、総合講義 C(10月～12月)の受講を任意とする。(解説講義・模擬試験・復習試験除く)
- ・第1回総合試験の得点が原則上位概ね1/3以内の者については、選抜講義①②の受講を任意とする。
- ・第2回総合試験の得点が原則上位概ね1/3の者については、選抜講義③の受講を任意とする。

### 総合試験における受験資格について(DESS 演習)

基礎演習(A)、臨床演習(B)、臨床実地演習(C)の3領域を設け、それぞれに演習科目を設定する。各演習科目は90%以上の得点率で合格とし、再演習を合格するまで設定する。各領域内の全ての演習科目で合格することにより、当該領域の合格とする。各総合試験における到達状況については、原則として下記の通りとする。

- ・第1回総合試験  
演習 A、B、C の1領域以上で合格していること。
- ・第2回総合試験  
演習 A、B、C の2領域以上で合格していること。
- ・第3回総合試験  
演習 A、B、C 全ての領域で合格していること。

### 総合試験における受験資格について(必修試験)

- ・必修試験の各試験を受験し、80%以上得点し合格することを原則とする。
- ・必修試験で不合格となった者は、再試験を受験し、80%以上得点し合格すること。再試験で不合格となった者は、継続して再試験を受験し、最終的に80%以上得点し合格することを原則とする。

## 到達度評価試験の評価について

- ・到達度評価試験の評価については、2回の平均得点率を評価点数とする。
- ・到達度試験の配分は5%とし、すべての到達度試験を受験した場合にも加算する。

## 特記事項・その他

- ・総合講義（Ⅱ）では、第5学年まで修得した知識をもとに、すべての科目を横断的に結びつけた統合的な知識の修得を目標としている。なお、すでに履修した内容については十分に修得している前提で講義を行う。
- ・思考力、推論能力を向上する為にディスカッション方式の講義を行うことがある。
- ・事前学習で作成したレポートをもとに数名がプレゼンテーションを行うことがある。
- ・講義の途中あるいは最後にクリッカー、DESS 演習、WebClass 等を活用して学生の理解度を逐次確認することがある。
- ・DESS 演習により復習を行い、知識の定着を図る必要がある。
- ・講義翌日朝に行う復習試験で知識の定着を確認するとともに、理解不足とみられる内容については、次回以降の講義で補う。